

平成29年度 栄区民意識調査

結果報告書

(詳細版)

平成30年1月

横浜市栄区役所



目次

1. 調査の概要	P.2
2. 回答者の属性	P.4
3. 集計分析結果	P.9
1. 生活の満足度について	P.10
2. 定住意向について	P.21
3. 生活意識について	P.32
4. 道路・交通について	P.64
5. 健康・福祉について	P.67
6. 子育てについて	P.76
7. 防災について	P.80
8. 救急について	P.89
9. 地域のつながりについて	P.91
10.居場所づくりについて	P.100
11.読書について	P.105
12.セーフコミュニティについて	P.106
4. 参考資料(調査票)	P.110

1. 調査の概要

調査概要

【調査の目的】

栄区民のみなさんが暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握し、今後の区政を進める基礎資料として活用する。

【調査対象】

栄区内に居住する20歳以上の男女3,000人

【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成29年11月22日～12月11日

【回収数】

1,393件（回収率46.4%）

【集計結果の見方】

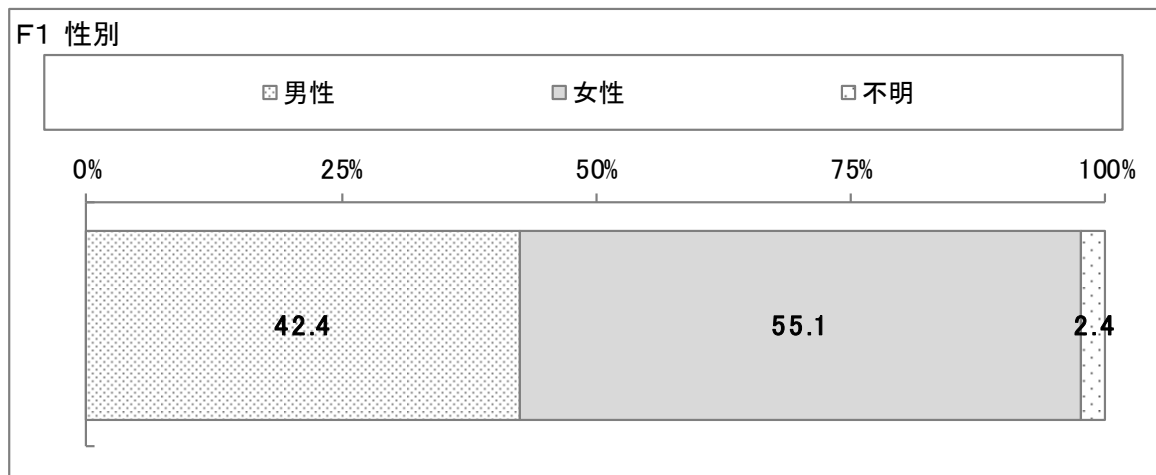
1. 図(グラフ)の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率(すべて百分率(%))で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
3. 項目をまとめてひとつのカテゴリにする場合(例えば問1など)、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。

2. 回答者の属性

回答者の属性

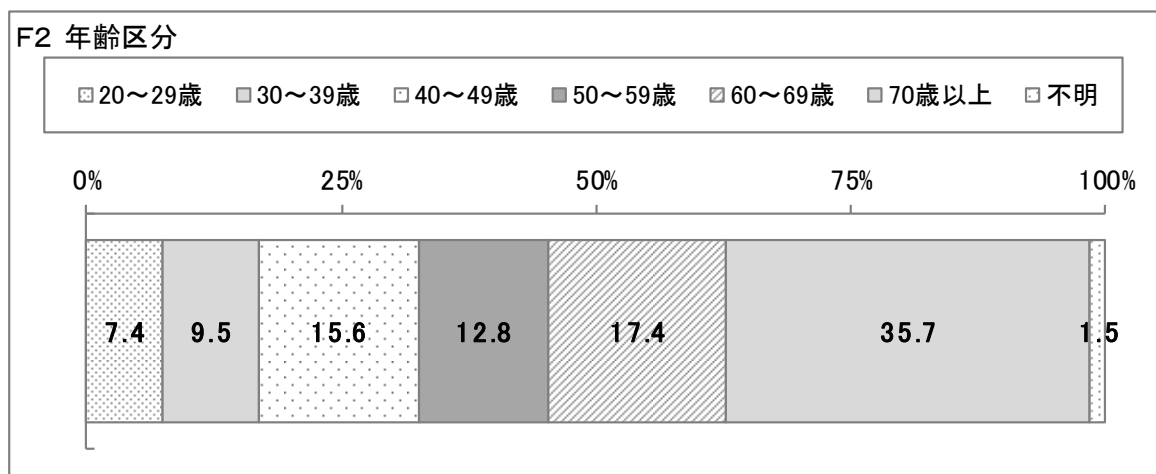
【性別】

- 「女性」が55.1%で、「男性」(42.4%)より12.7ポイント多い。



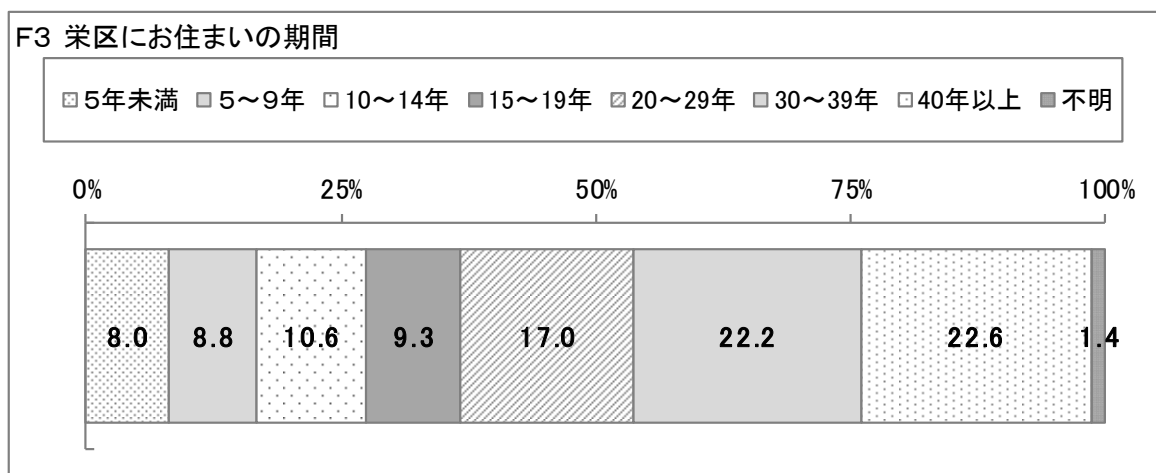
【年齢】

- 「70歳以上」が35.7%で最も多い。「20～29歳」は7.4%で最も少ない。



【居住期間】

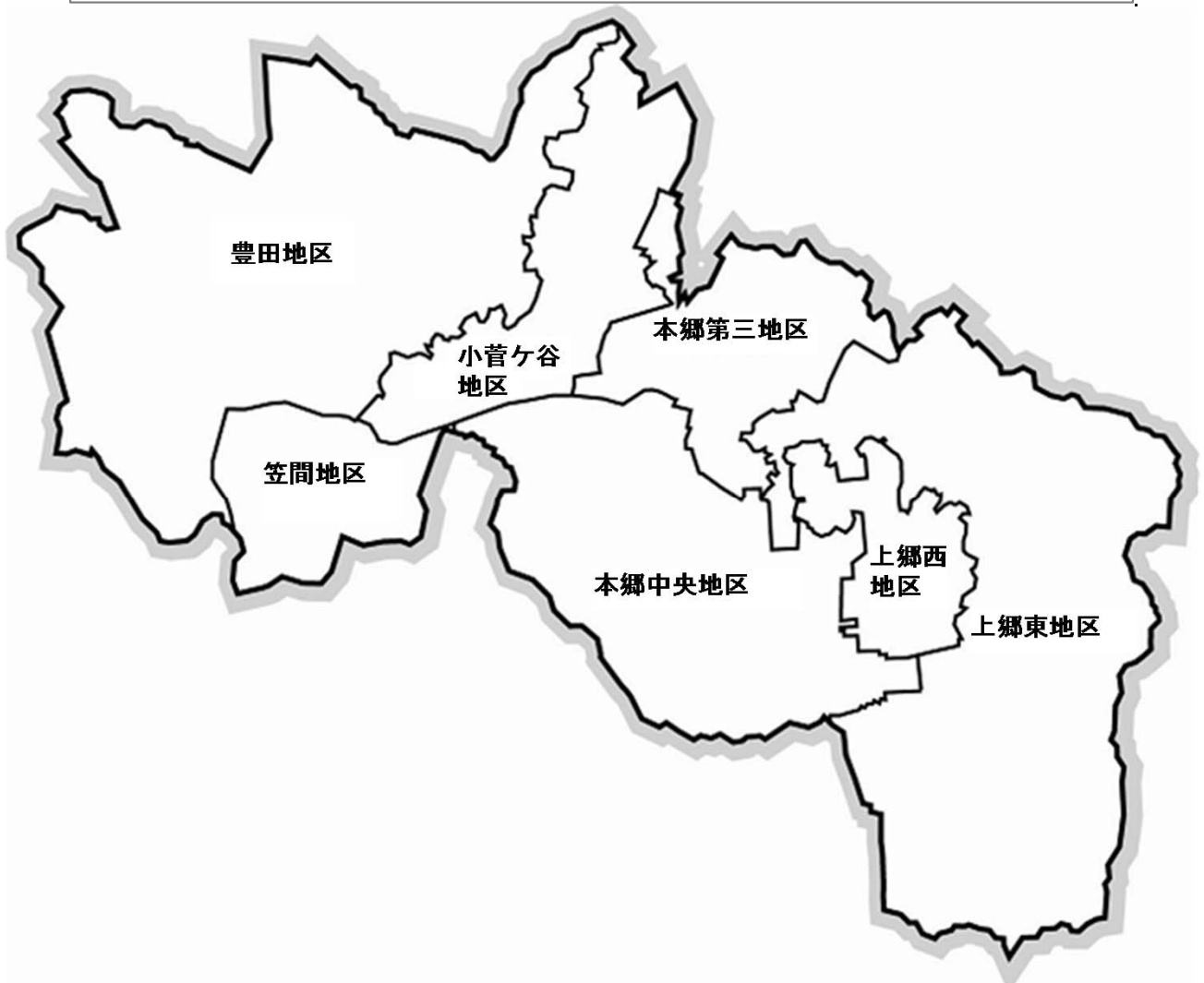
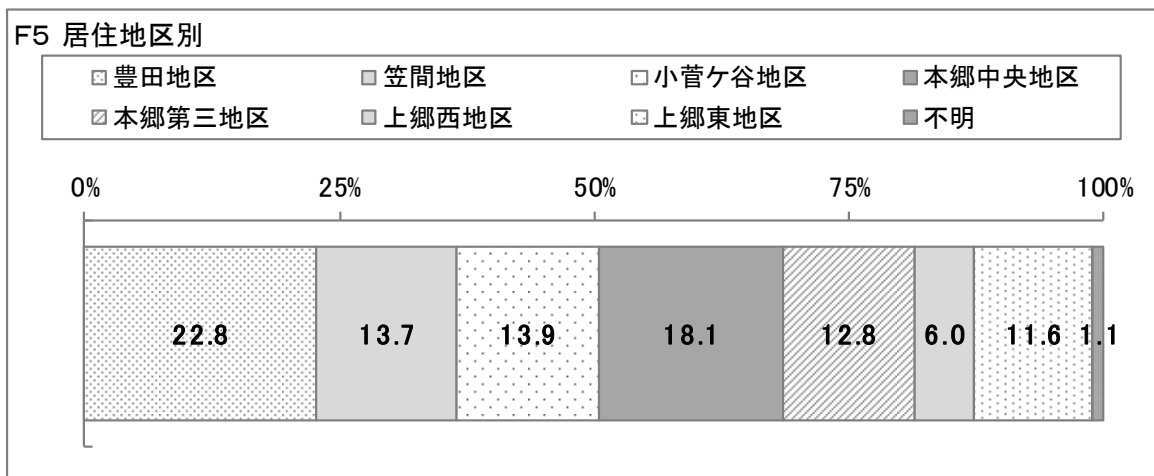
- 「40年以上」が22.6%で最も多く、「30～39年」が22.2%で続く。「20年以上」が全体の約6割を占めている。



回答者の属性

【居住地区】

- 「豊田地区」が22.8%で最も多く、「本郷中央地区」が18.1%で続く。「上郷西地区」が6.0%で最も少ない。

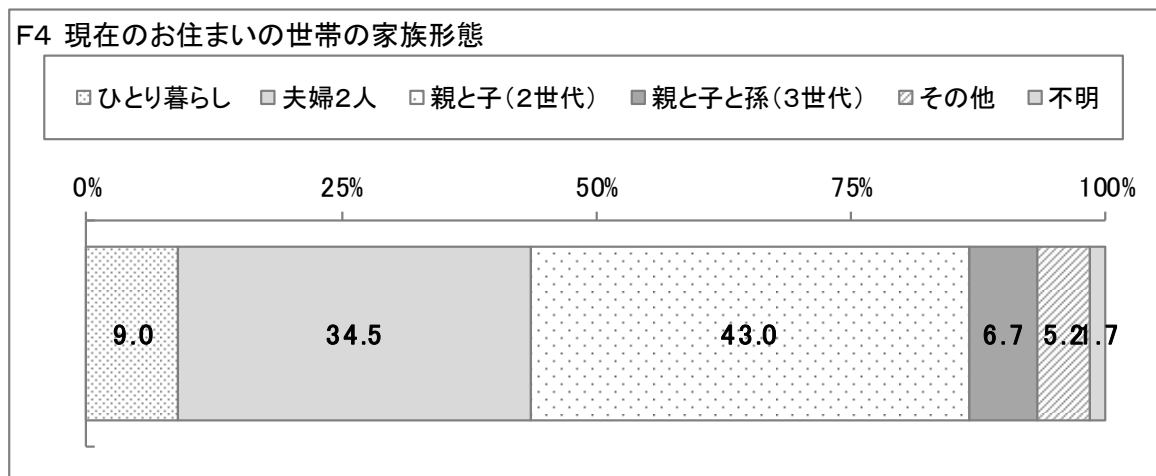


豊田地区: 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
笠間地区: 笠間町、笠間一丁目～五丁目
小菅ヶ谷地区: 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
本郷中央地区: 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
本郷第三地区: 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
上郷西地区: 犬山町、尾月、上之町、亀井町
上郷東地区: 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

回答者の属性

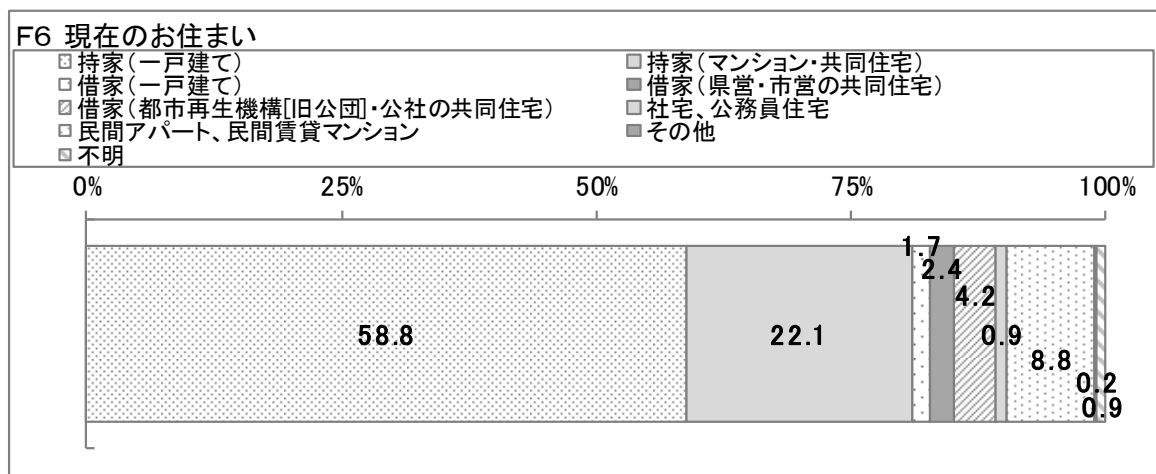
【家族形態】

- 「親と子(2世代)」が43.0%で最も多く、「夫婦2人」が34.5%で続く。「ひとり暮らし」は9.0%。



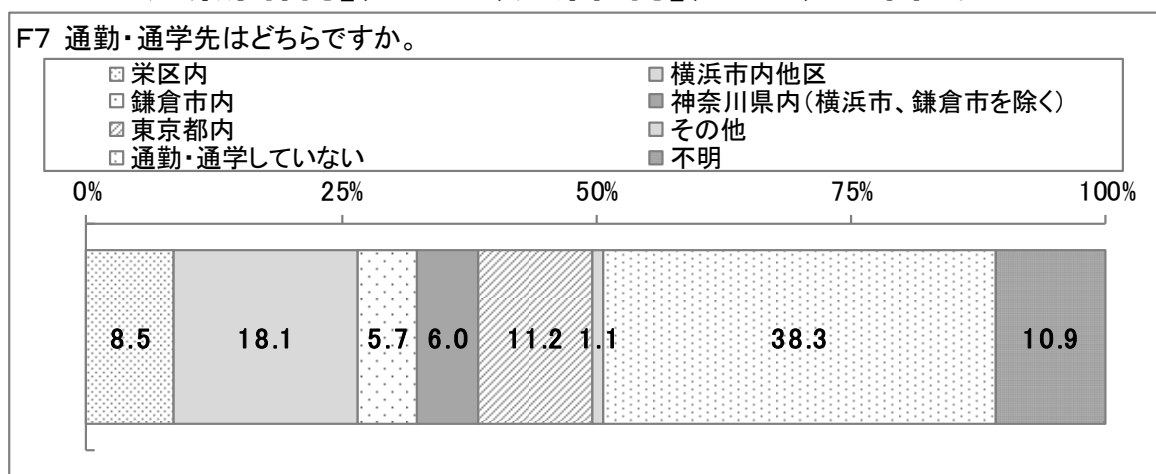
【住居形態】

- 「持家(一戸建て)」が58.8%で最も多い。「持家(マンション・共同住宅)」が22.1%で続き、持家の比率は8割を超える。



【主な通勤・通学先】

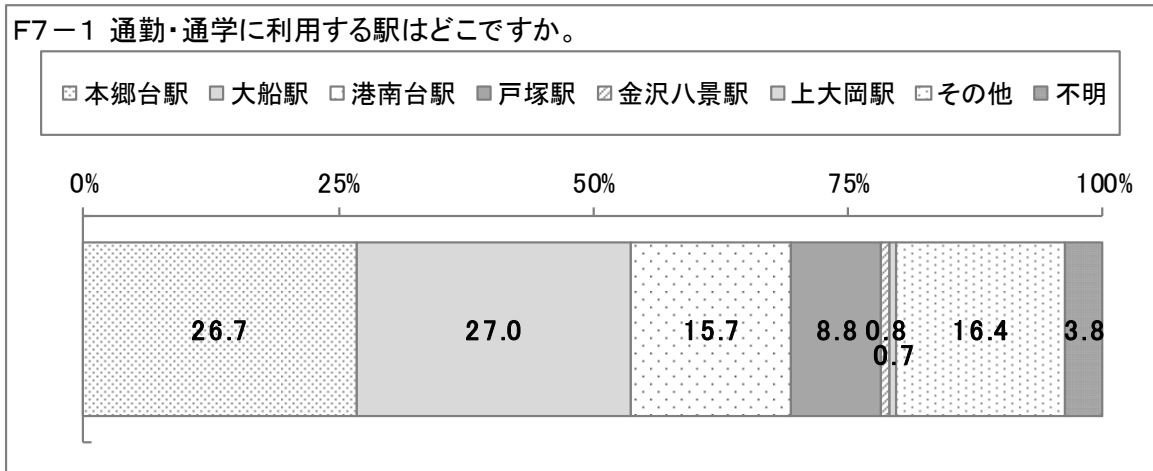
- 「通勤・通学していない」の比率は38.3%。通勤・通学先では「横浜市内他区」が18.1%で、「東京都内」(11.2%)、「栄区内」(8.5%)を上回る。



回答者の属性

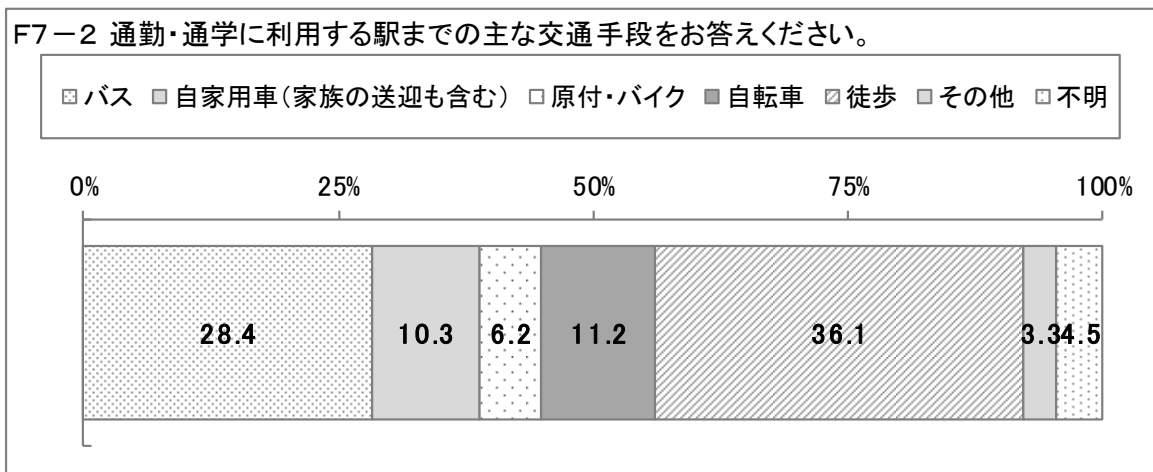
【通勤・通学に利用する駅】

- 「大船駅」が27.0%で、「本郷台駅」(26.7%)をわずかに上回り最も多い。「港南台駅」は15.7%である。



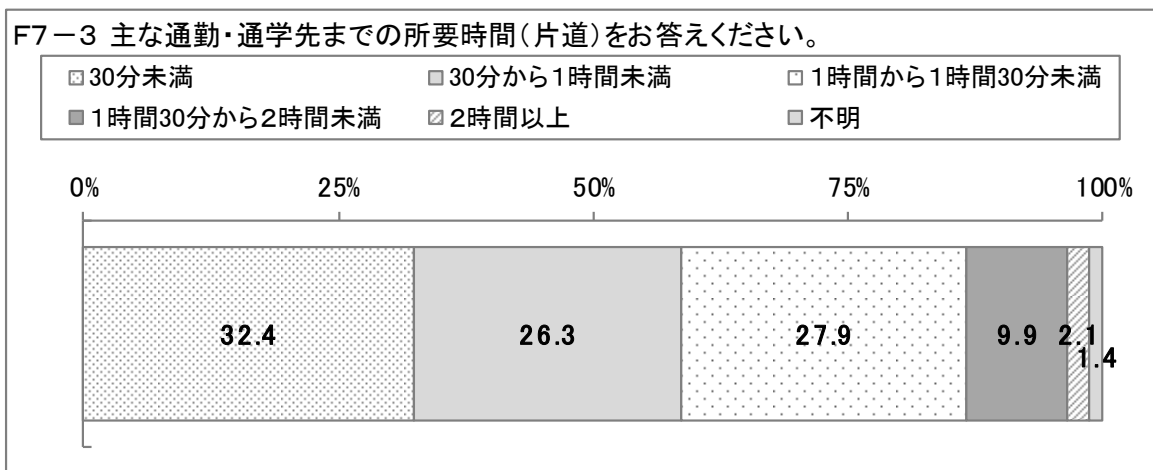
【駅までの交通手段】

- 「徒歩」が36.1%で最も多く、「バス」(28.4%)、「自転車」(11.2%)、「自家用車」(10.3%)が続く。



【通勤・通学の所要時間】

- 「30分未満」が32.4%で最も多い。1時間30分未満の合計で9割弱を占める。

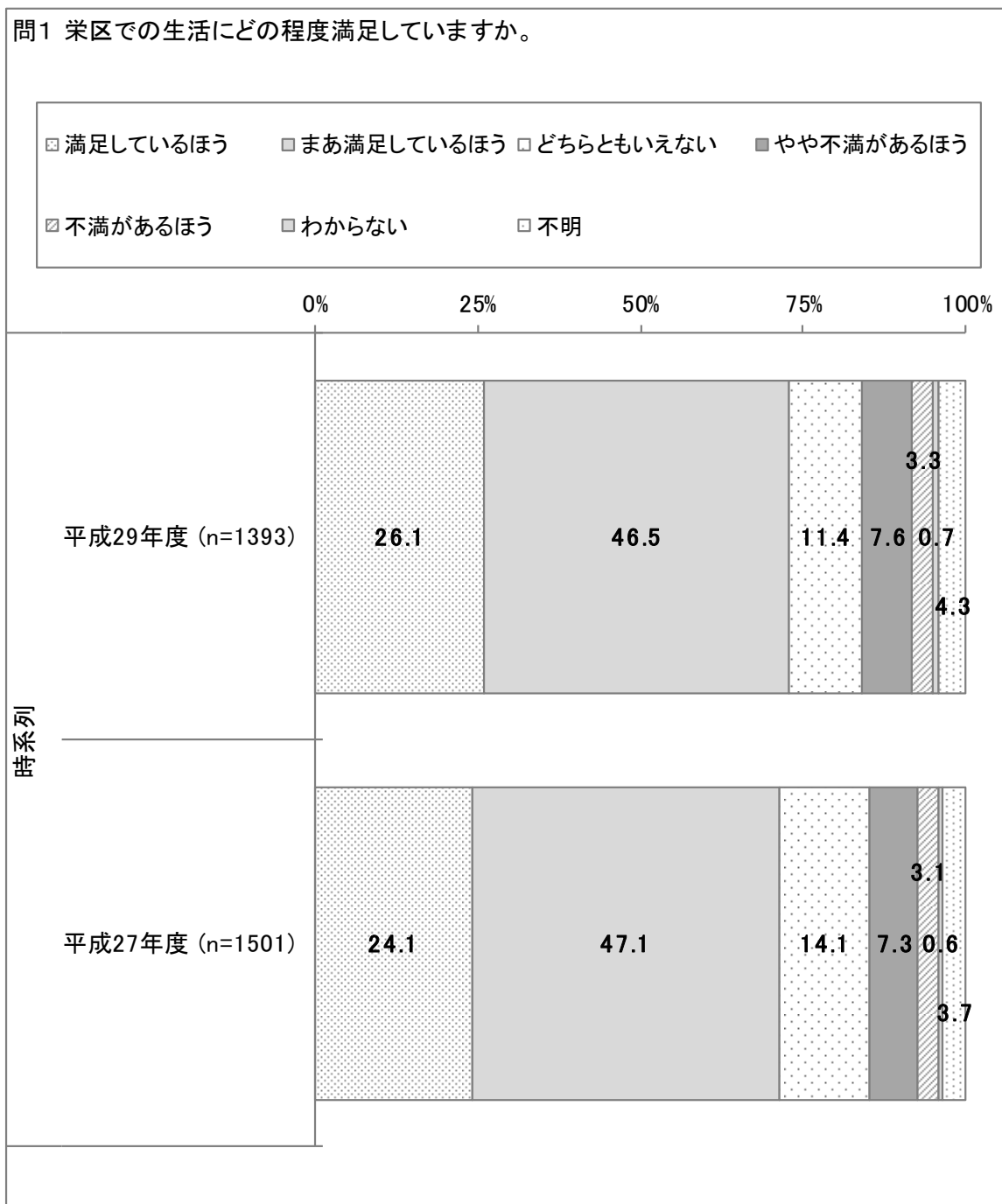


3. 集計分析結果

1. 生活の満足度について

【満足度：時系列】

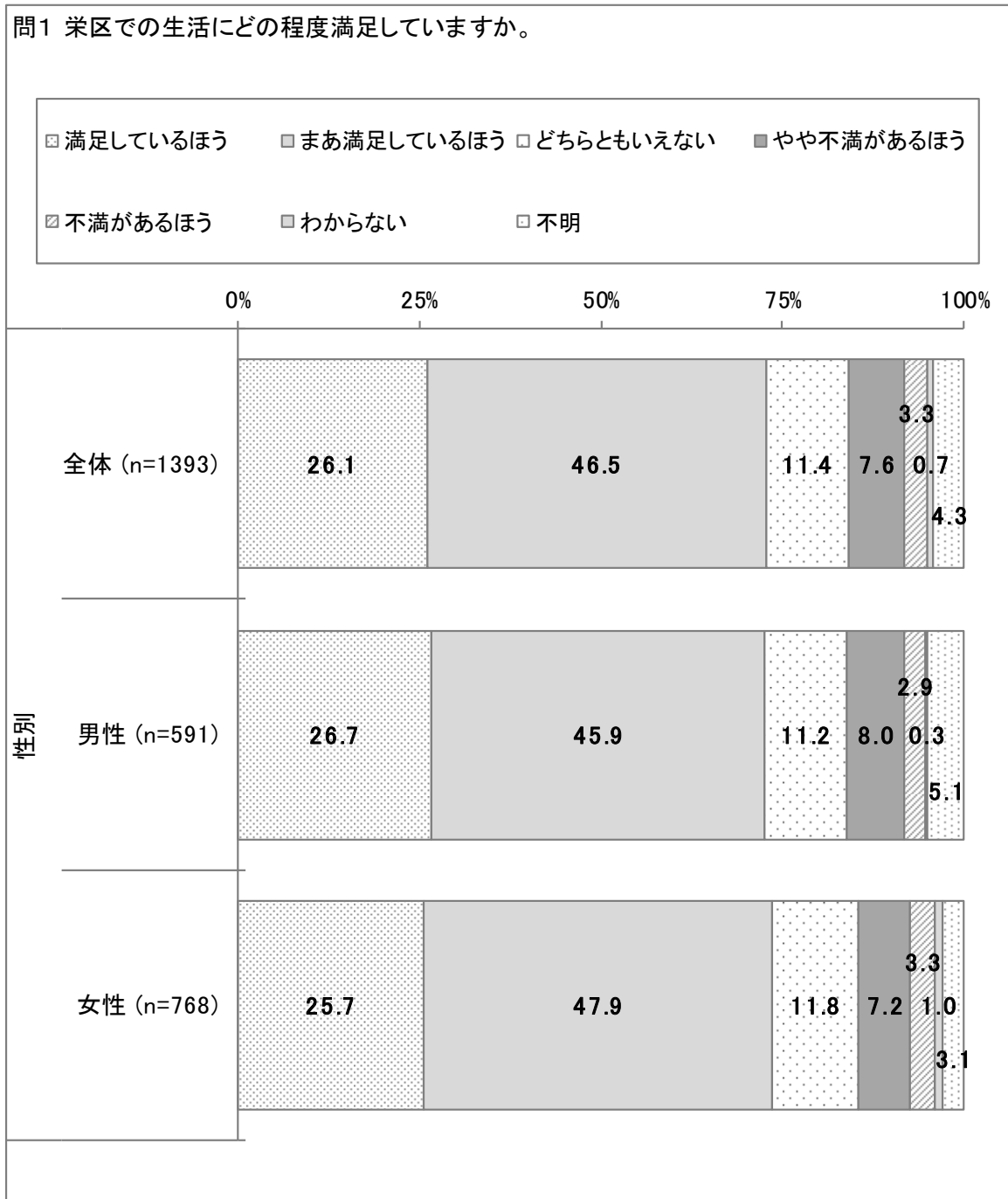
- 「まあ満足」が46.5%を占め、「満足」(26.1%)を合わせると(以下『満足』) 7割以上が『満足』していると回答している。
- 一方で「やや不満」、「不満」の合計(以下『不満』)割合は10.9%である。
- 平成27年度と比較して、『満足』の割合に大きな変化は見られない。



1. 生活の満足度について

【満足度：性別】

- 『満足』、『不満』の割合に、男女間で大きな差は見られない。

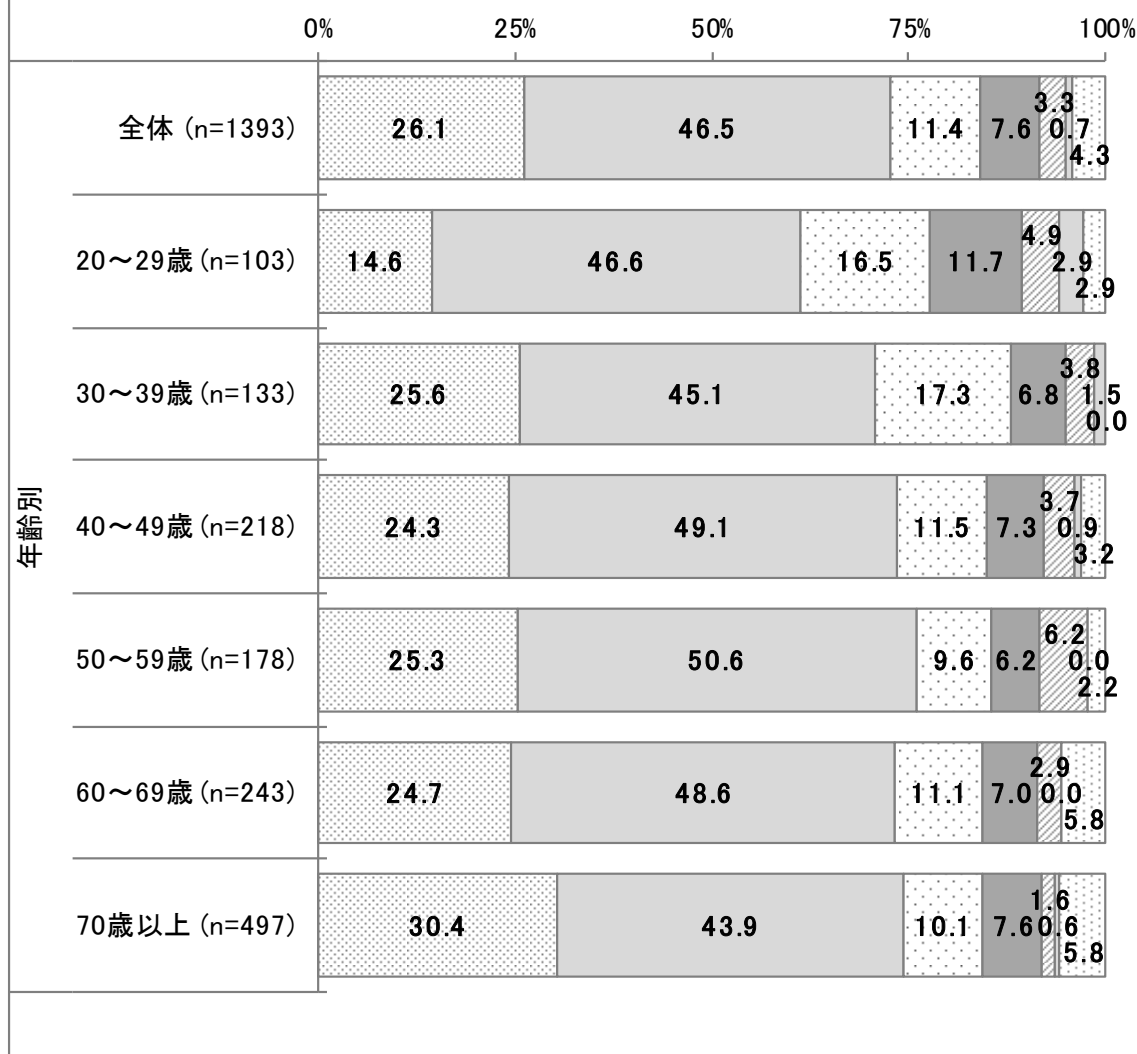
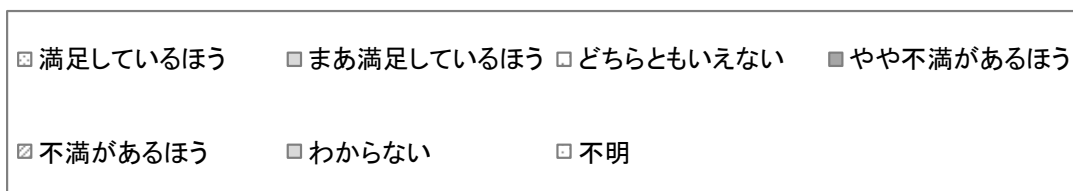


1. 生活の満足度について

【満足度：年齢別】

- ・ 「20～29歳」の「満足」が14.6%で、全体より10ポイント以上少ない。「20～29歳」は「不満」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「70歳以上」の「満足」が30.4%で全体をやや上回る(4.3ポイント)。

問1 栄区での生活にどの程度満足していますか。

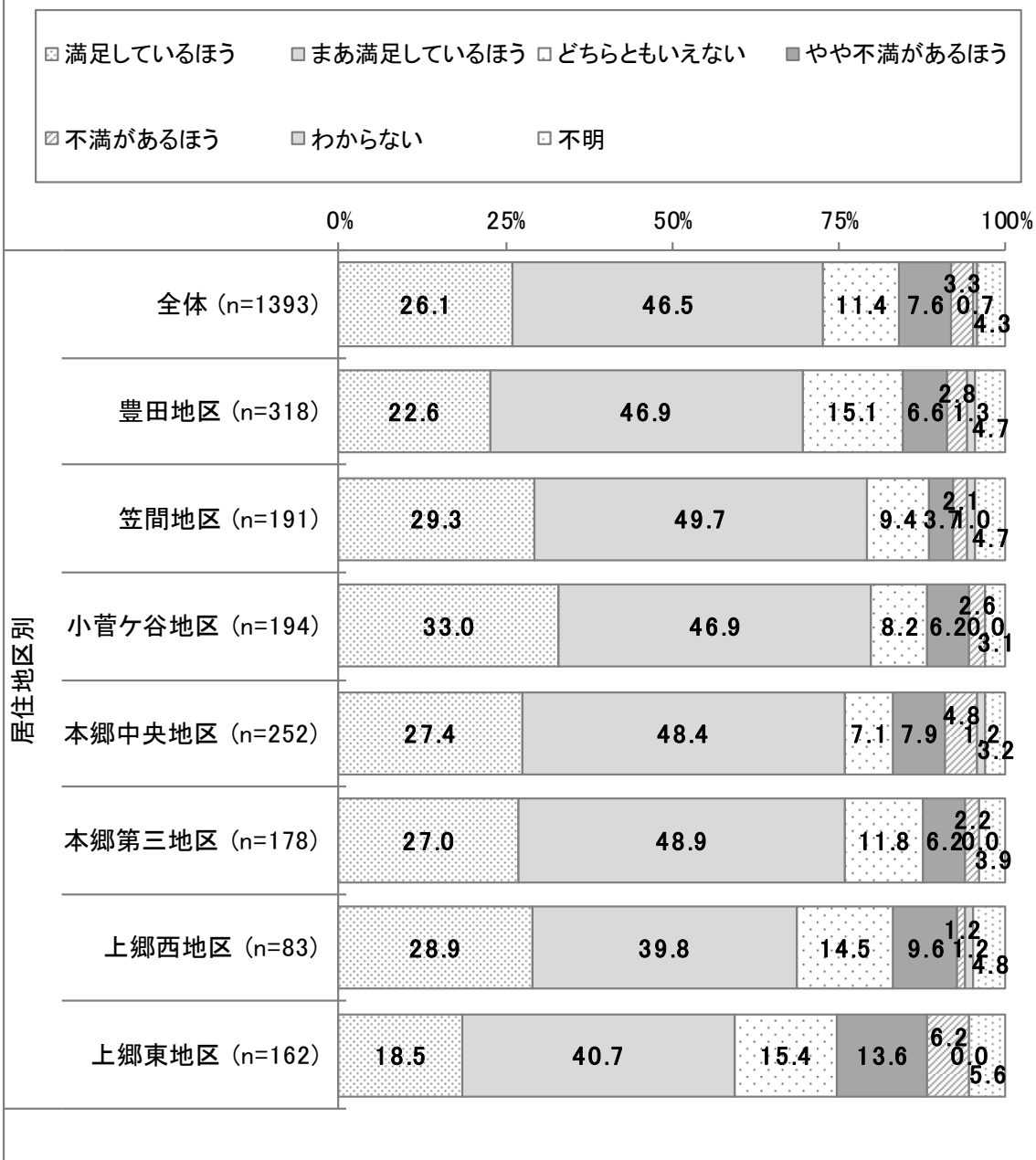


1. 生活の満足度について

【満足度：居住地区別】

- ・ 「小菅ヶ谷地区」の「満足」の割合が33.0%で全体より5ポイント以上多い。また「小菅ヶ谷地区」、「笠間地区」の『満足』が8割弱で、全体よりも5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」は「やや不満」が13.6%で、「不満」も合わせると2割弱に達して全体よりも5ポイント以上多い。

問1 栄区での生活にどの程度満足していますか。

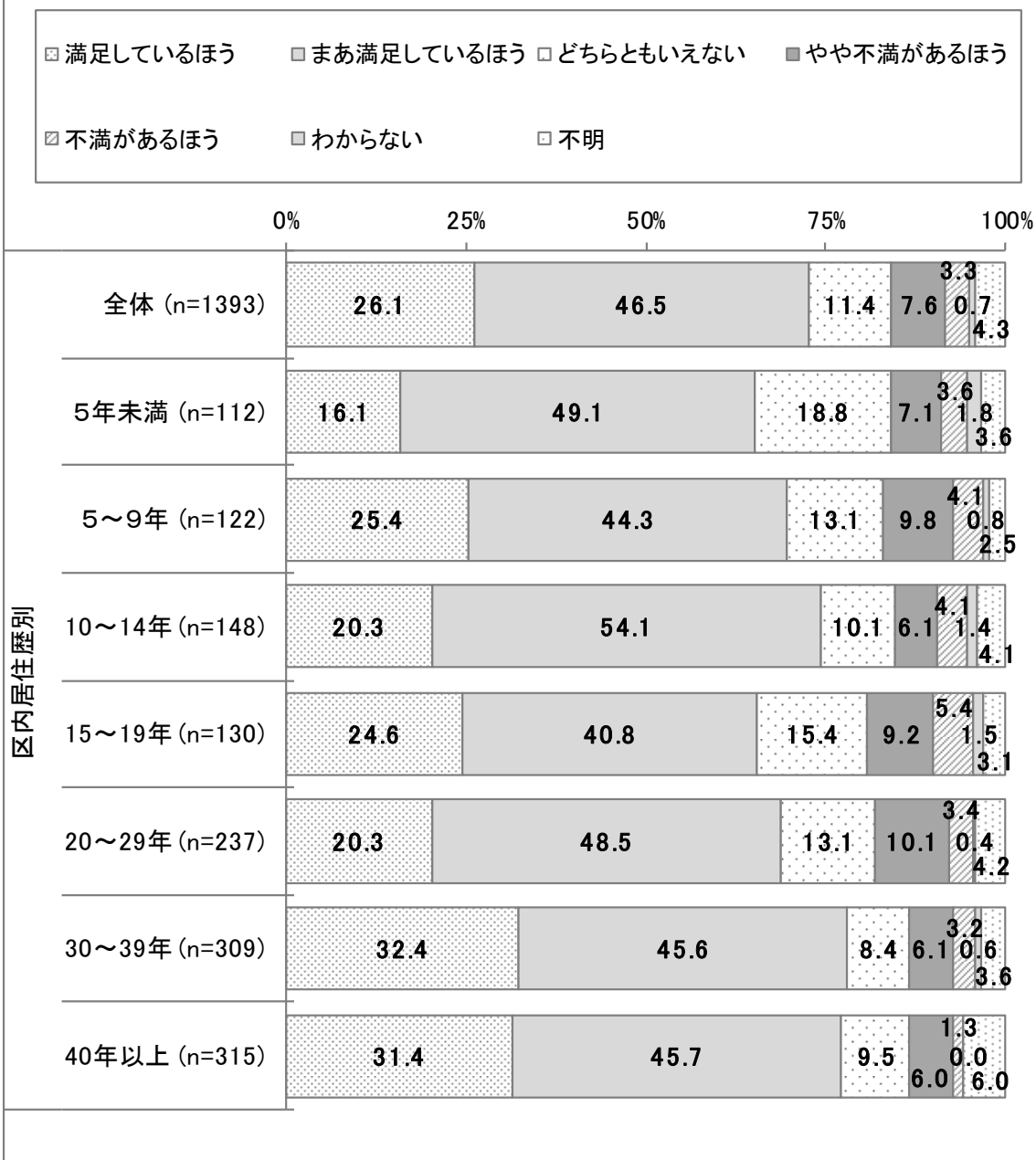


1. 生活の満足度について

【満足度：区内居住歴別】

- ・ 「30～39年」、「40年以上」の「満足」の割合が30%を超え、全体より5ポイント以上多い。
- ・ 一方、「5年未満」の「満足」の割合は16.1%で全体より10ポイント少ない。

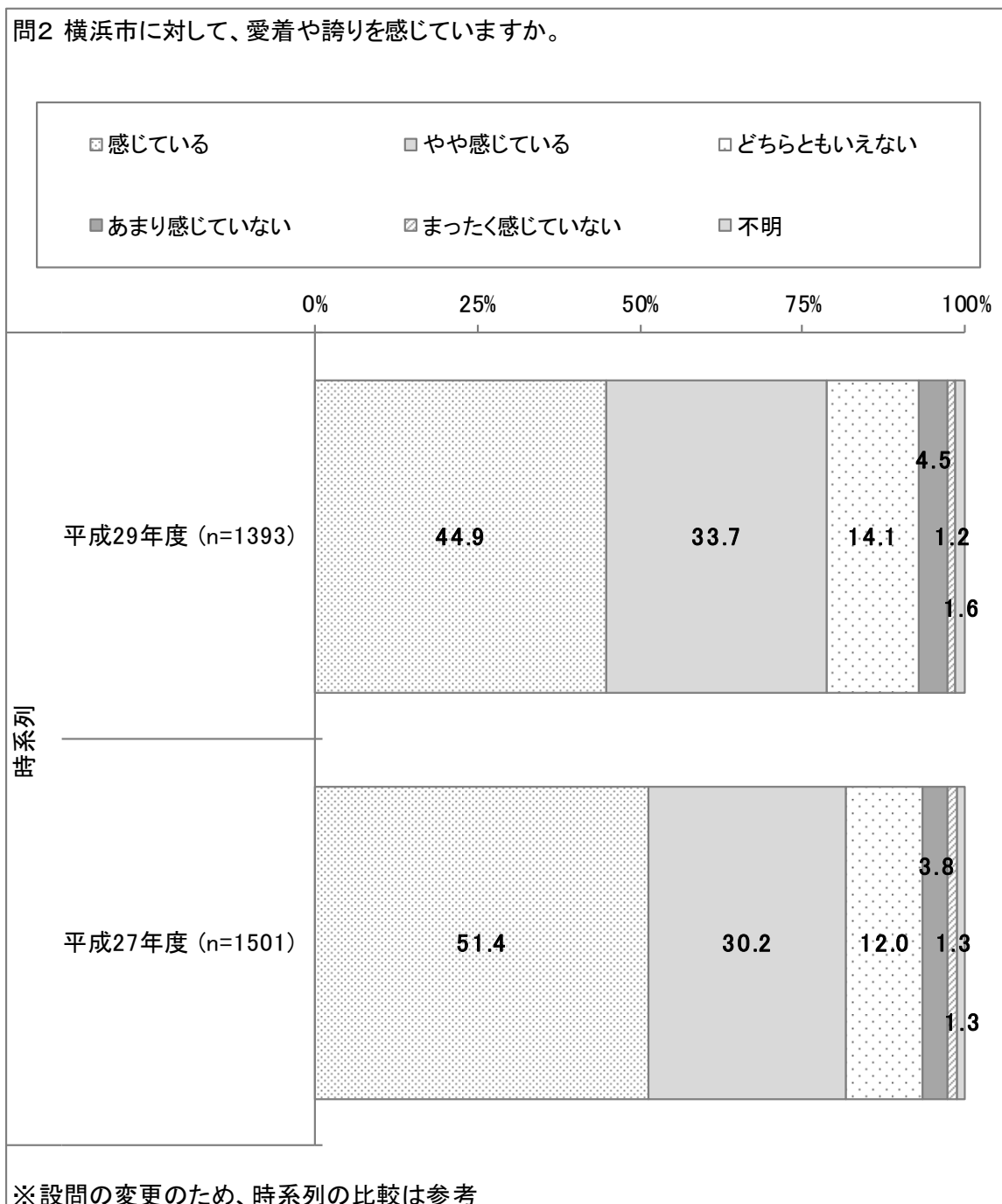
問1 栄区での生活にどの程度満足していますか。



1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り：全体・時系列】

- 横浜市に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて78.6%に達する。
- 平成27年度と比較すると、「感じている」が6.5ポイント減少している。
※設問の変更(「横浜に対して」→「横浜市に対して」)のため、時系列の比較は参考。

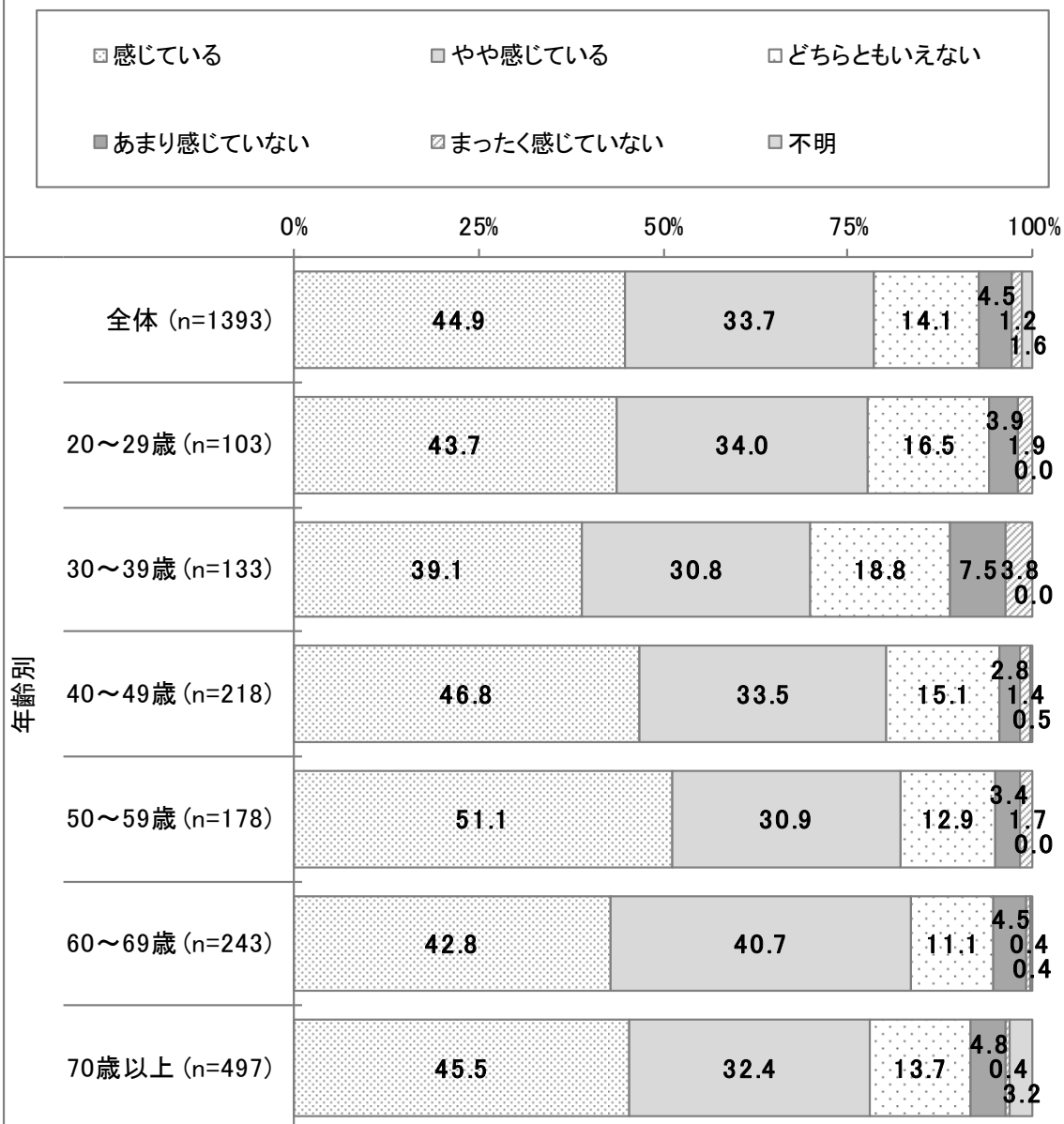


1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り：年齢別】

- 年齢別では、「30～39歳」の「感じている」、「やや感じている」の合計が全体より8.7ポイント少ない。
- 「50～59歳」の「感じている」は全体より6.2ポイント多い。
- 「60～69歳」の「やや感じている」は全体より7.0ポイント多い。

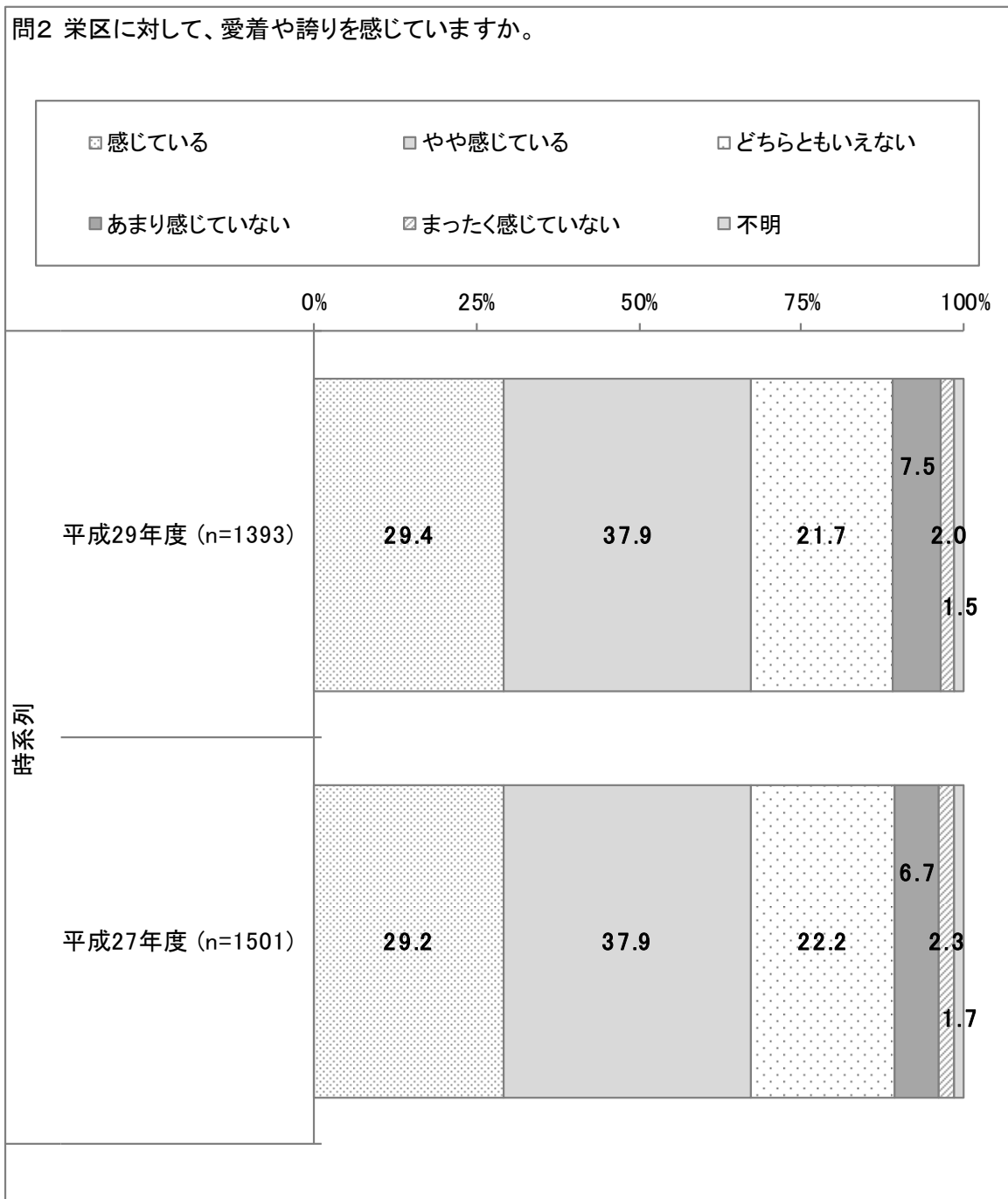
問2 横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。



1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り：時系列】

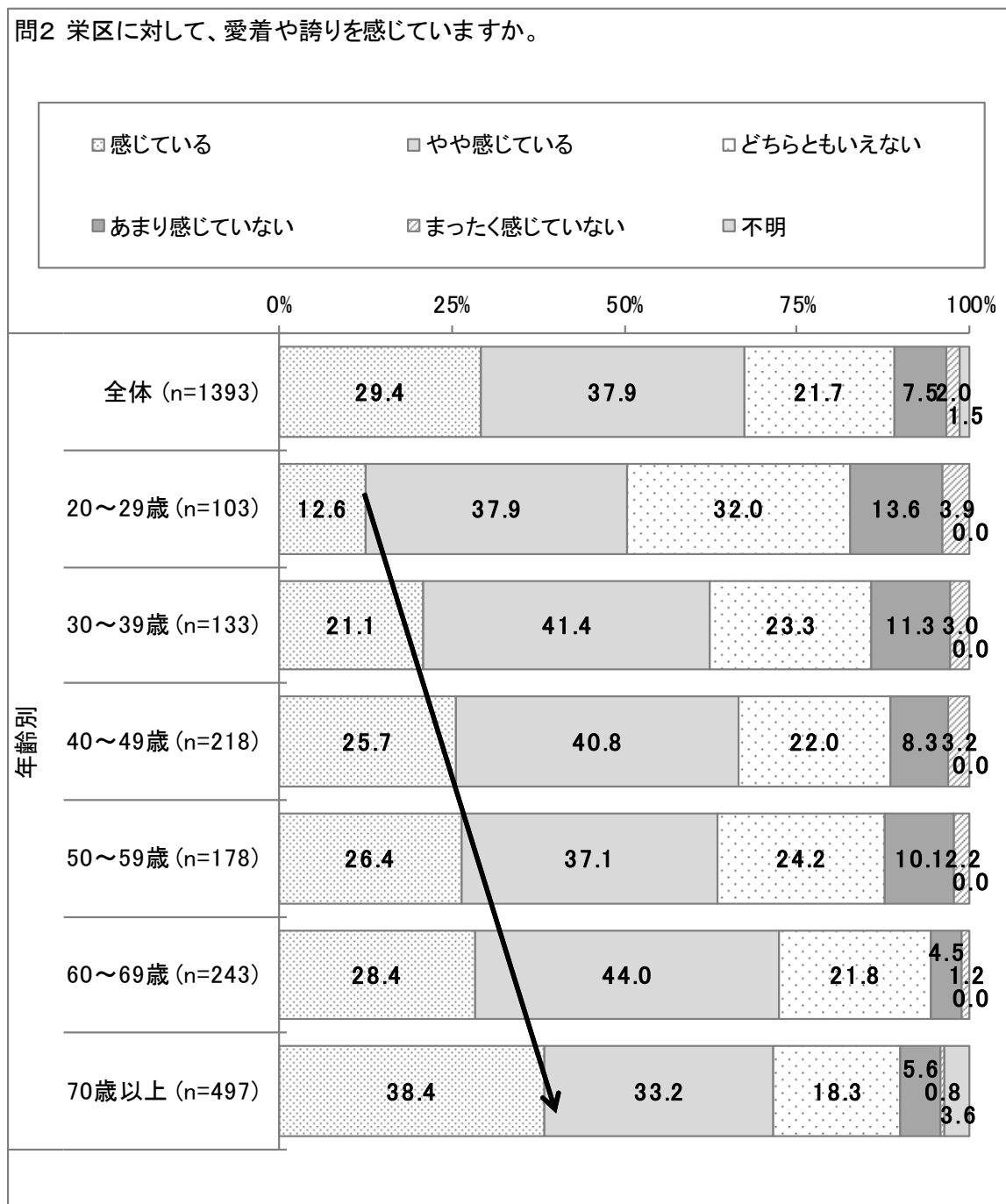
- ・ 栄区に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて全体の約2/3(67.3%)である。
- ・ 平成27年度と比較して大きな変化は見られない。



1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り：年齢別】

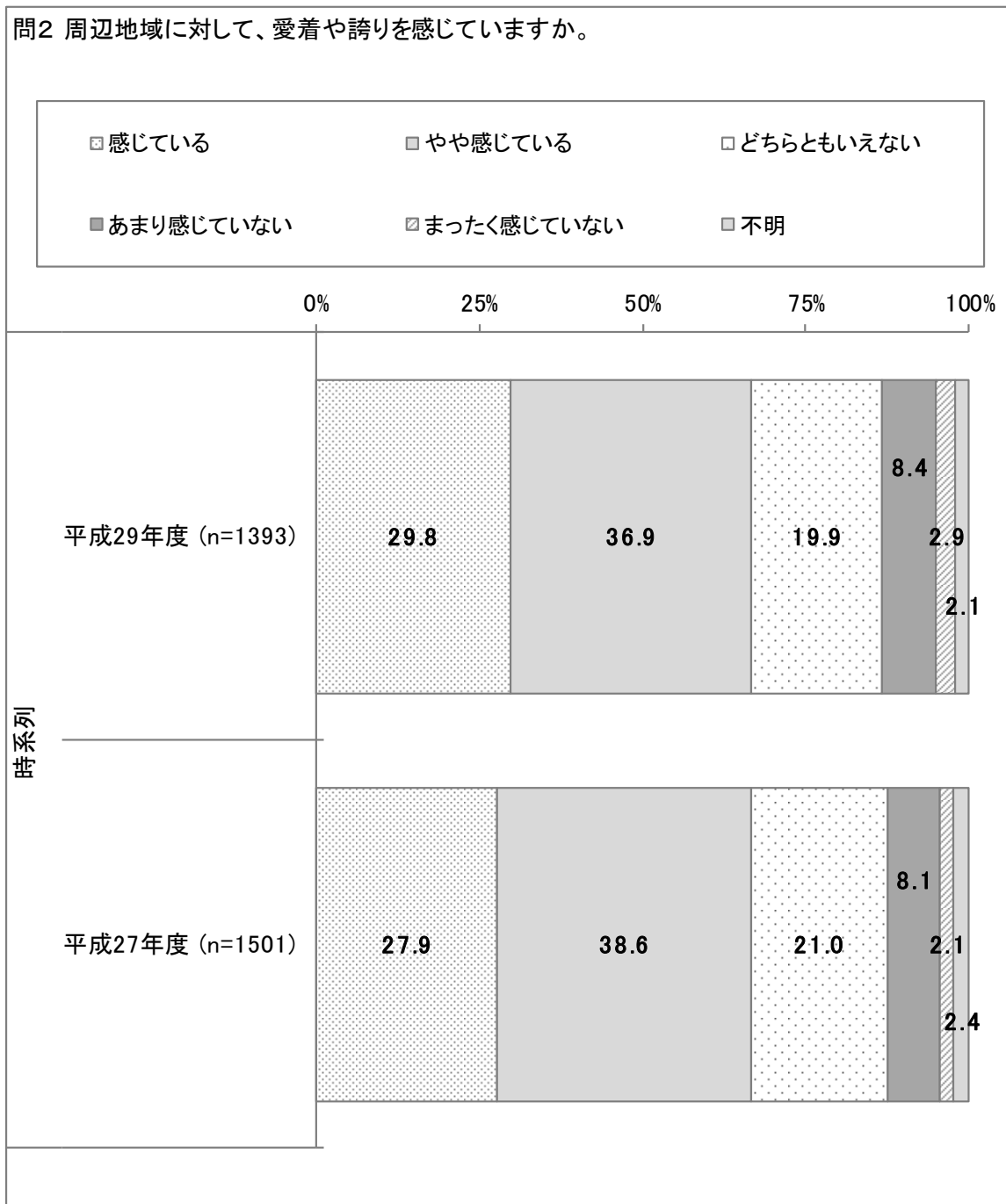
- ・ 栄区に対して愛着や誇りを「感じている」割合は年代が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。「20～29歳」では「感じている」割合が12.6%と少ないが、「70歳以上」では38.4%と多い。



1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り：全体・時系列】

- 周辺地域に対して愛着や誇りを「感じている」、「やや感じている」割合は合計で2/3(66.7%)である。
- 平成27年度と比較して大きな変化は見られない。

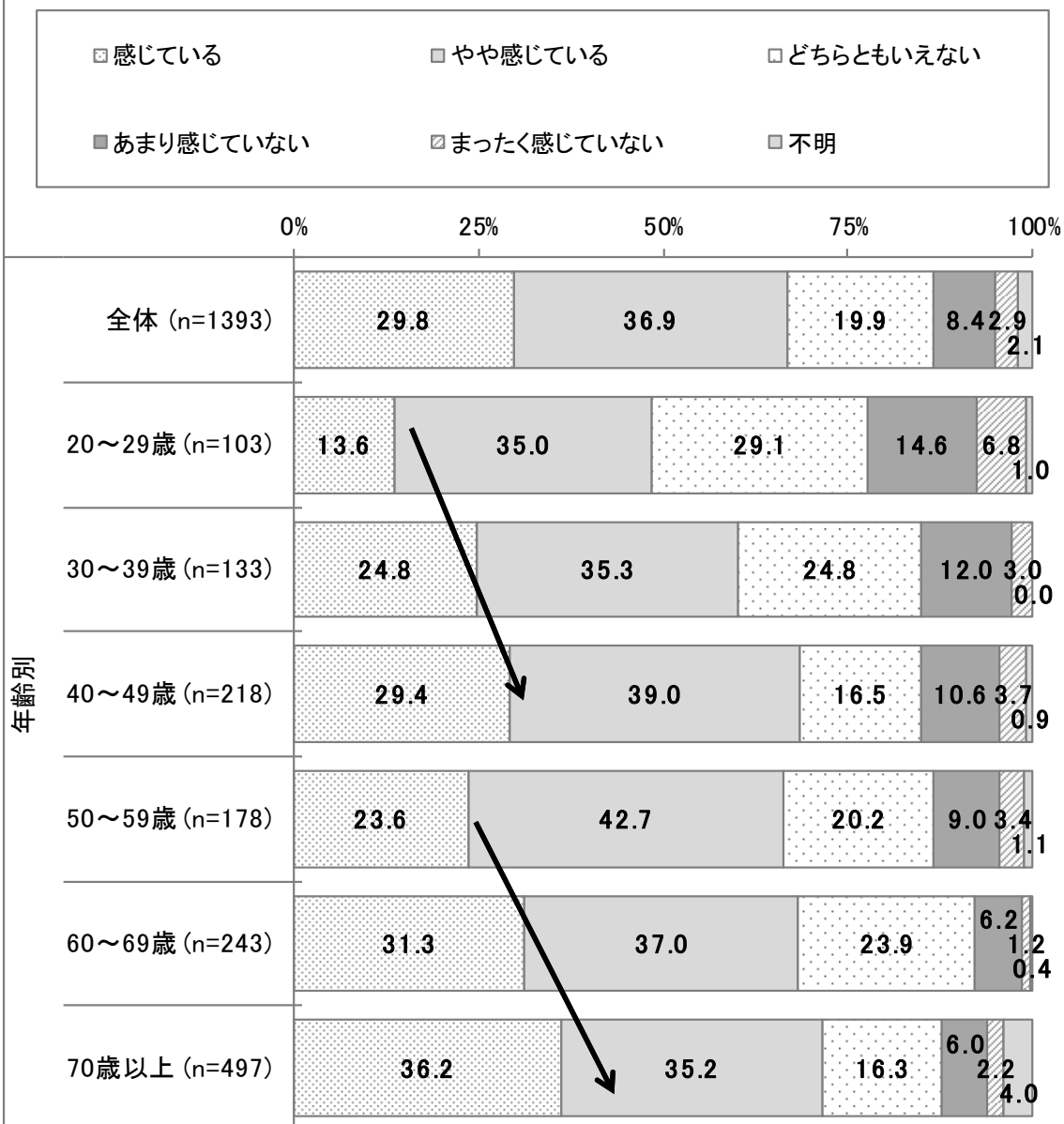


1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り：年齢別】

- 周辺地域に対して愛着や誇りを「感じている」割合は、「50～59歳」を除き、年代が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。
- 「20～29歳」では「感じている」、「やや感じている」の合計が48.5%と少ない。
- 「70歳以上」では「感じている」が36.2%で全体より6.4ポイント多い。

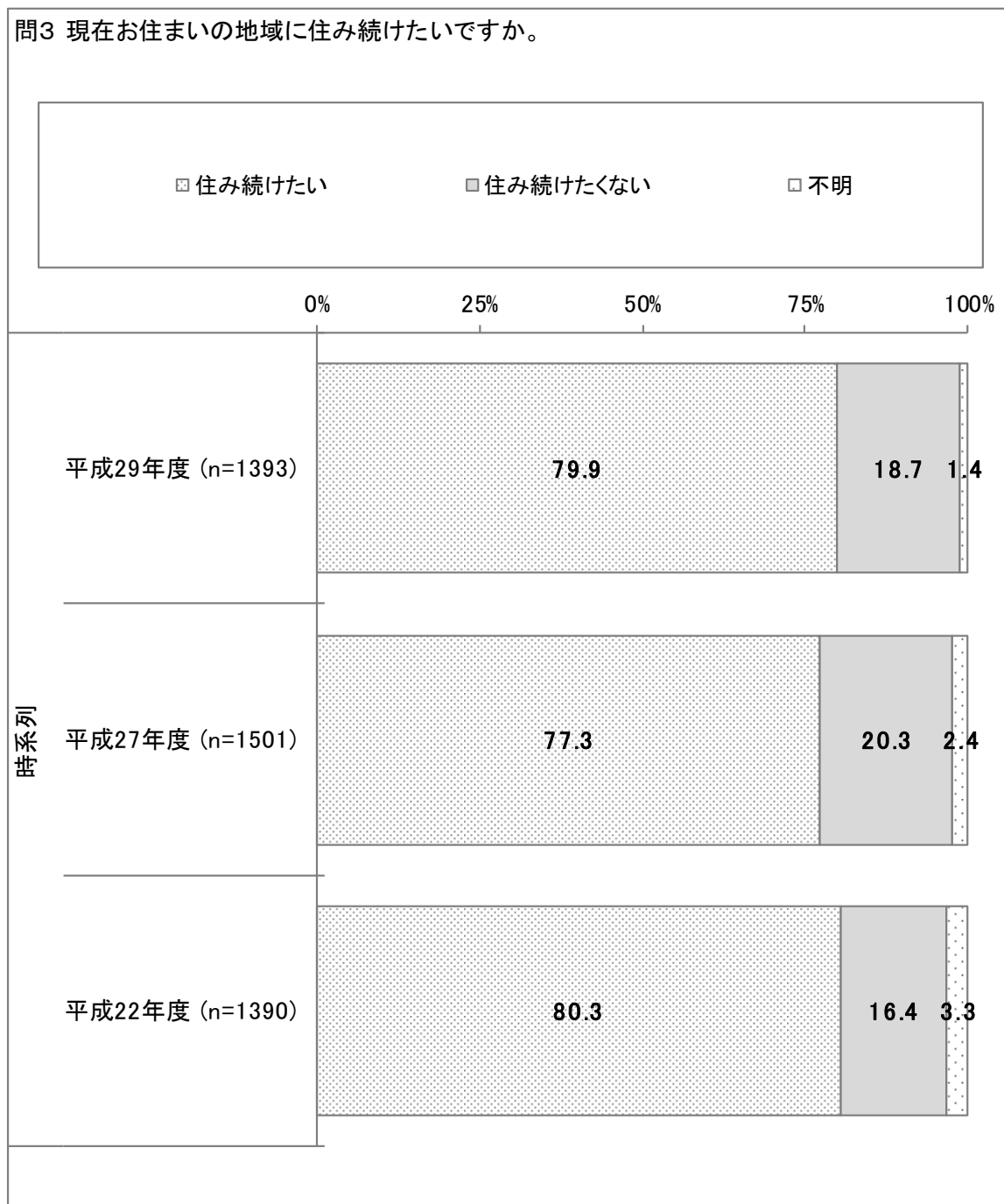
問2 周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



2. 定住意向について

【全体・時系列】

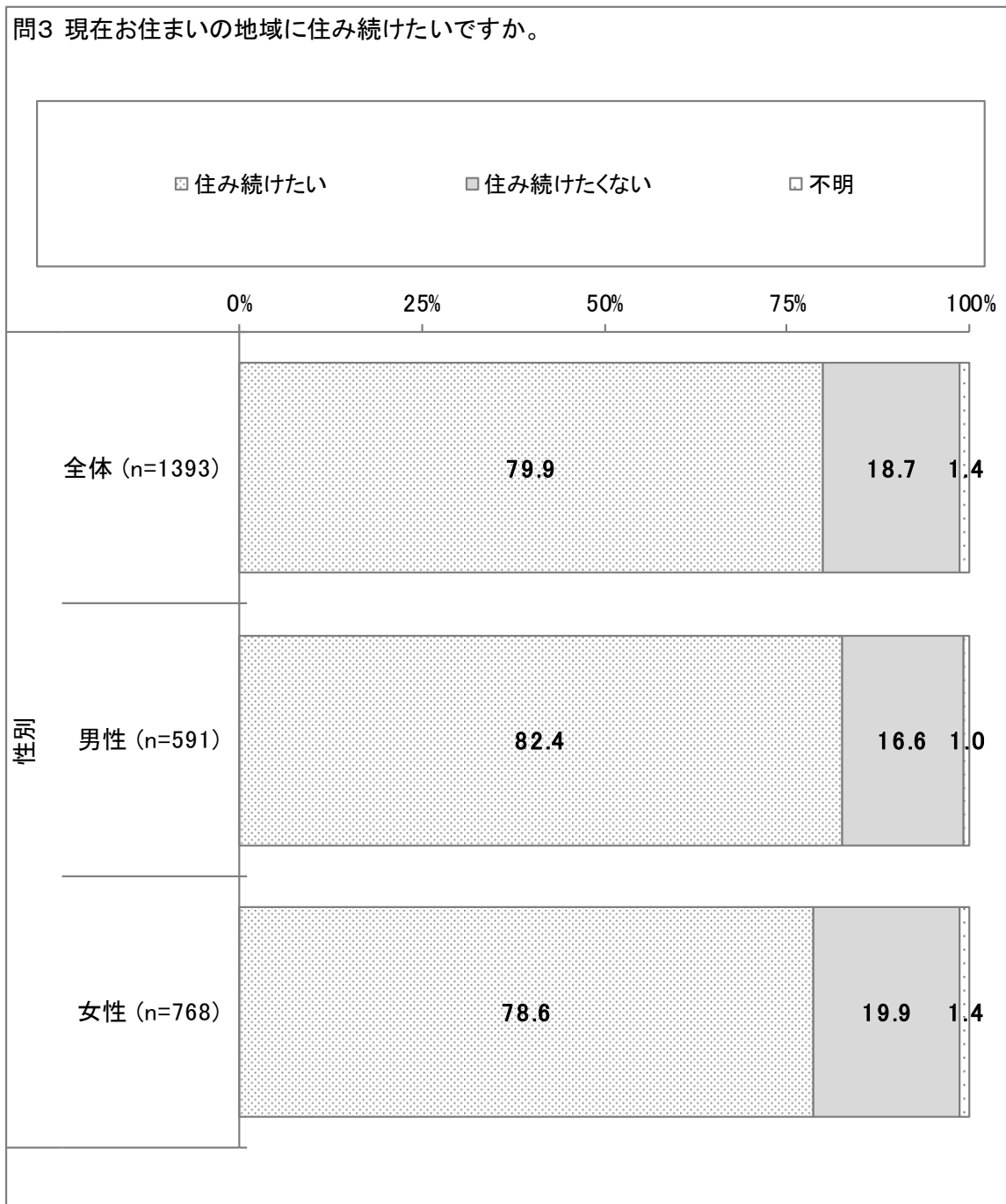
- ・ 現在の居住地に「住み続けたい」と回答した比率は79.9%である。
- ・ 平成27年度に比べると、わずかに(2.6ポイント)上昇している。



2. 定住意向について

【性別】

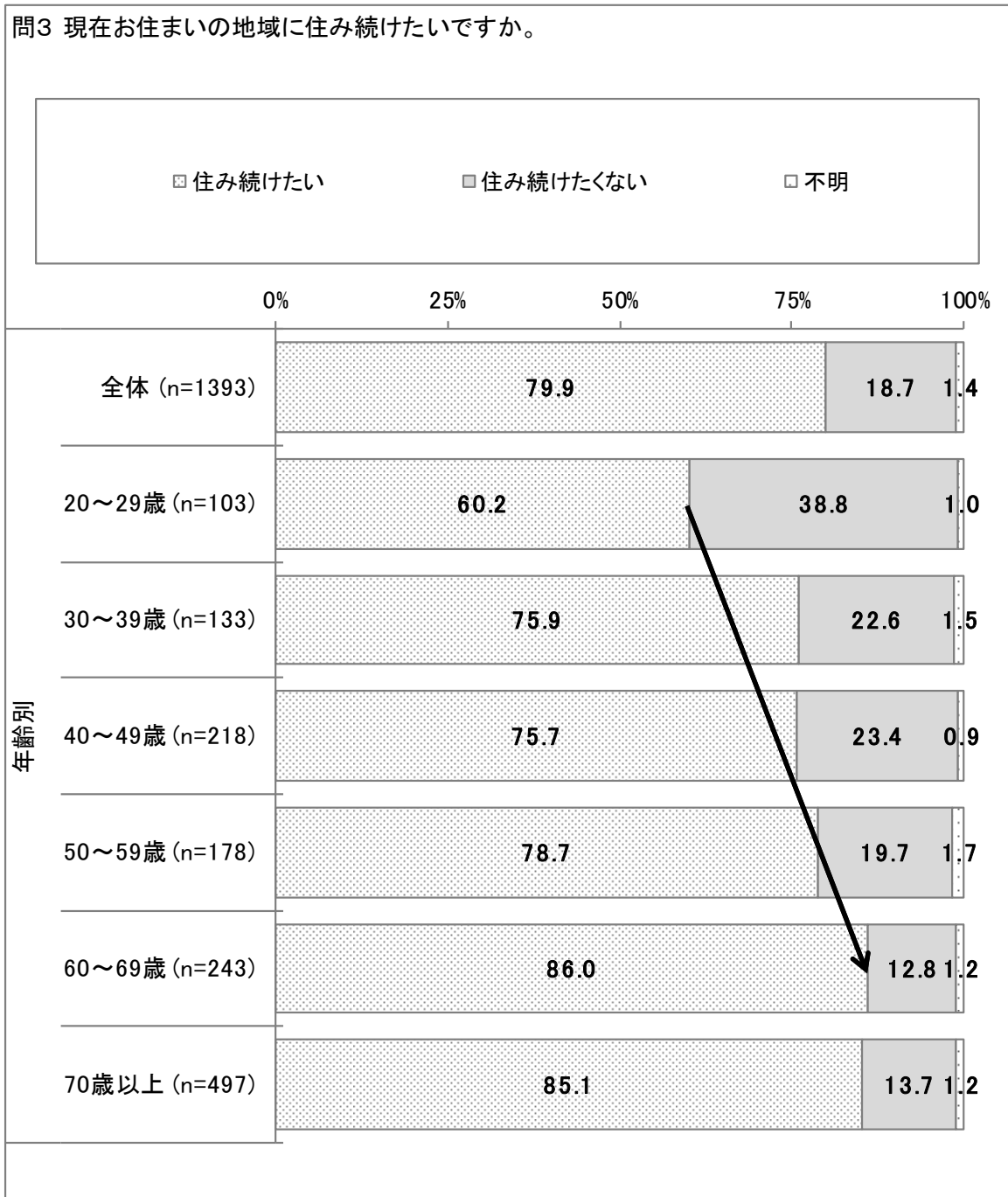
- 「男性」の定住意向が「女性」に比べてやや高い(3.8ポイント)。



2. 定住意向について

【年齢別】

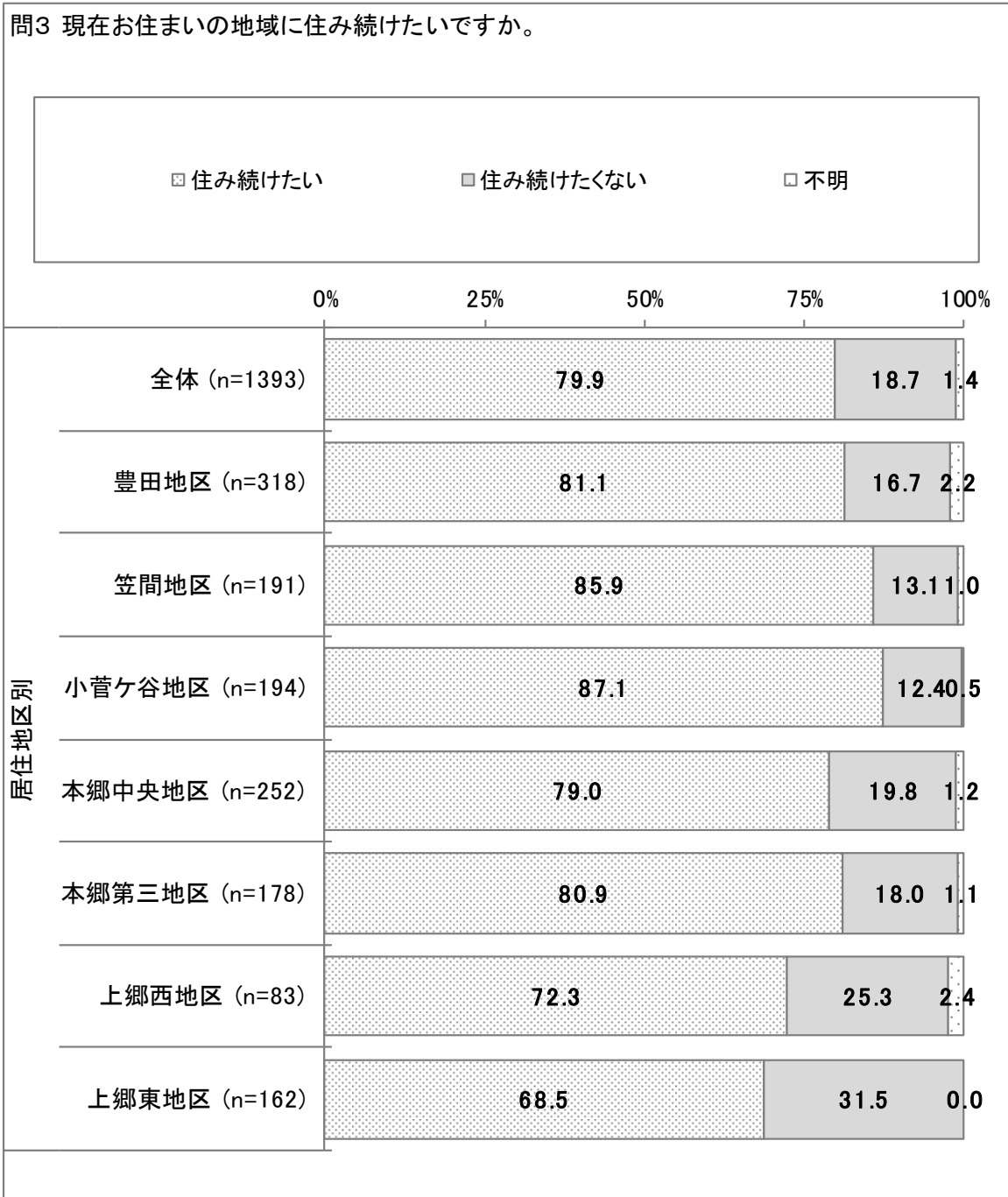
- ・ 年齢が高くなるにつれて定住意向が高くなる傾向がみられる。
- ・ 「20～29歳」の定住意向は60.2%に留まるが、「60～69歳」は86.0%、「70歳以上」では85.1%である。



2. 定住意向について

【居住地区別】

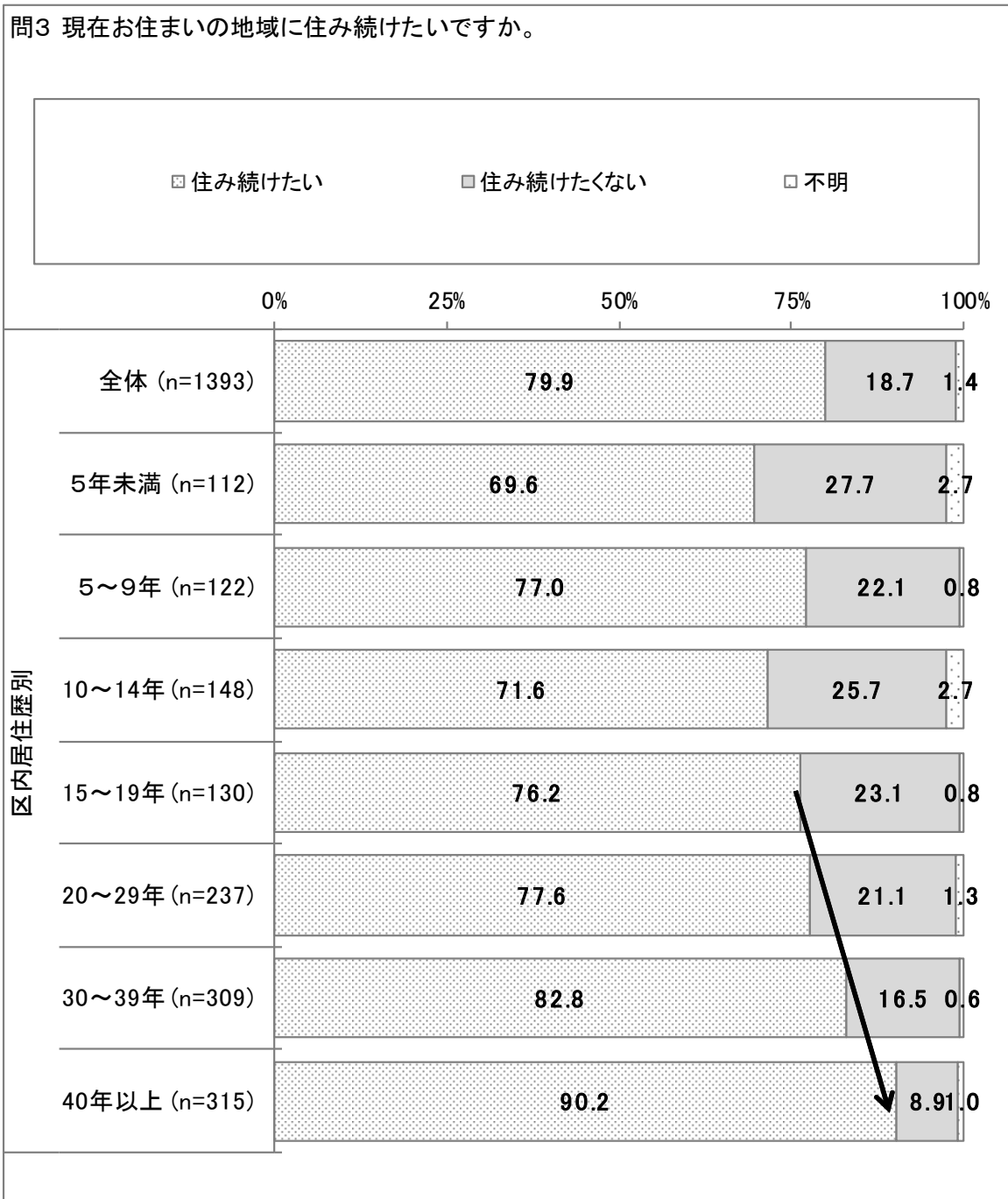
- 居住地区別では、「小菅ヶ谷地区」、「笠間地区」の定住意向が全体より5ポイント以上高い。
- 「上郷東地区」は68.5%で、全体より11.4ポイント低い。「上郷西地区」は全体より7.6ポイント低い。



2. 定住意向について

【区内居住歴別】

- 区内居住歴が15年を超えると、区内居住歴が長いほど定住意向が高くなる傾向がみられる。
- 「40年以上」では定住意向が90%を超える。

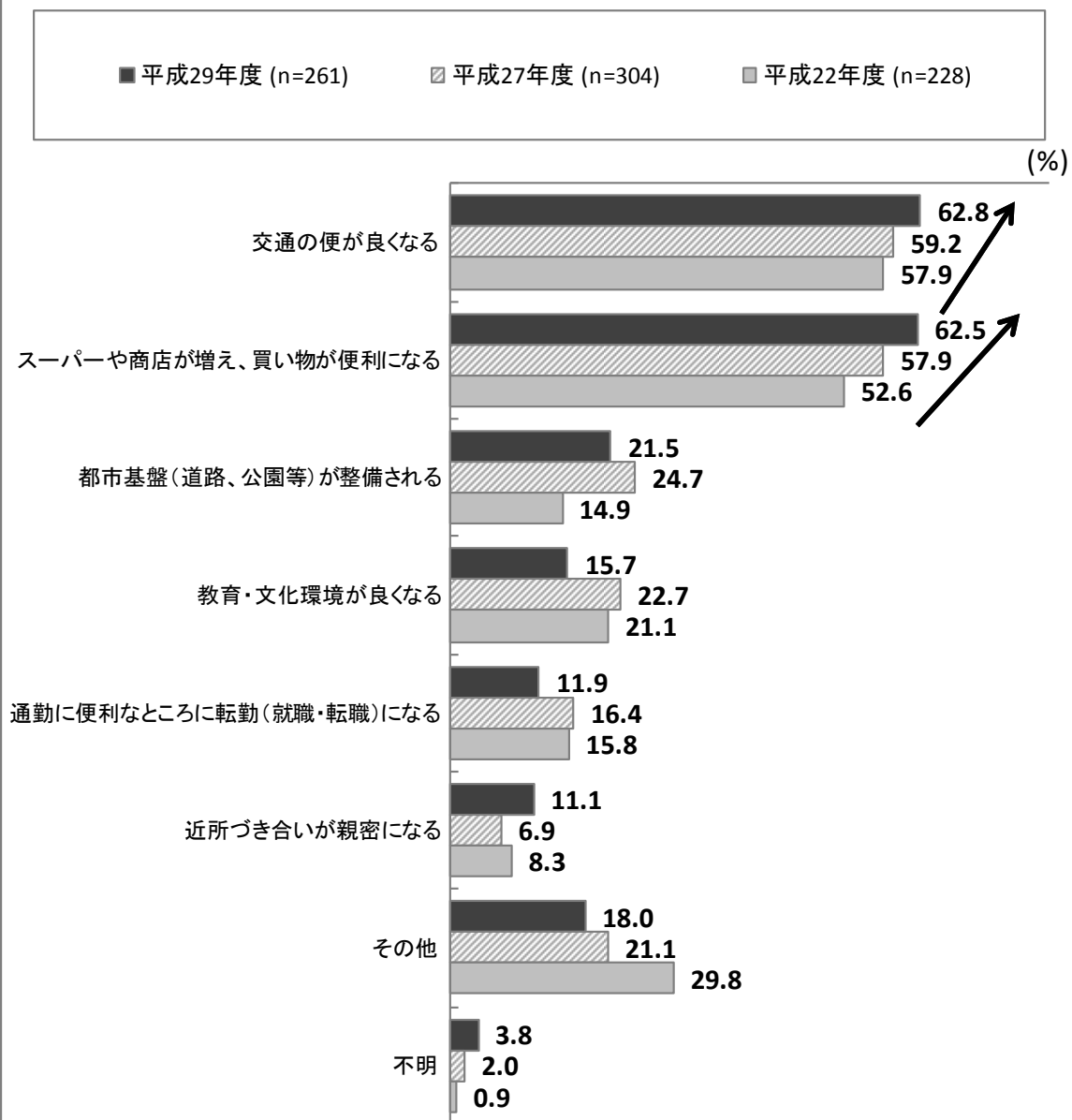


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：全体・時系列】

- ・ 「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が6割を超え、他の項目を大きく上回る。
- ・ この2項目は時系列でも増加傾向にあり、必要性も高くなっている。

問3-1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(〇は3つまで)

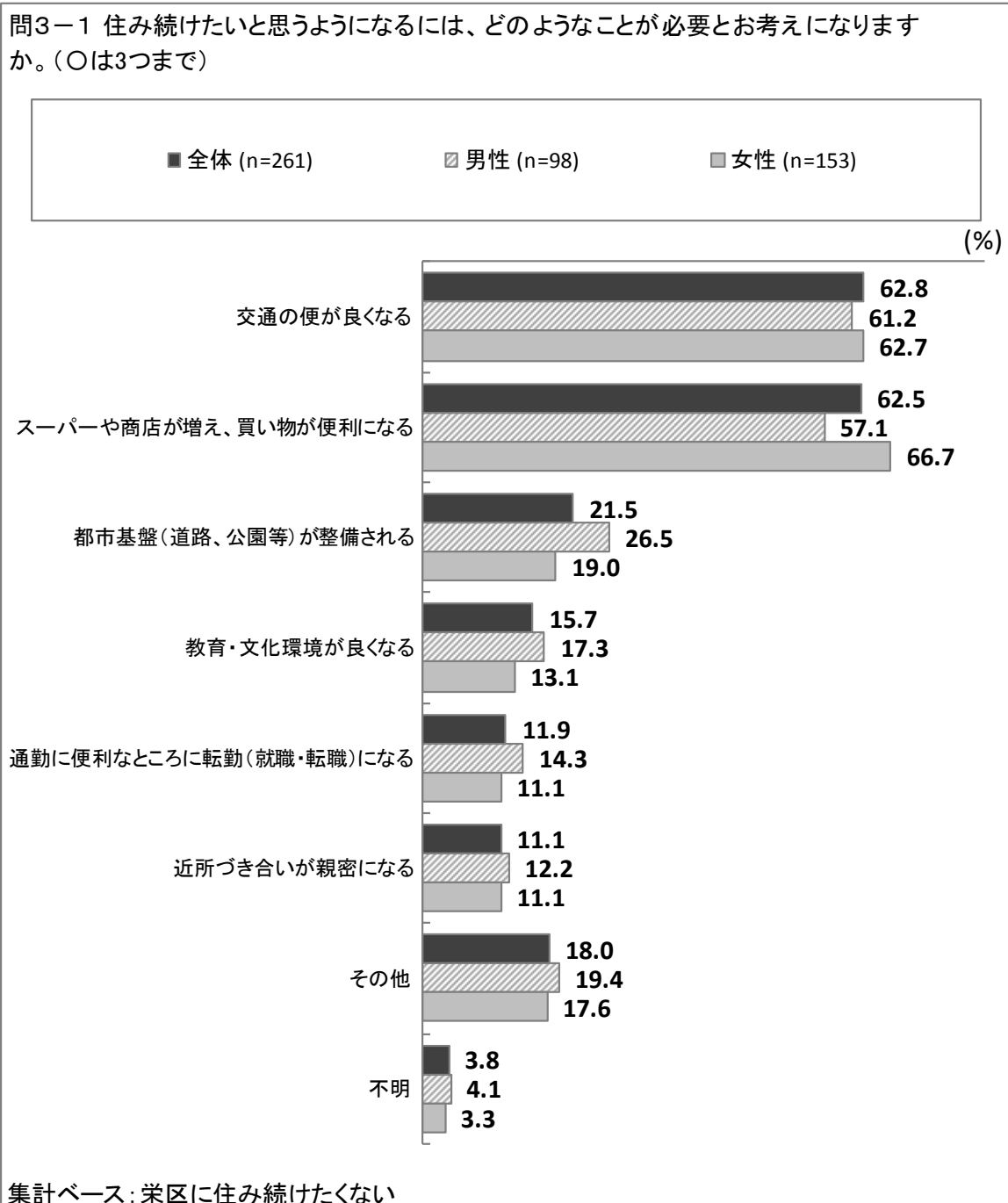


集計ベース：栄区に住み続けたくない

2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：性別】

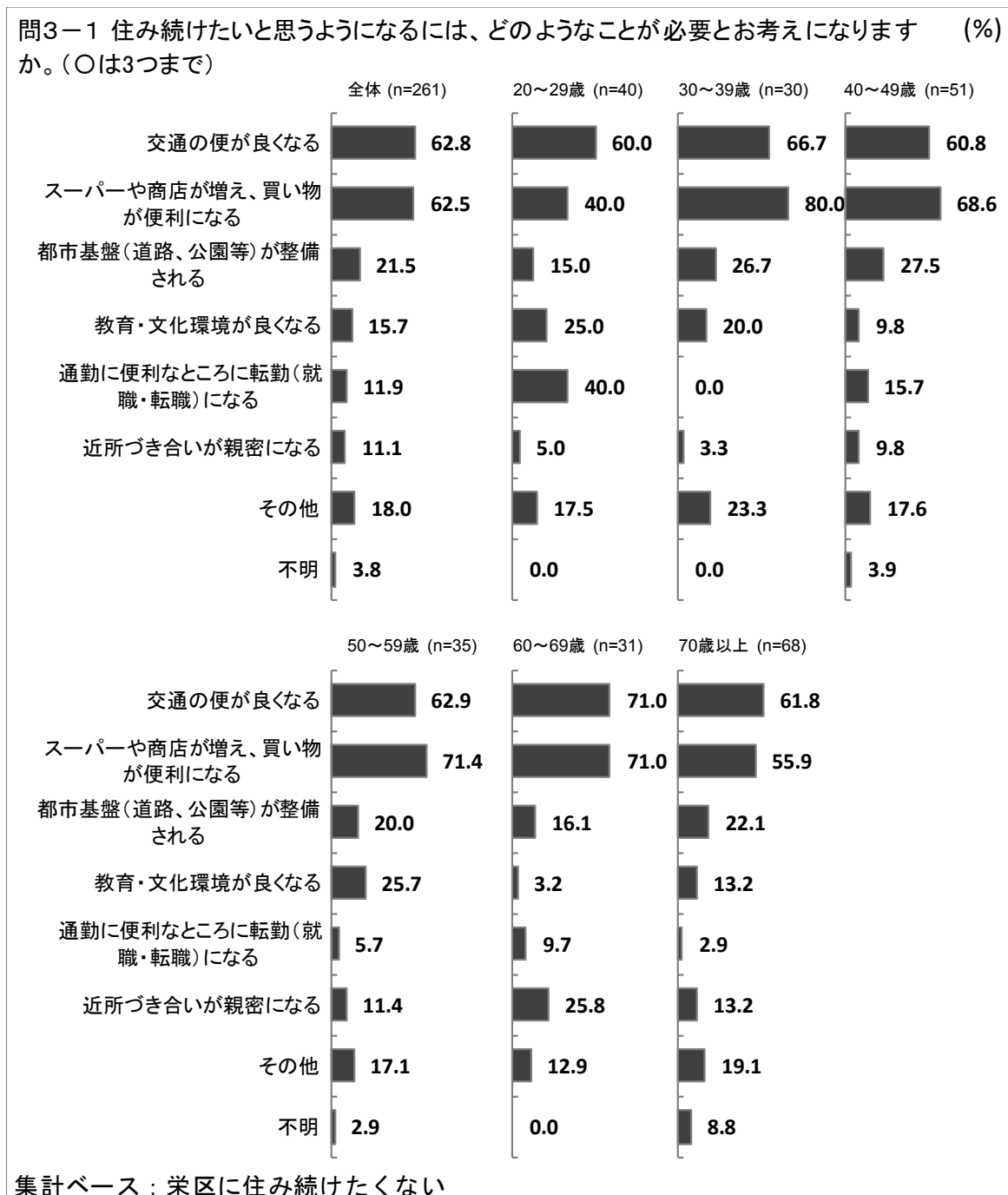
- ・ 「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は「女性」が「男性」より9.6ポイント多い。
- ・ 「都市基盤(道路、公園等)が整備される」は「男性」が「女性」より7.5ポイント多い。
- ・ それ以外の項目については男女間の差は大きくない。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が全体より28.1ポイント多い。
- ・ 30代から60代では、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が全体より5ポイント以上多いが、「20～29歳」、「70歳以上」は全体を5ポイント以上下回る。
- ・ 「30～39歳」、「40～49歳」では、「都市基盤(道路、公園等)が整備される」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「50～59歳」の「教育・文化環境が良くなる」、「60～69歳」の「近所つき合いが親密になる」は全体より10ポイント以上多い。

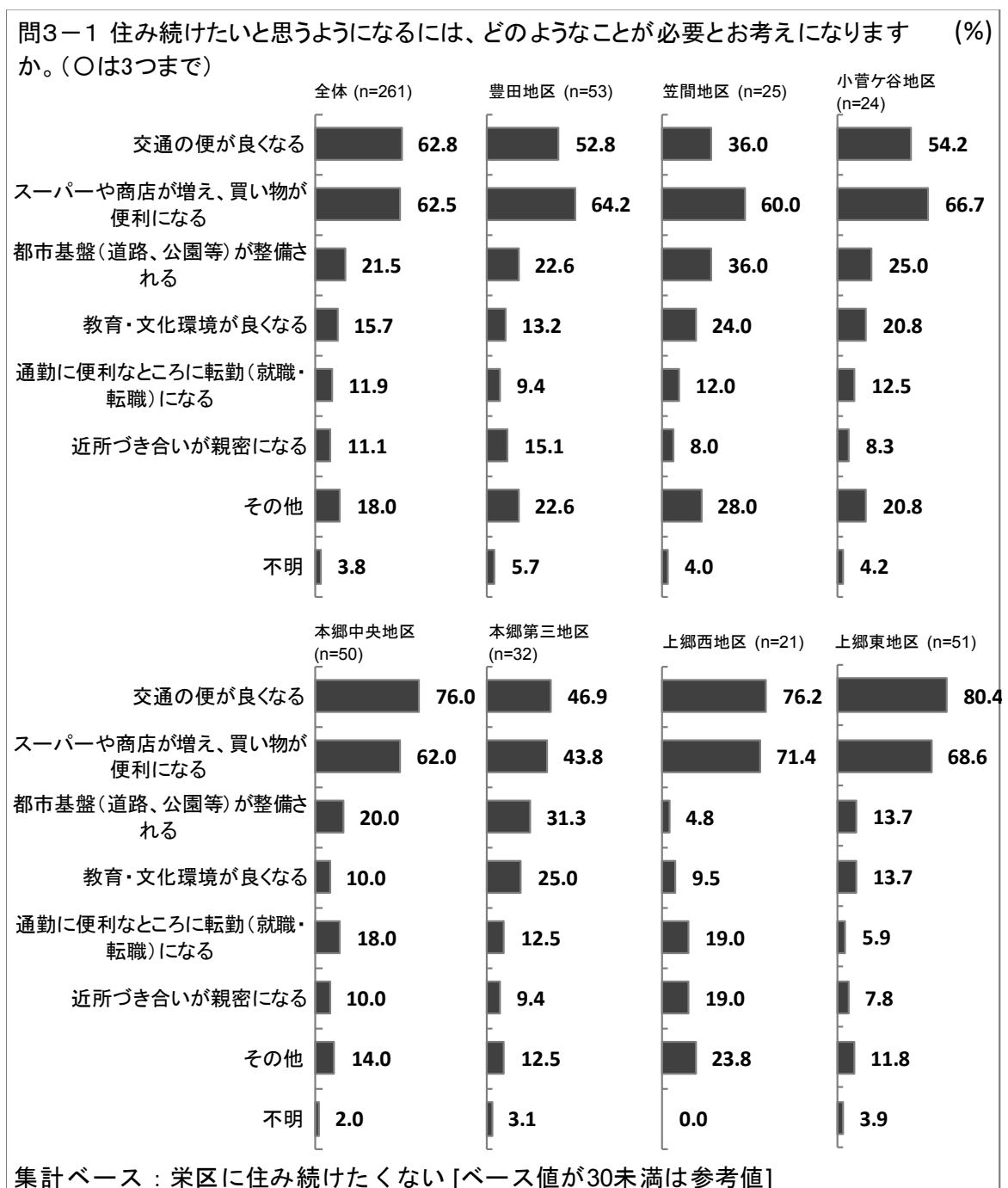


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：居住地区別】

- ・ 「交通の便が良くなる」は全体に比べて「本郷中央地区」、「上郷東地区」で10ポイント以上多く、「豊田地区」、「本郷第三地区」では10ポイント以上少ない。
- ・ 「本郷中央地区」は「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷第三地区」は「都市基盤(道路、公園等)が整備される」、「教育・文化環境が良くなる」が全体より10ポイント弱多い。
- ・ 「上郷東地区」は「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が全体より5ポイント以上多い。

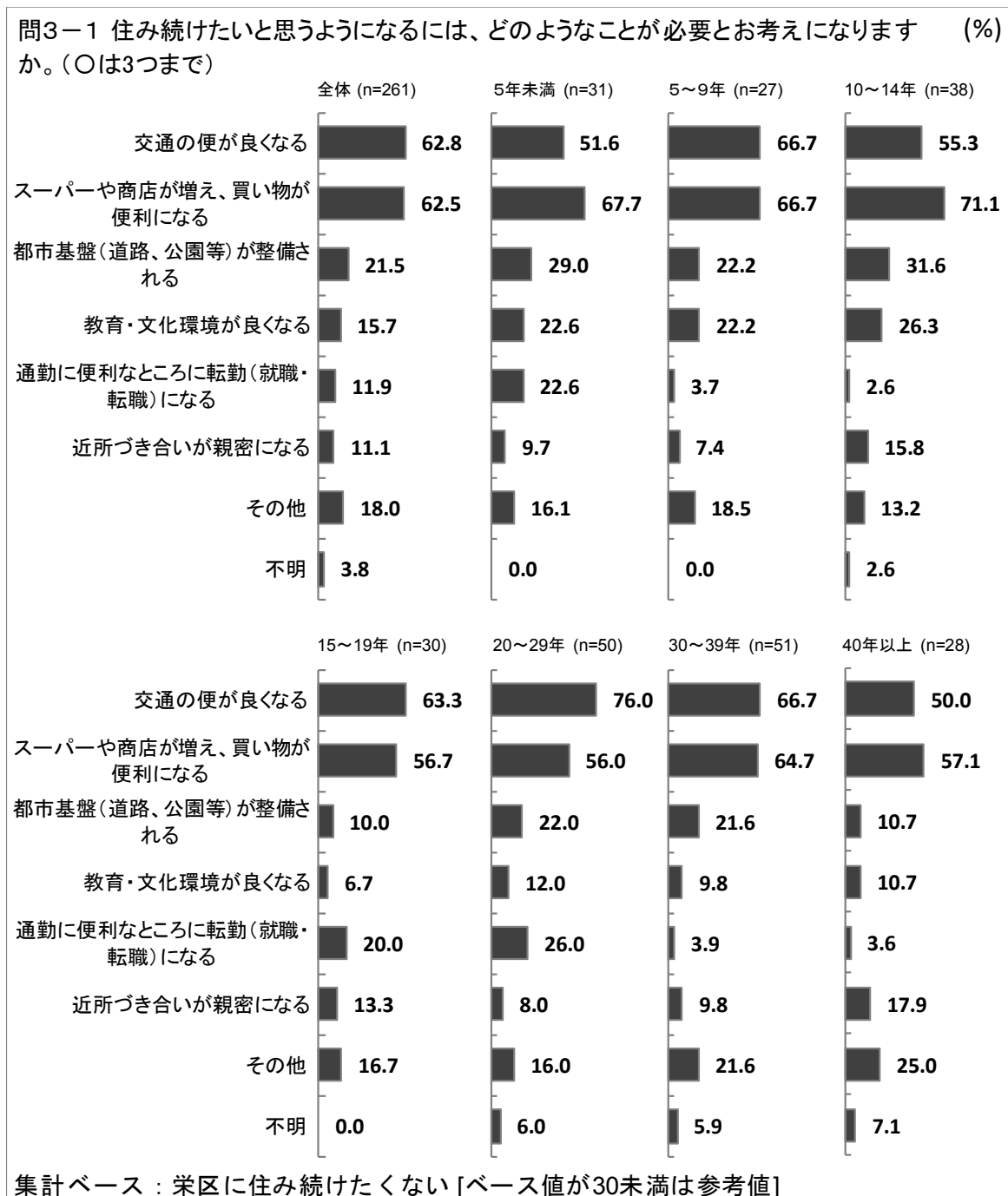
※「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「上郷西地区」はベース値が30未満で参考値。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと： 居住期間別】

- ・ 「5年未満」は「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が10ポイント以上多い。
- ・ 「10～14年」は「教育・文化環境が良くなる」、「都市基盤(道路、公園等)が整備される」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「20～29年」は全体に比べて「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」、「交通の便が良くなる」が全体より10ポイント以上多い。
※「5から9年」、「40年以上」はベース値が30未満で参考値。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと「その他」】

- ・ 自由回答では、「環境改善」に関するものが最も多くあげられている(16件)。
- ・ 次に、「道路・交通改善」に関するものがあげられている(14件)。

問3-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。

「7. その他」の内容

(件)

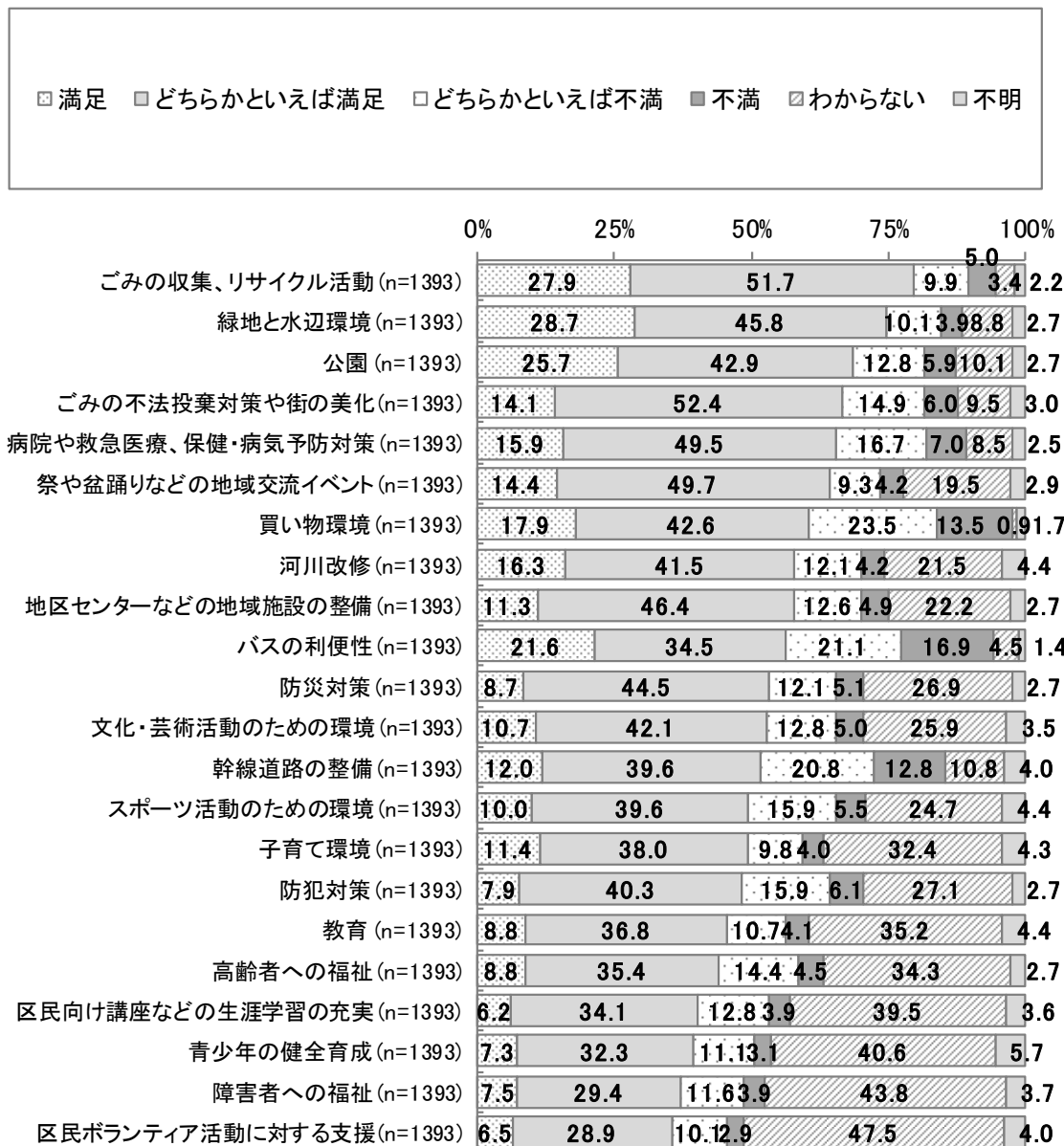
環境改善	16	自治会・町内会の役割・負担	5
騒音・日当たりの改善	5	安全・安心強化	4
住民のマナー向上	3	災害対策強化	2
自然環境の保全・整備	3	防犯の強化	2
空き家対策	2	若者を増やす施策・活性化	4
その他環境	5	子育て支援	4
道路・交通改善	14	商業施設の充実・サービス向上	4
交通利便性の向上	11	医療の充実	2
坂が多い	3	福祉の充実	2
行政サービス改善	5	転居の予定	9
栄区独自の魅力・他との差別	2	その他	7
その他行政	3		

3. 生活意識について

【満足度の高い生活環境：全体】

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計(以下『満足』)が最も高いのは「ごみの収集、リサイクル活動」で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」が続く。

問4 以下の項目について、どの程度満足していますか。

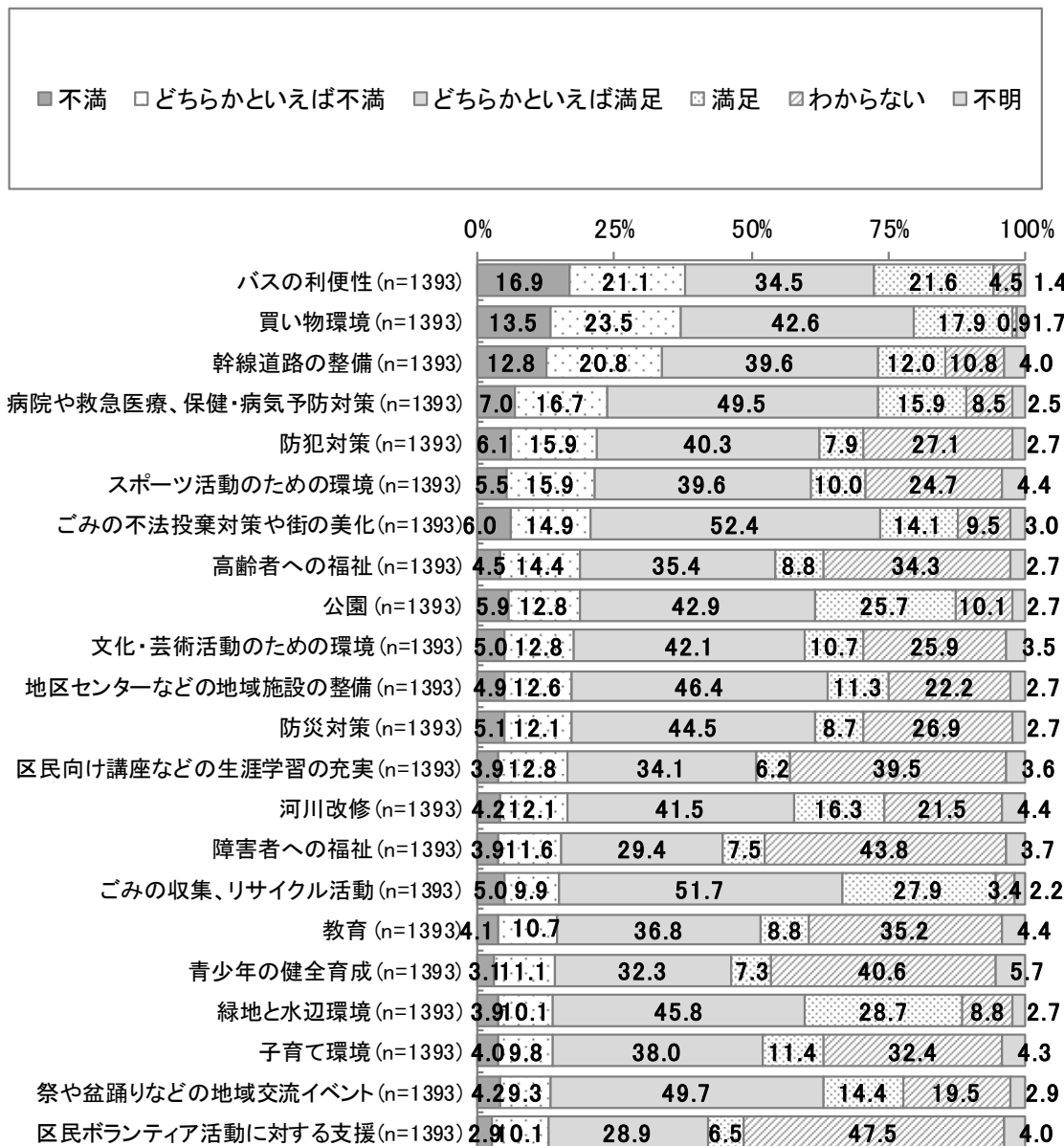


3. 生活意識について

【満足度の低い生活環境：全体】

- 「不満」、「どちらかといえば不満」の合計(以下『不満』)が最も高いのは「バスの利便性」で、「買い物環境」、「幹線道路の整備」、「病院や救急医療、保健・病氣予防対策」、「防犯対策」が続く。

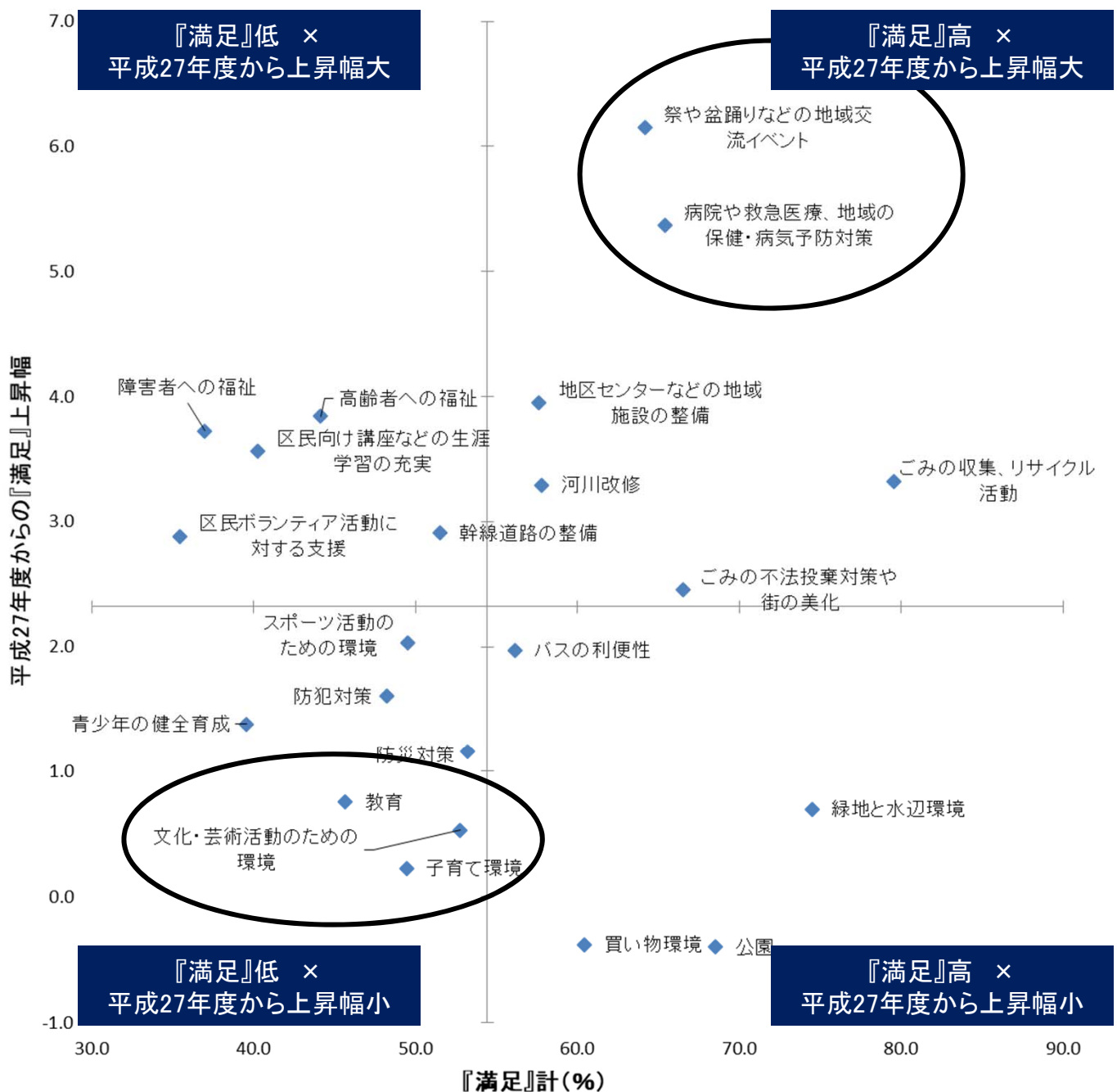
問4 以下の項目について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【満足度の時系列変化】

- 『満足』が高く、平成27年度から上昇幅の大きい項目としては、「祭りや盆踊りなどの地域交流イベント」、「病院や救急医療、地域の保険・病気予防対策」があげられる。
- 一方で、『満足』が低く、平成27年度からの上昇幅が小さい項目としては、「子育て環境」、「文化・芸術活動のための環境」、「教育」があげられる。

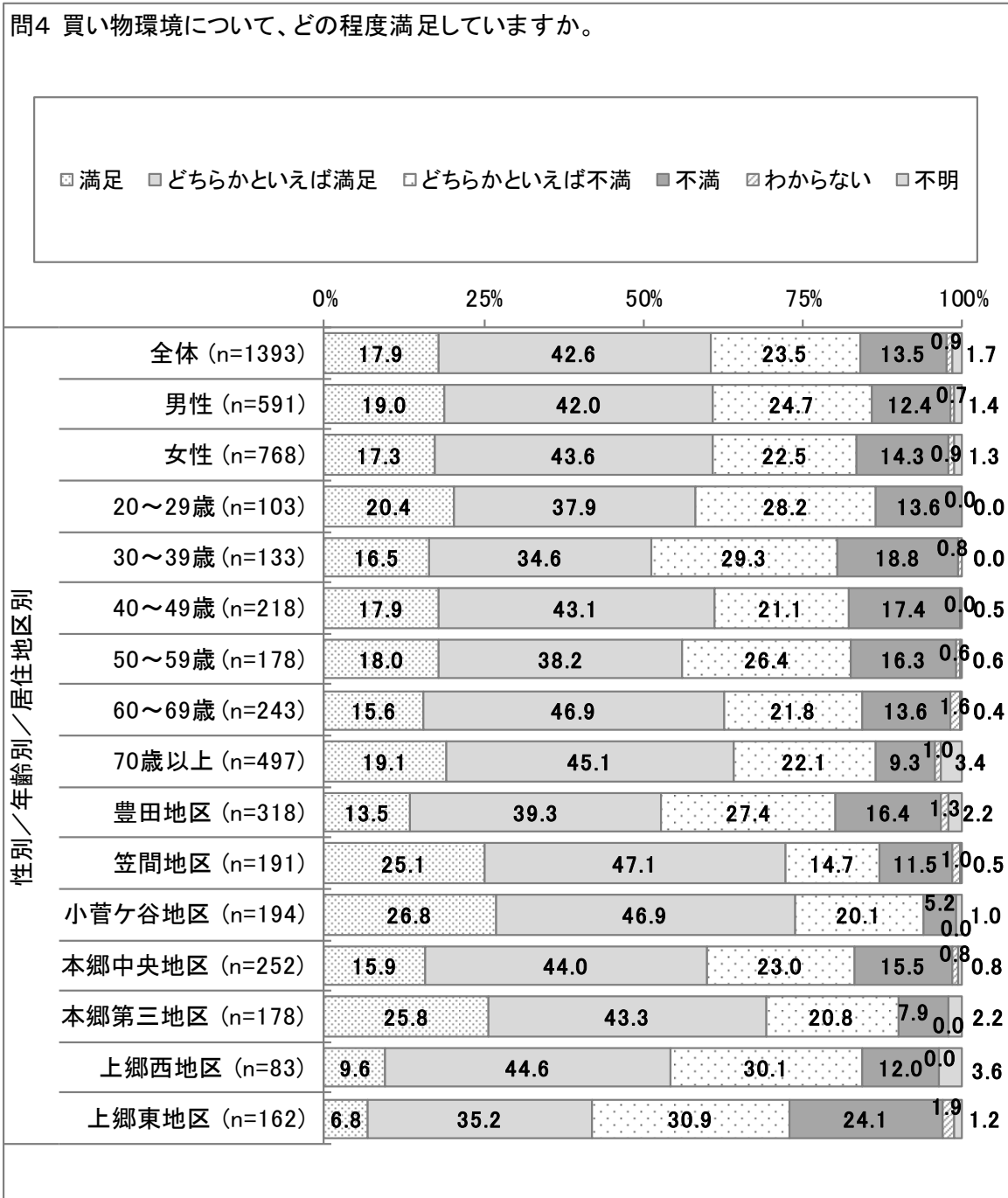


※縦軸、横軸はそれぞれ『満足』、平成27年度からの『満足』上昇幅の単純平均を示す

3. 生活意識について

【買い物環境】

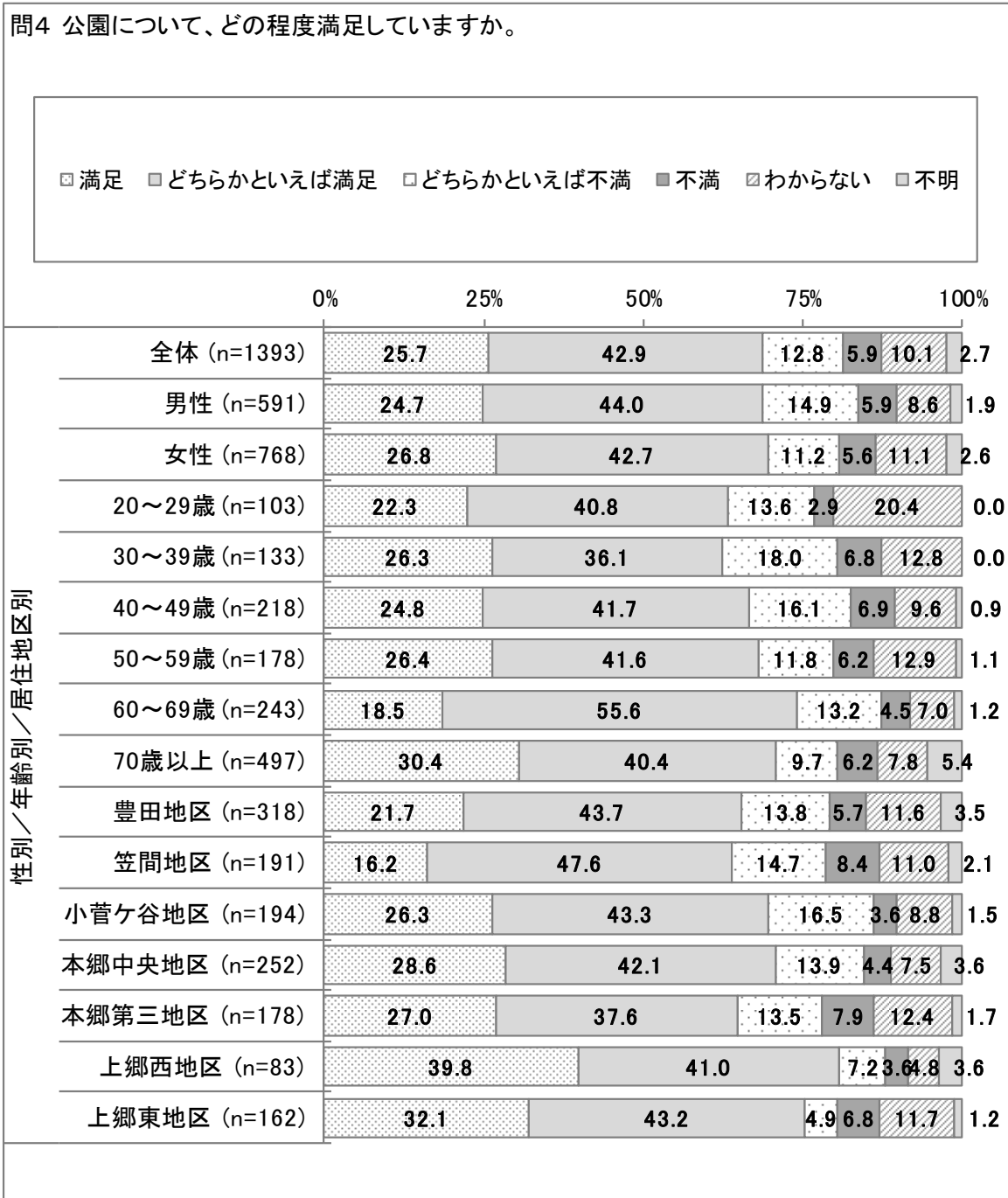
- 全体の『満足』は60.4%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「小菅ヶ谷地区」、「笠間地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上低いのは、「上郷東地区」である。



3. 生活意識について

【公園】

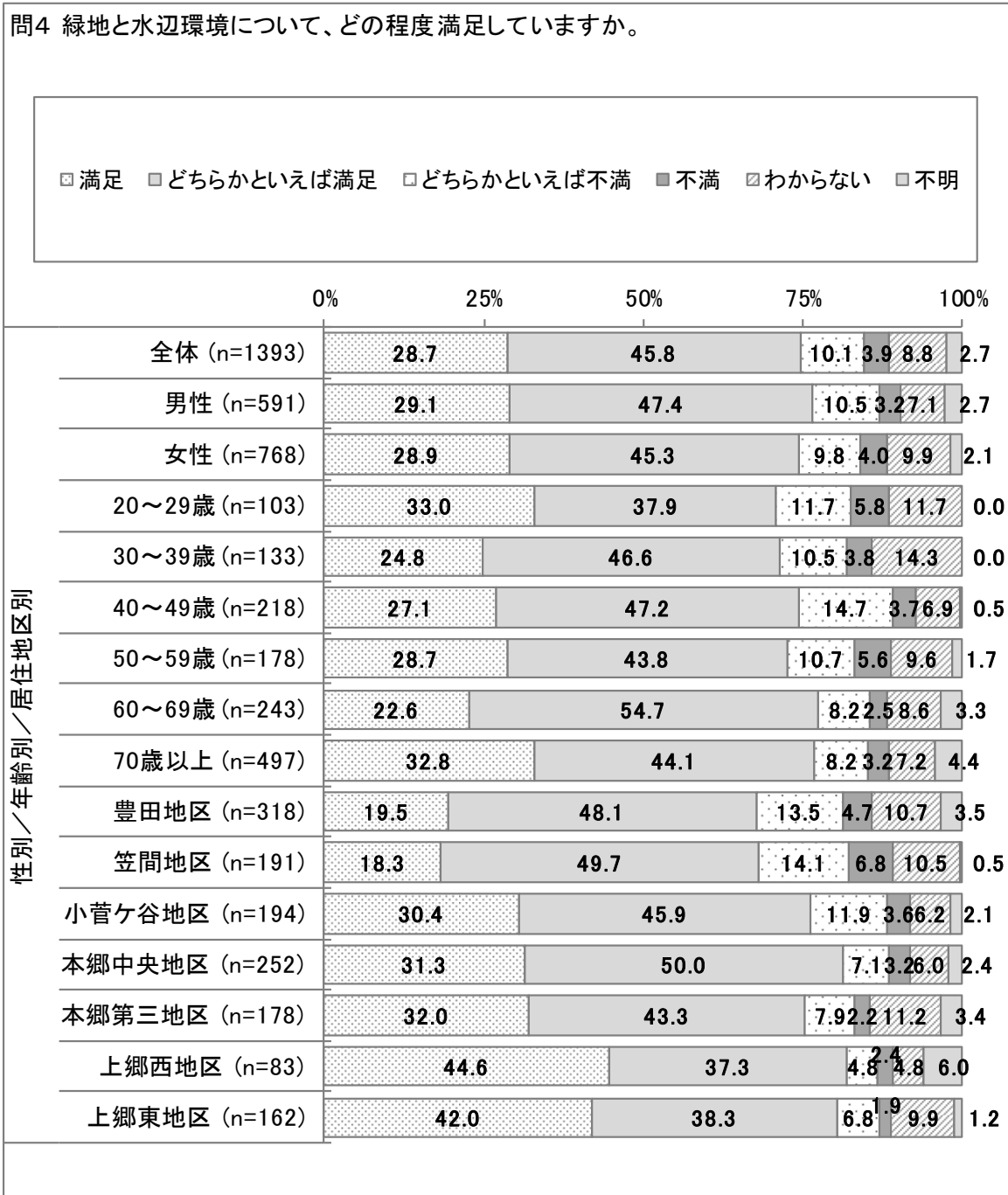
- 全体の『満足』は68.6%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「上郷西地区」である。



3. 生活意識について

【緑地と水辺環境】

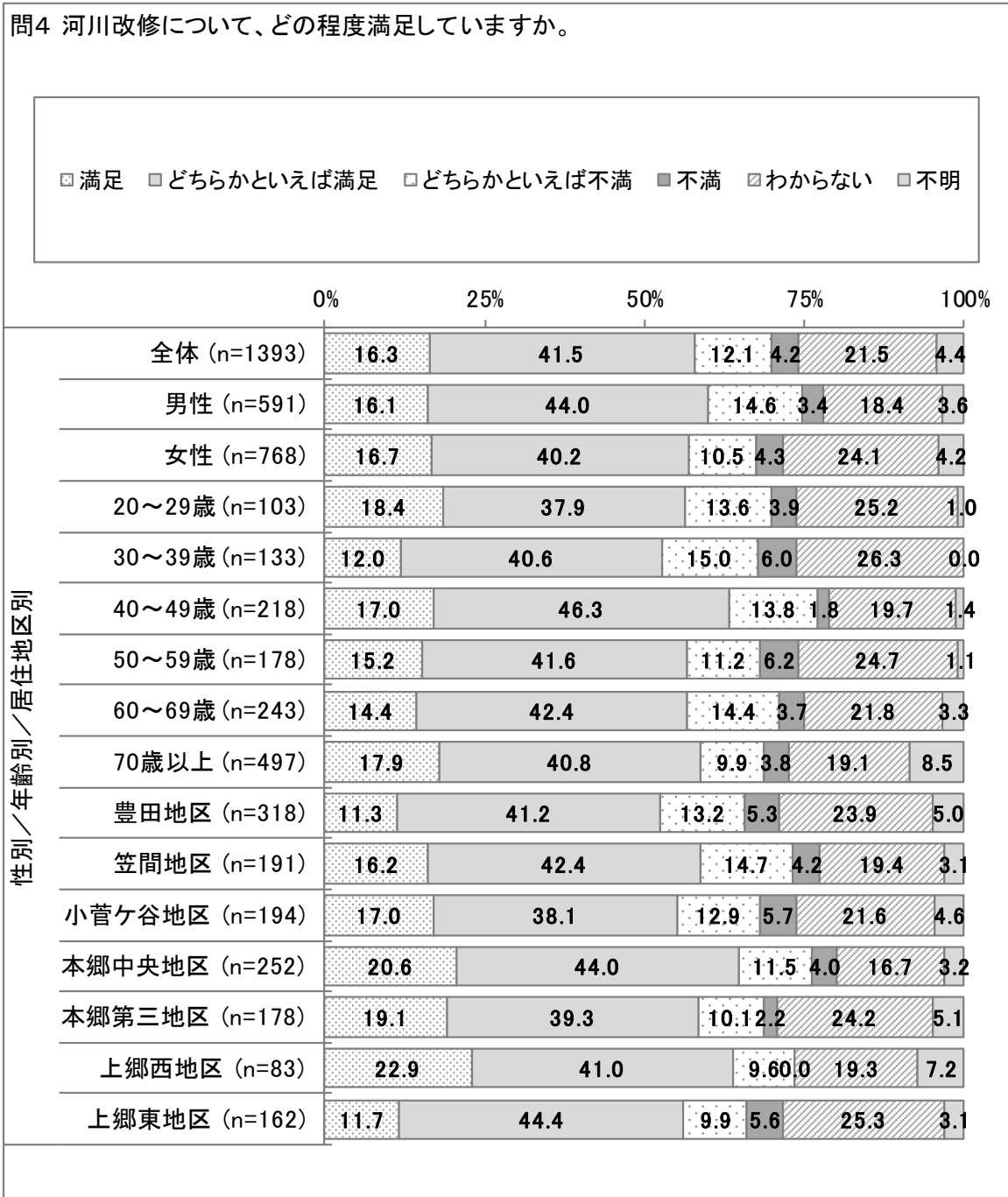
- 全体の『満足』は74.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「上郷西地区」、「本郷中央地区」、「上郷東地区」、である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」、「笠間地区」である。



3. 生活意識について

【河川改修】

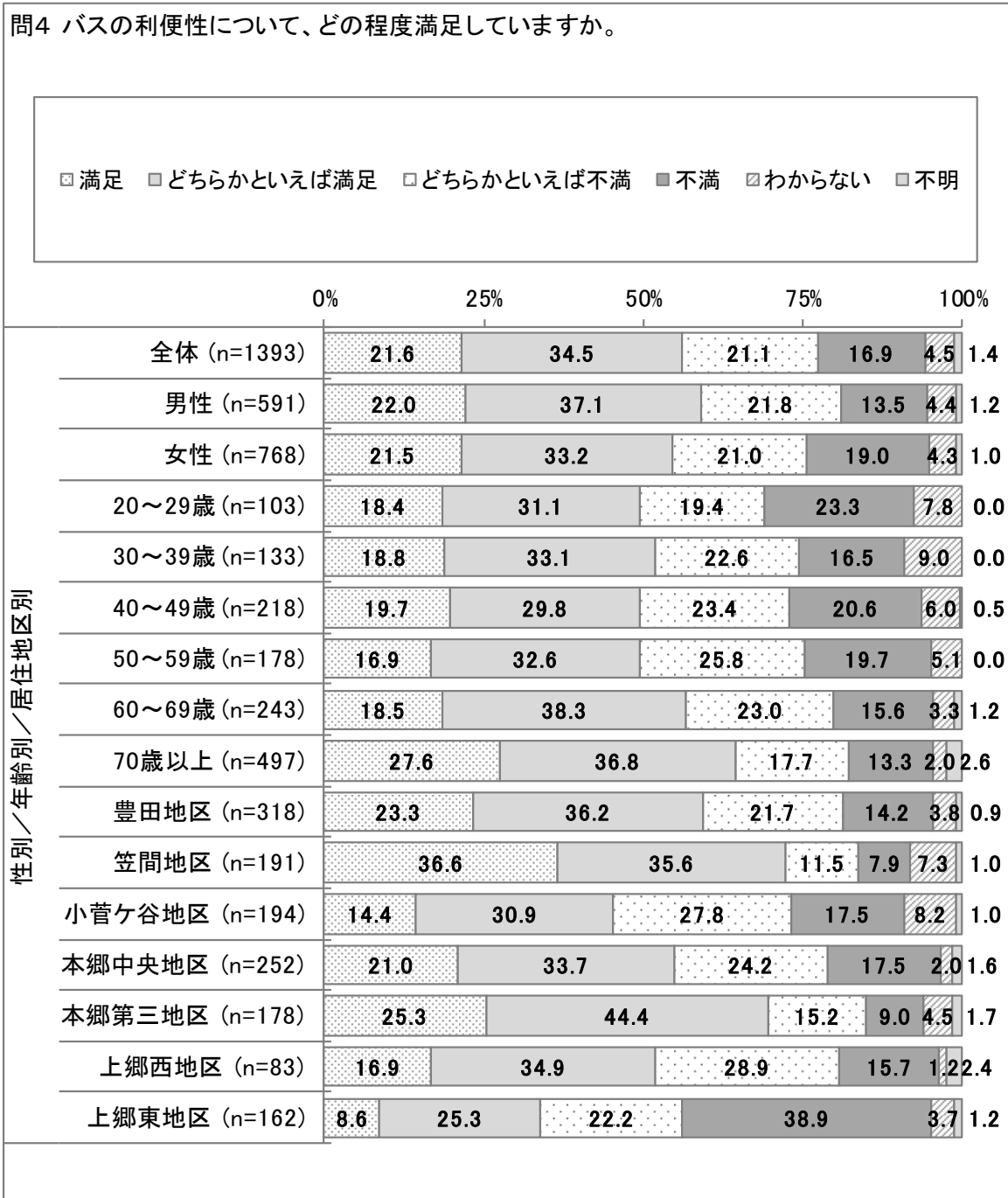
- 全体の『満足』は57.8%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「40～49歳」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「30～39歳」、「豊田地区」である。



3. 生活意識について

【バスの利便性】

- 全体の『満足』は56.1%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「笠間地区」、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上低いのは、「上郷東地区」、「小菅ヶ谷地区」である。

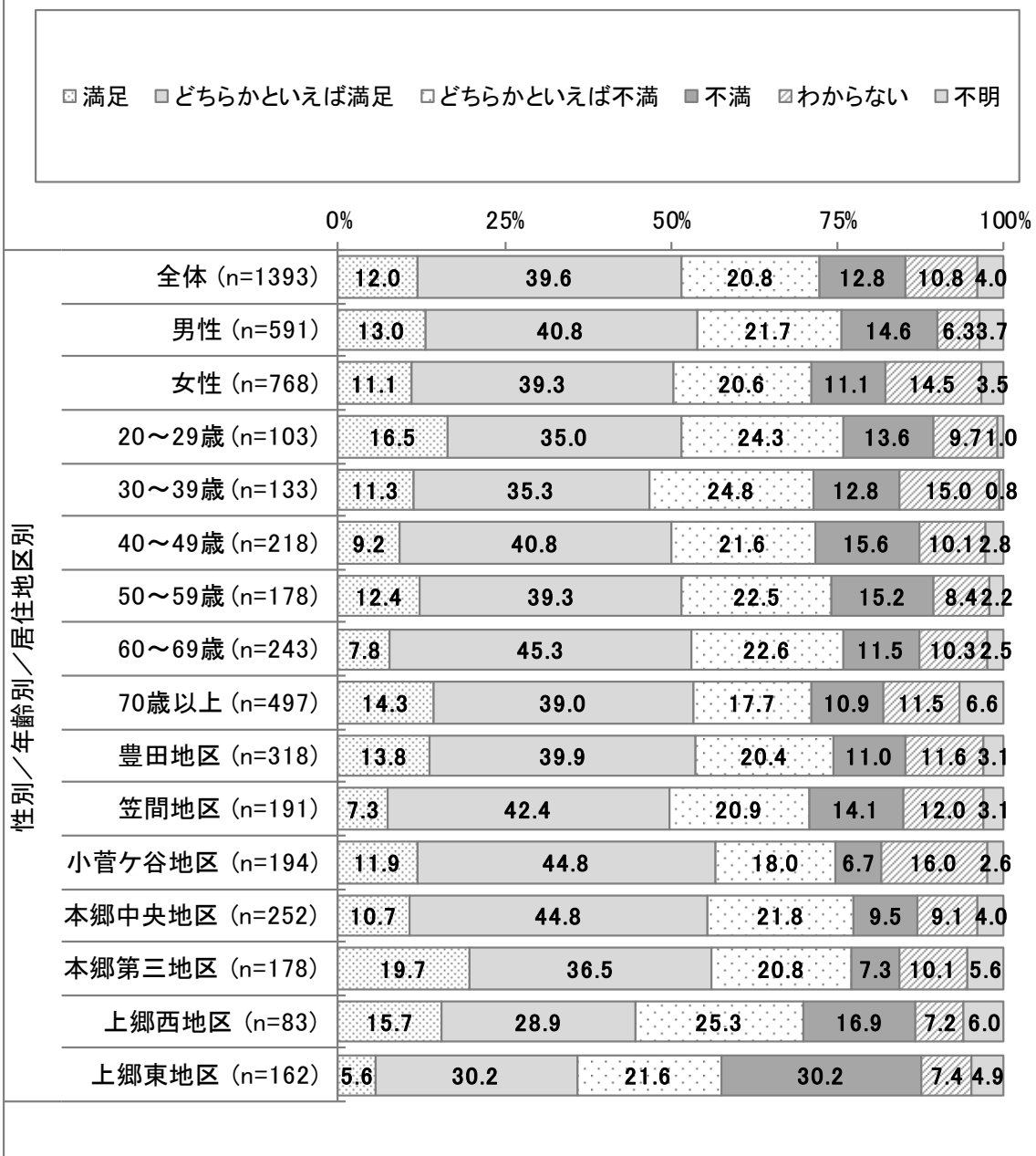


3. 生活意識について

【幹線道路の整備】

- 全体の『満足』は51.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上低いのは、「上郷東地区」である。「上郷西地区」は全体より5ポイント以上低い。

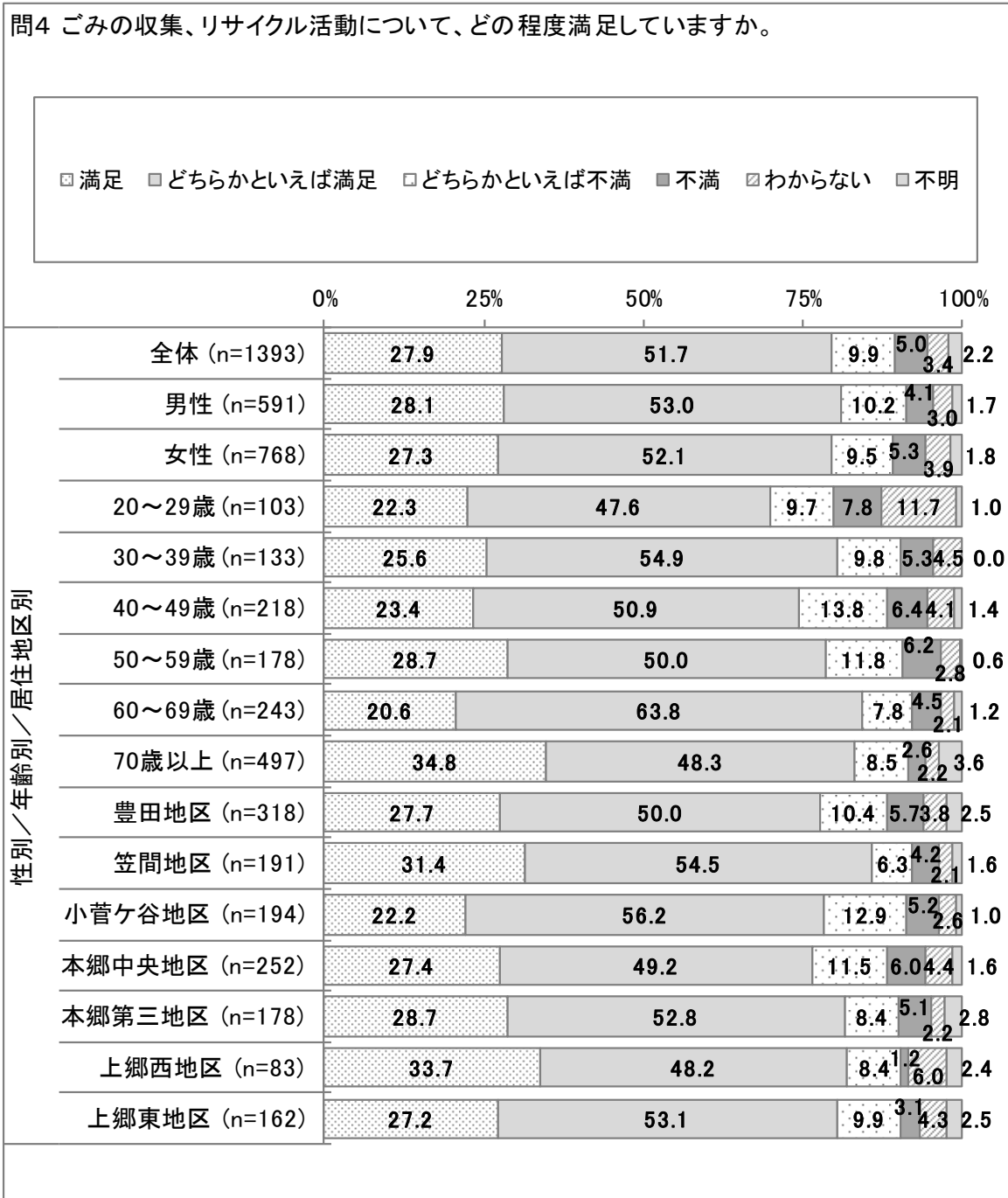
問4 幹線道路の整備について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【ごみの収集・リサイクル活動】

- 全体の『満足』は79.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「笠間地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「20～29歳」、「40～49歳」である。

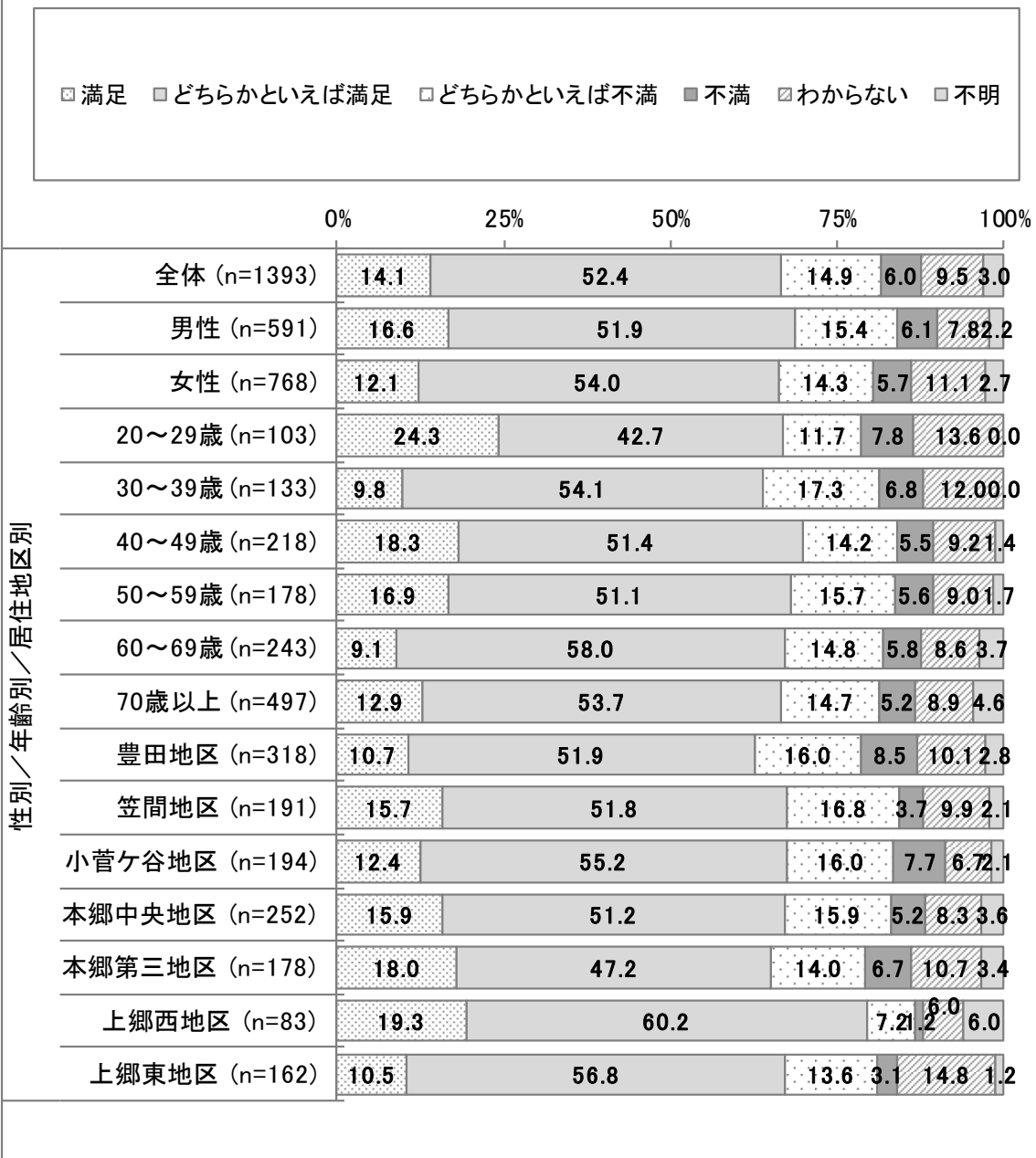


3. 生活意識について

【ごみの不法投棄対策や街の美化】

- 全体の『満足』は66.5%である。
- 「上郷西地区」は『満足』の割合が全体より13.0ポイント多い。

問4 ごみの不法投棄対策や街の美化について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【子育て環境】

- 全体の『満足』は49.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「50～59歳」、「40～49歳」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは「豊田地区」である。
- 「20～29歳」の「わからない」が48.5%と非常に多い。

問4 子育て環境について、どの程度満足していますか。

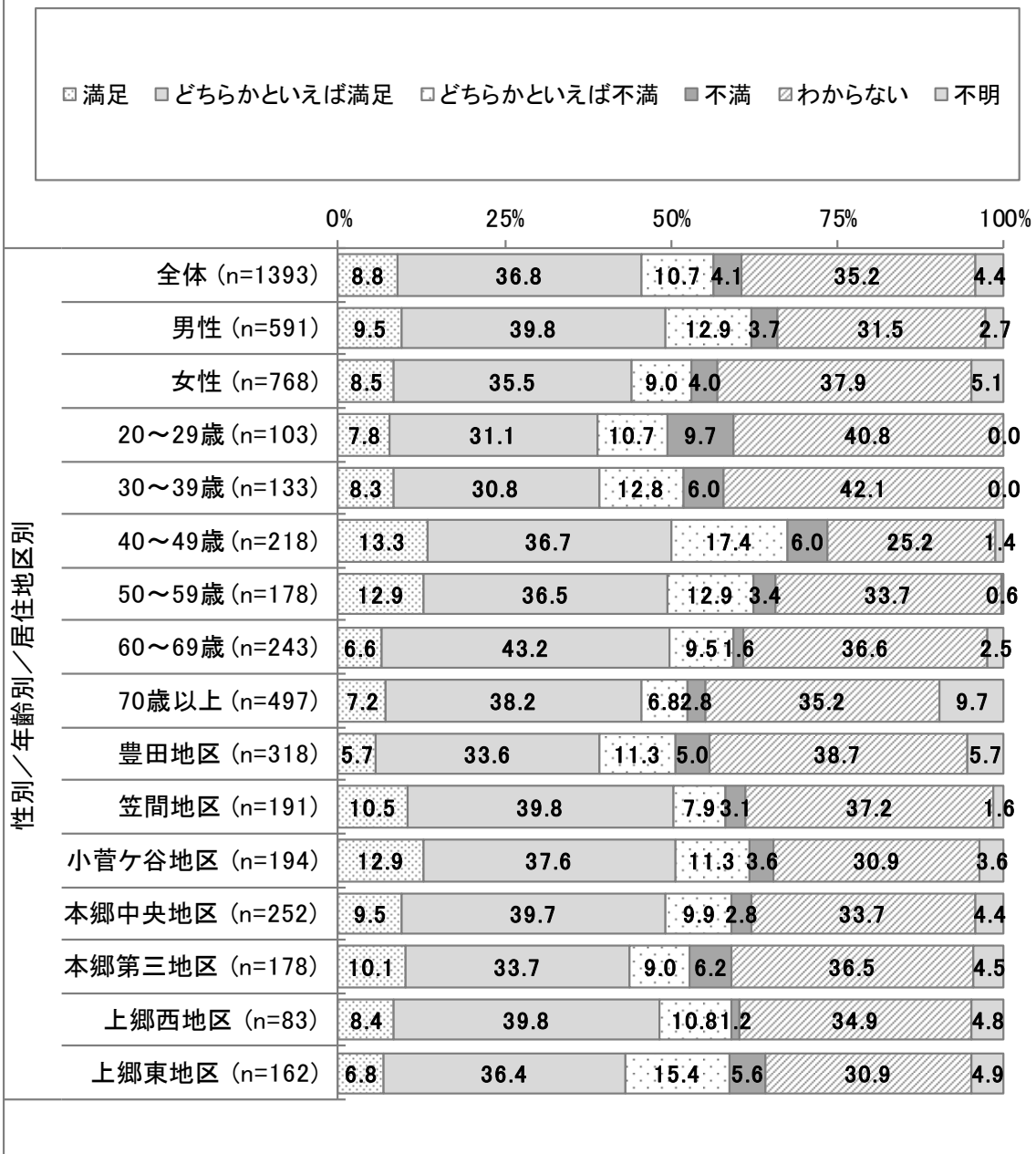


3. 生活意識について

【教育】

- 全体の『満足』は45.7%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」の「わからない」が40%を超えて多い。

問4 教育について、どの程度満足していますか。

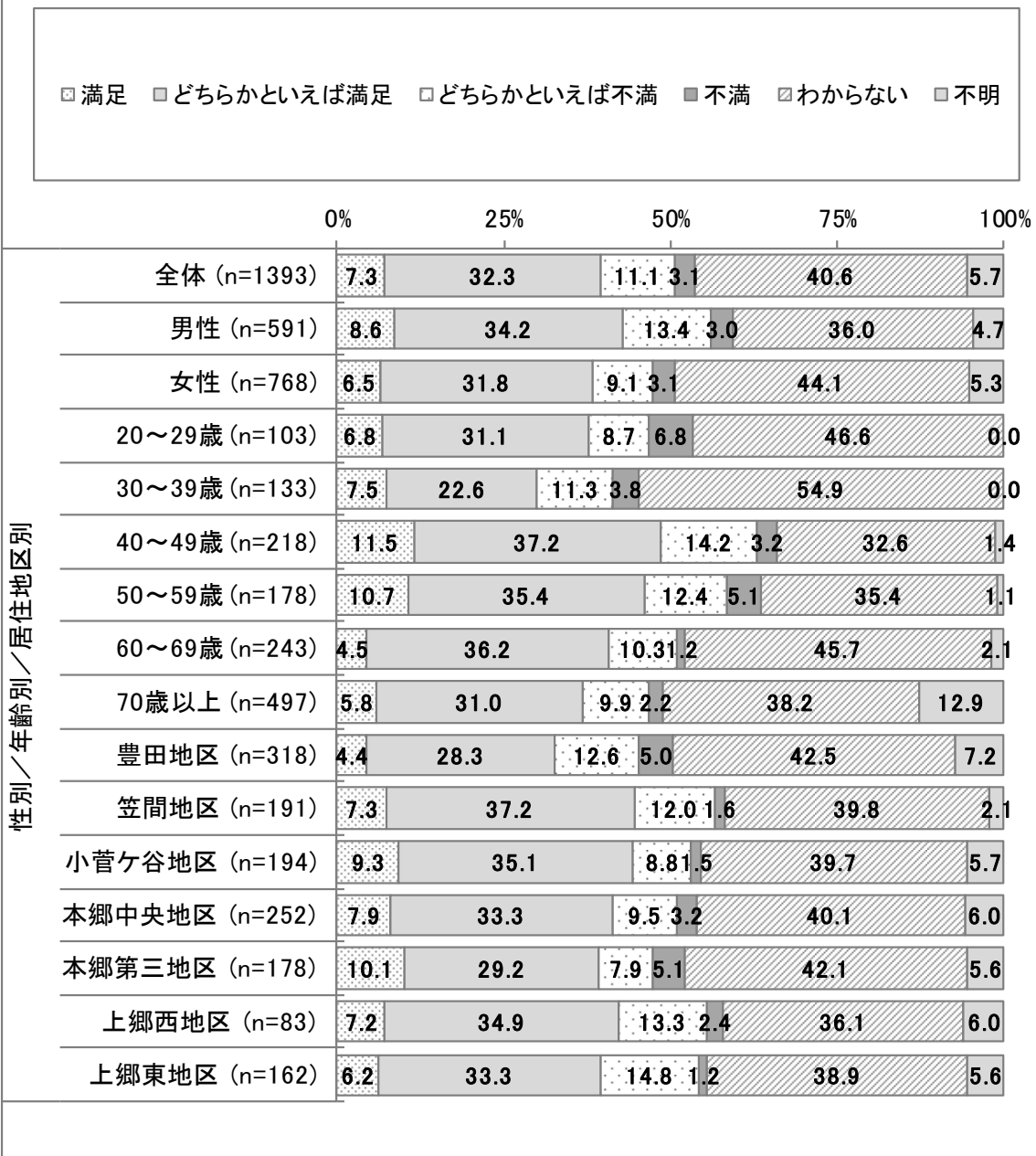


3. 生活意識について

【青少年の健全育成】

- 全体の『満足』は39.6%である。全体の40.6%が「わからない」と回答している。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「40～49歳」、「50～59歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 全体的に「わからない」の割合が多く、「30～39歳」では54.9%である。

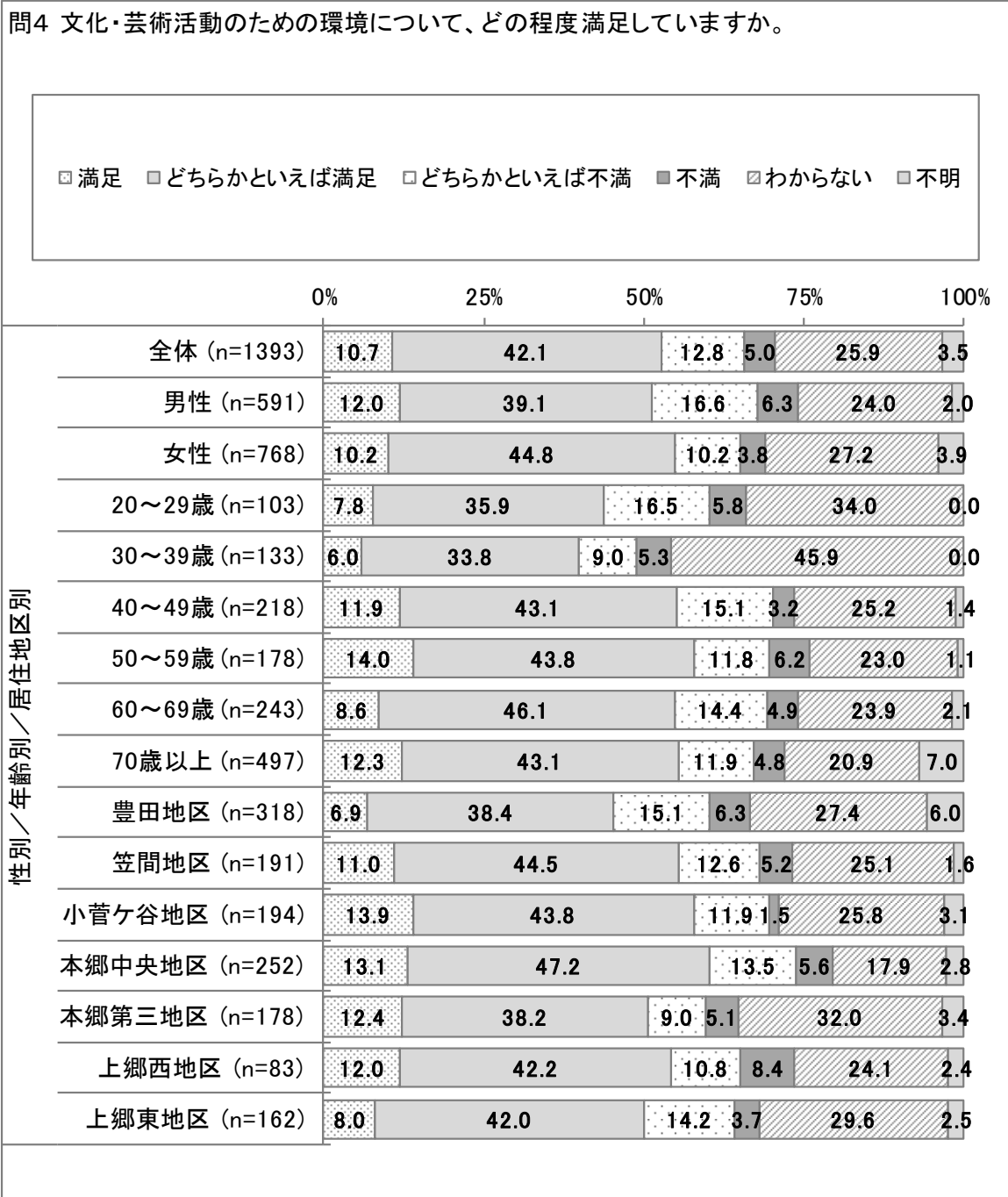
問4 青少年の健全育成について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【文化・芸術活動のための環境】

- 全体の『満足』は52.8%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「50～59歳」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「20～29歳」、「豊田地区」である。
- 「30～39歳」の「わからない」が45.9%で全体より20ポイント多い。「20～29歳」でも「わからない」が全体より8.1ポイント多い。

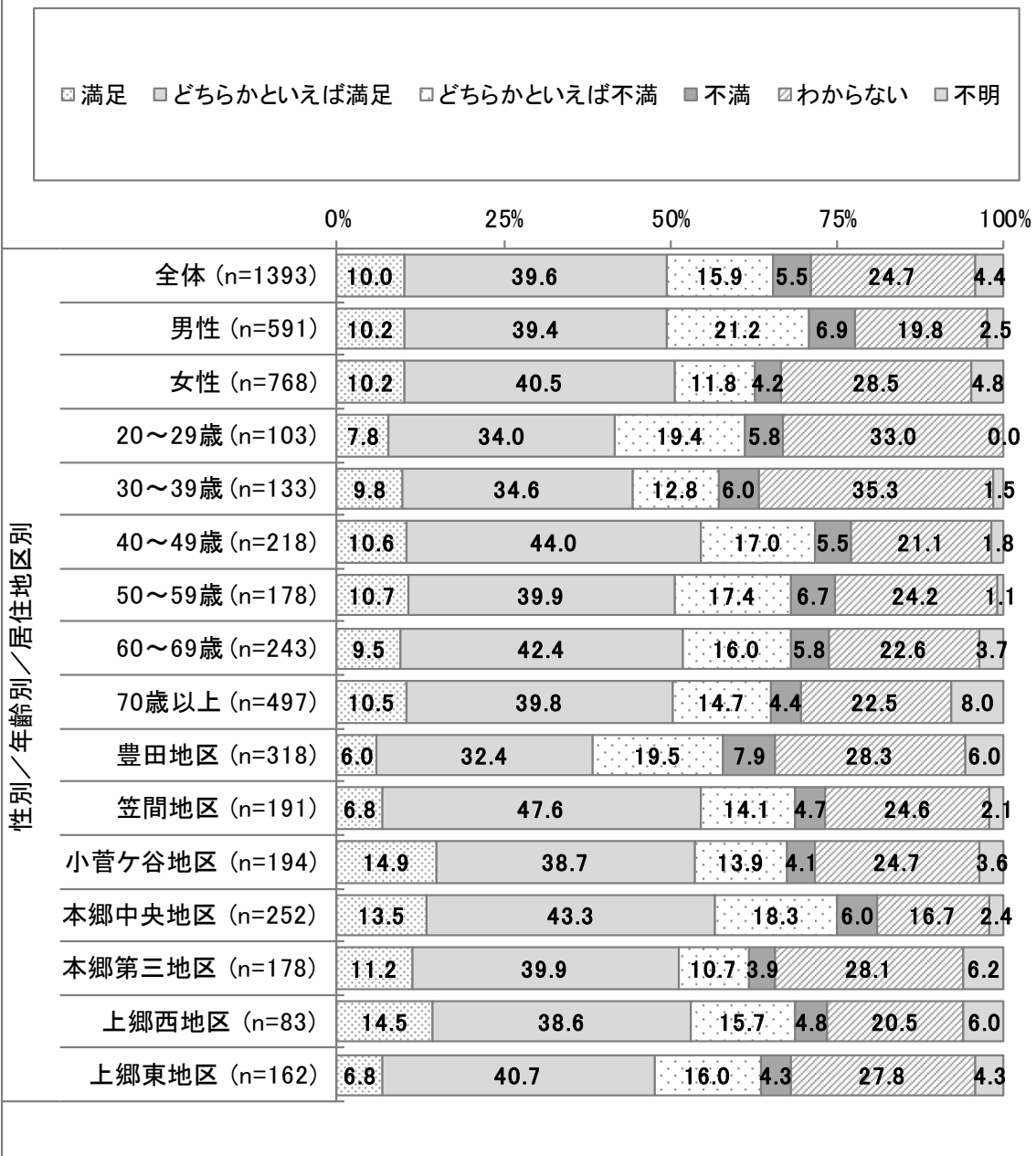


3. 生活意識について

【スポーツ活動のための環境】

- 全体の『満足』は49.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「40～49歳」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が全体より5ポイント以上多い。

問4 スポーツ活動のための環境について、どの程度満足していますか。

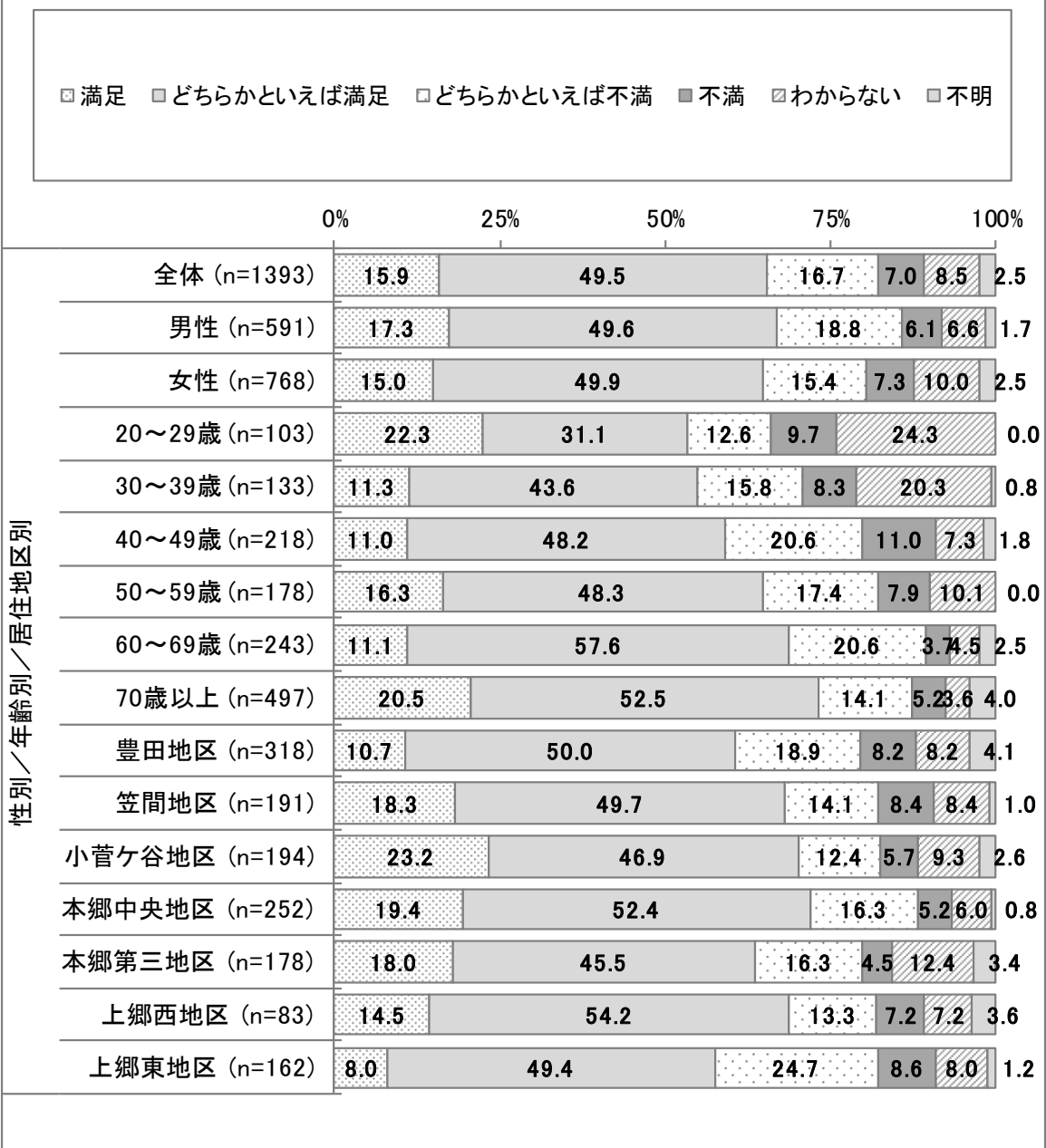


3. 生活意識について

【病院や救急医療、地域の保険・病気予防対策】

- 全体の『満足』は65.4%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「70歳以上」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「40～49歳」、「上郷東地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

問4 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【高齢者への福祉】

- 全体の『満足』は44.1%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「70歳以上」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」の5割弱、「30～39歳」、「40～49歳」の半数以上が「わからない」と回答している。

問4 高齢者への福祉について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【障害者への福祉】

- 全体の『満足』は37.0%である。全体の43.8%が「わからない」との回答している。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「本郷中央地区」である。

問4 障害者への福祉について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【区民向け講座などの生涯学習の充実】

- 全体の『満足』は40.3%である。「わからない」は39.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「笠間地区」、「本郷中央地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」の「わからない」が半数を超えて多い。

問4 区民向け講座などの生涯学習の充実について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【区民ボランティア活動に対する支援】

- 全体の『満足』は35.5%である。「わからない」は47.5%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「70歳以上」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「60～69歳」、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が6割を超えて非常に多い。

問4 区民ボランティア活動に対する支援について、どの程度満足していますか。

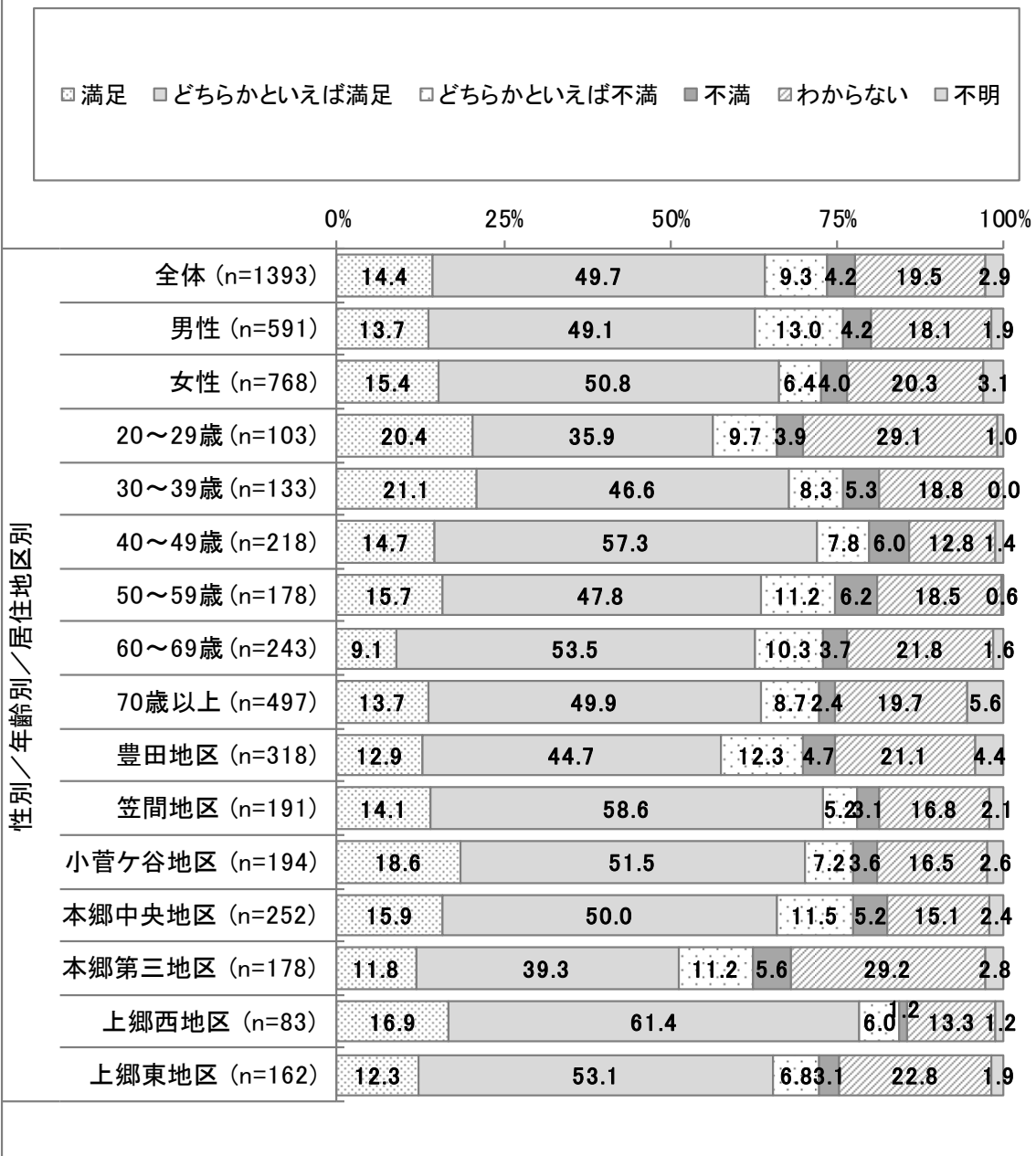


3. 生活意識について

【祭や盆踊りなどの地域交流イベント】

- 全体の『満足』は64.2%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上高いのは、「上郷西地区」である。5ポイント以上高いのは、「40～49歳」、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上低いのは、「本郷第三地区」である。5ポイント以上低いのは、「20～29歳」、「豊田地区」である。

問4 祭や盆踊りなどの地域交流イベントについて、どの程度満足していますか。

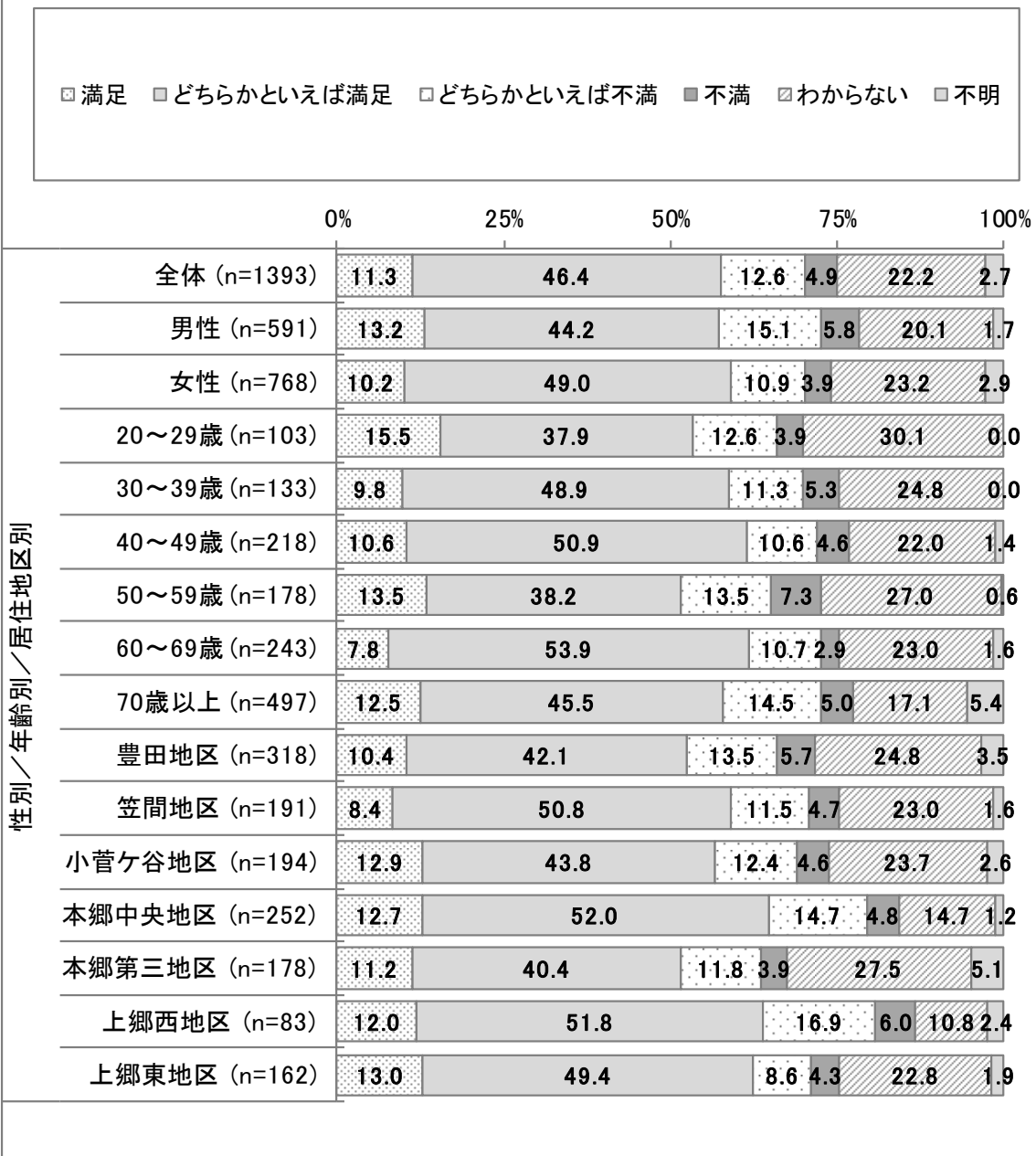


3. 生活意識について

【地区センターなどの地域施設の整備】

- 全体の『満足』は57.6%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「本郷中央地区」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「50～59歳」、「本郷第三地区」、「豊田地区」である。

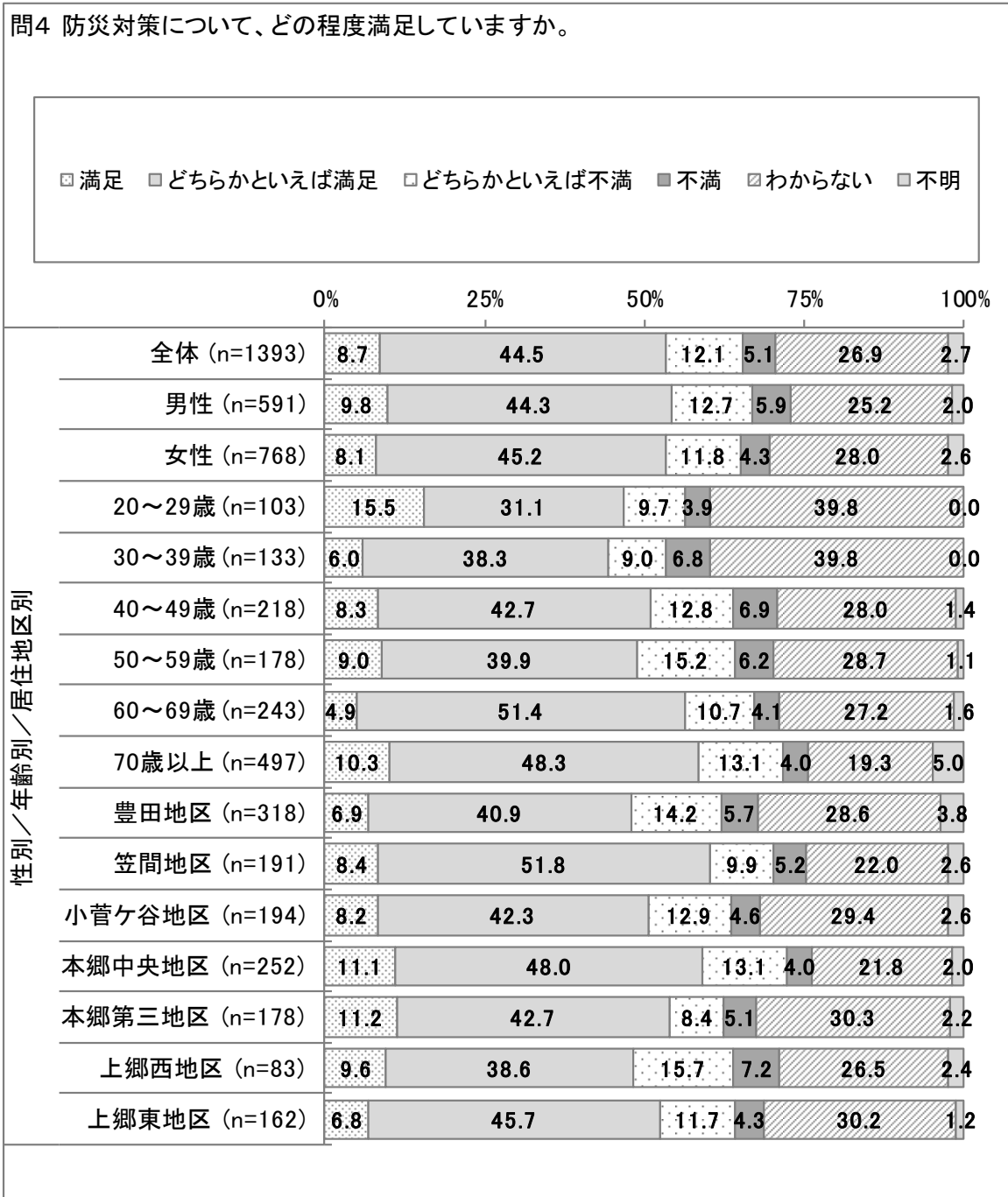
問4 地区センターなどの地域施設の整備について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【防災対策】

- 全体の『満足』は53.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「70歳以上」、「笠間地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」、「上郷西地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」の「わからない」が全体より10ポイント以上多く、4割弱である。



3. 生活意識について

【防犯対策】

- 全体の『満足』は48.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上高いのは、「70歳以上」、「笠間地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上低いのは、「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が全体より多く、4割前後である。

問4 防犯対策について、どの程度満足していますか。

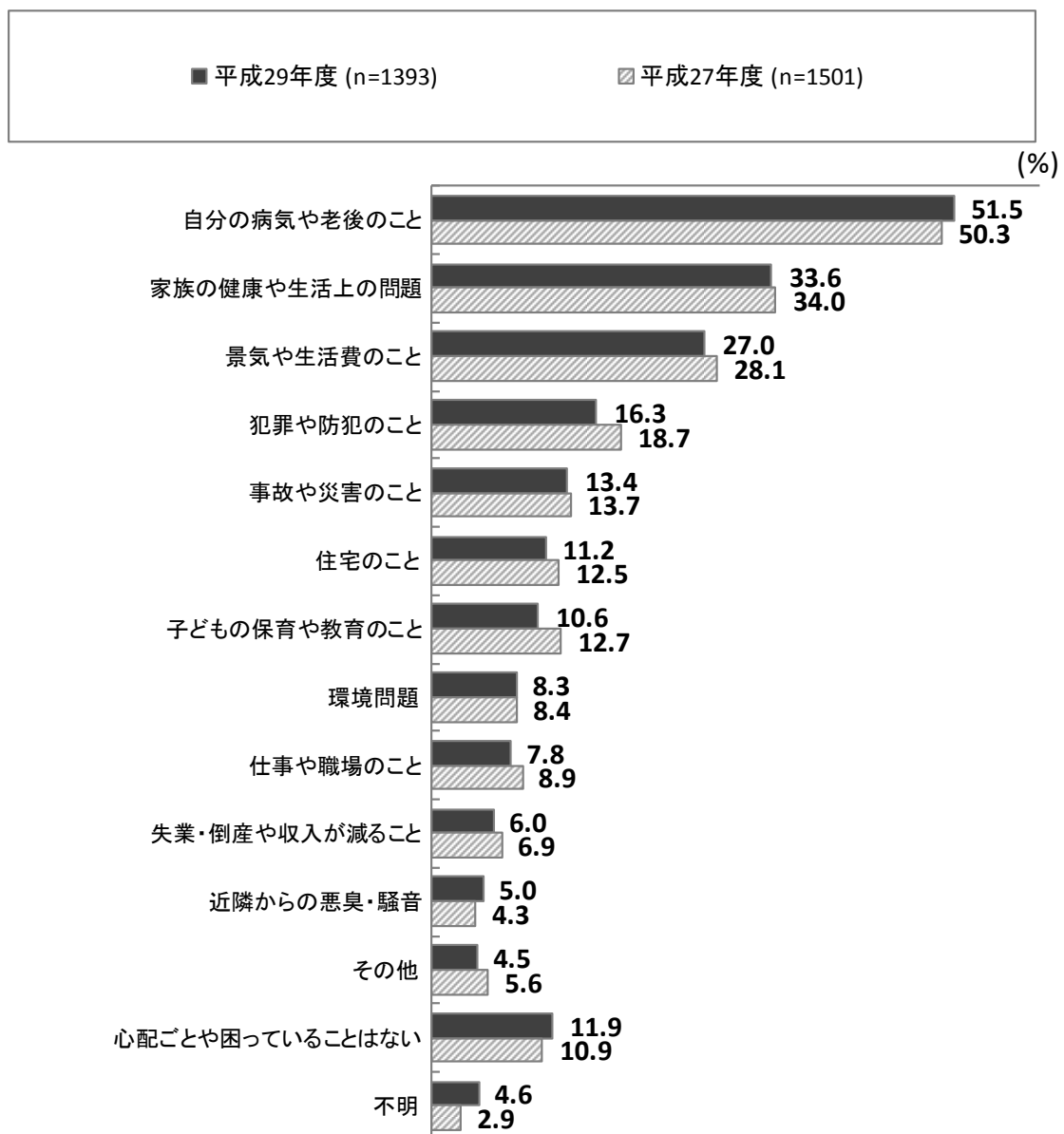


3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：全体・時系列】

- ・ 最も高いのは「自分の病気や老後のこと」で、5割を超える。「家族の健康や生活上の問題」(33.6%)、「景気や生活費のこと」(27.0%)が続く。
- ・ 平成27年度との比較では大きな変化は見られない。

問5 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

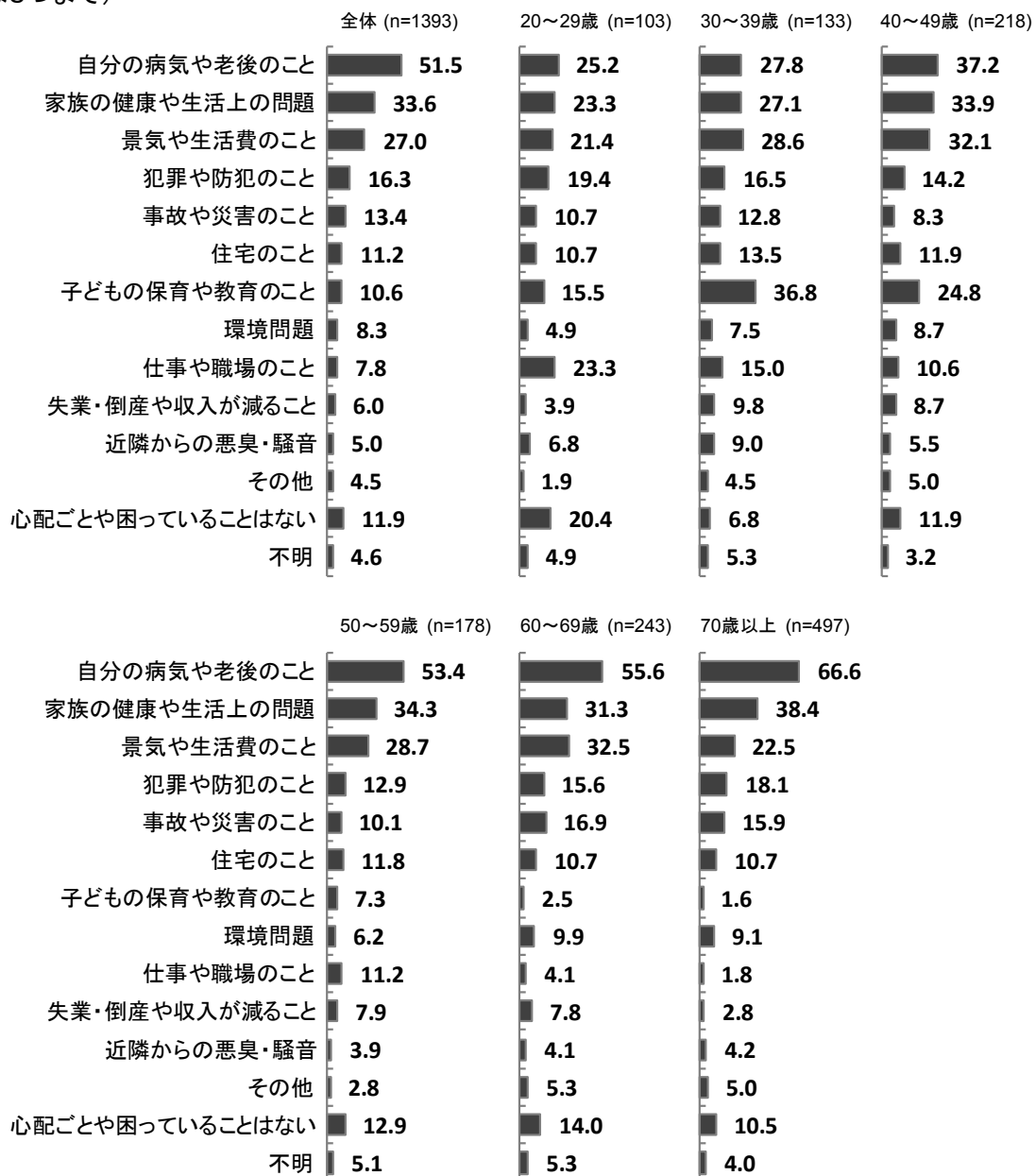


3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、全体に比べて「仕事や職場のこと」が多くあげられている。
- ・ 「30～39歳」、「40～49歳」では、「子供の保育や教育のこと」が全体に比べて多い。
- ・ 「70歳以上」では、「自分の病気や老後のこと」が全体に比べて多い。

問5 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○ (%))
は3つまで)

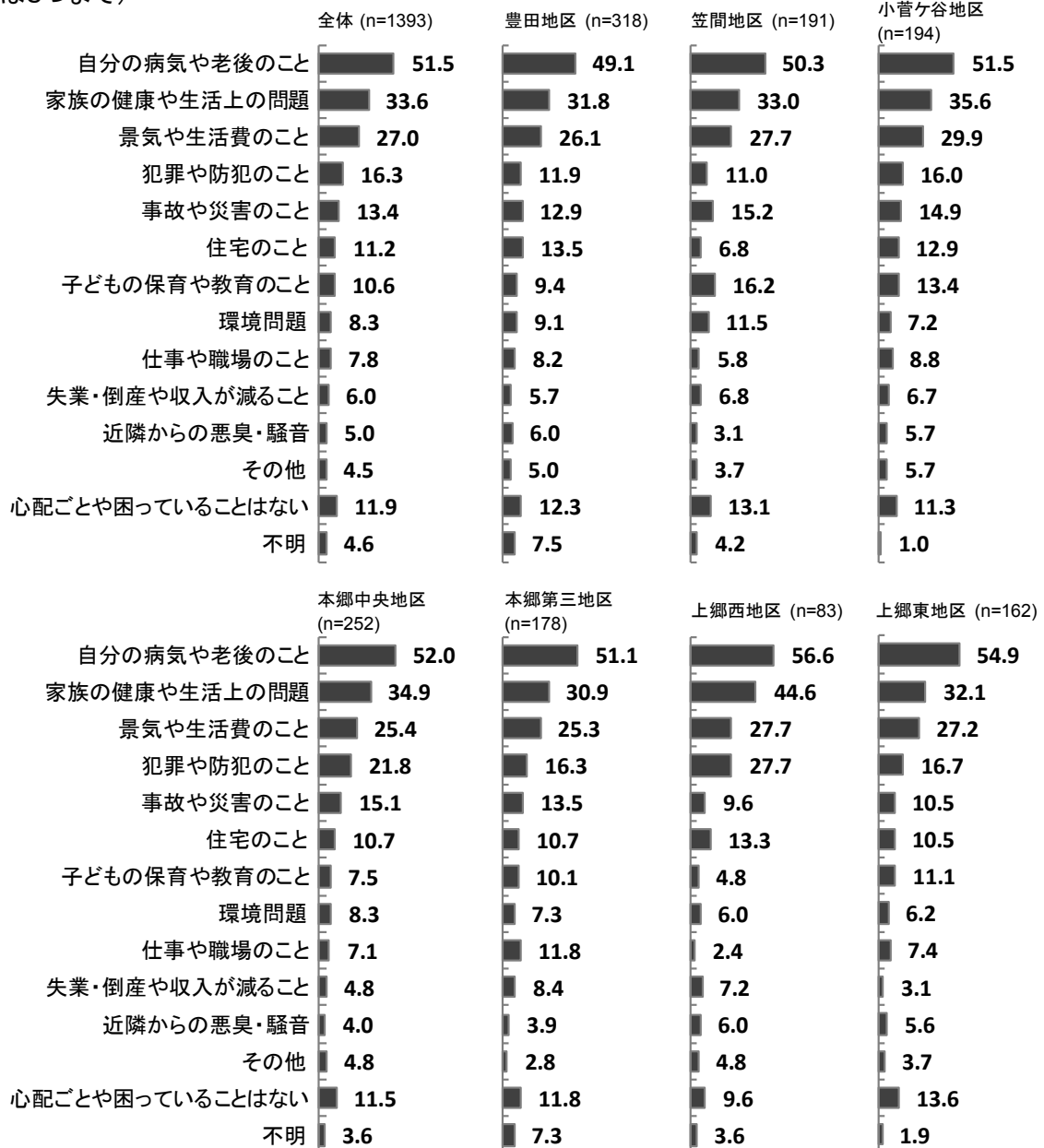


3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」では、「家族の健康や生活上の問題」、「犯罪や防犯のこと」が全体に比べて10ポイント以上多い。
- ・ 「笠間地区」では「子供の保育や教育のこと」、「本郷中央地区」では「犯罪や防犯のこと」が全体よりも5ポイント以上多い。

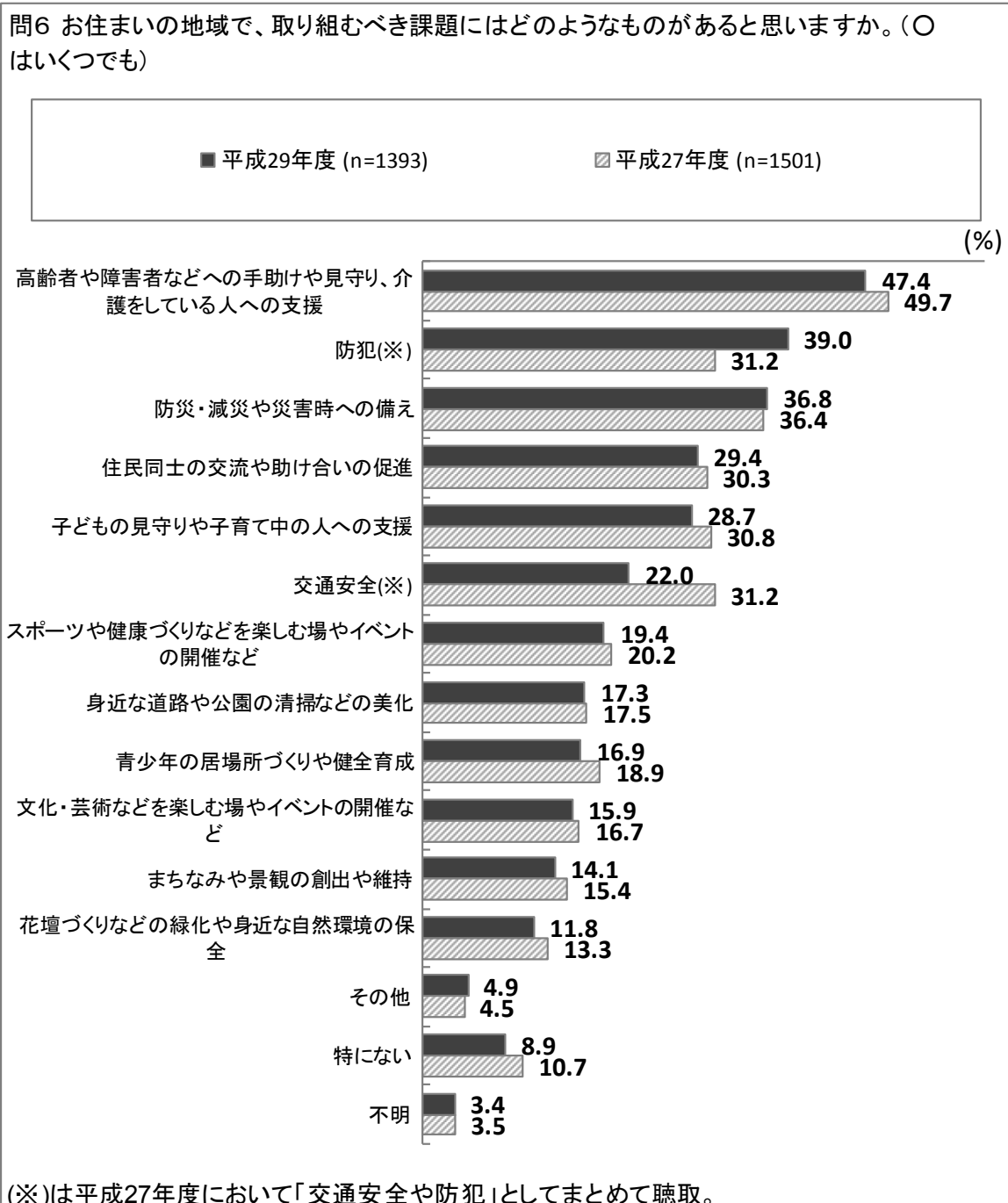
問5 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○ (%))
は3つまで)



3. 生活意識について

【取り組むべき課題：全体・時系列】

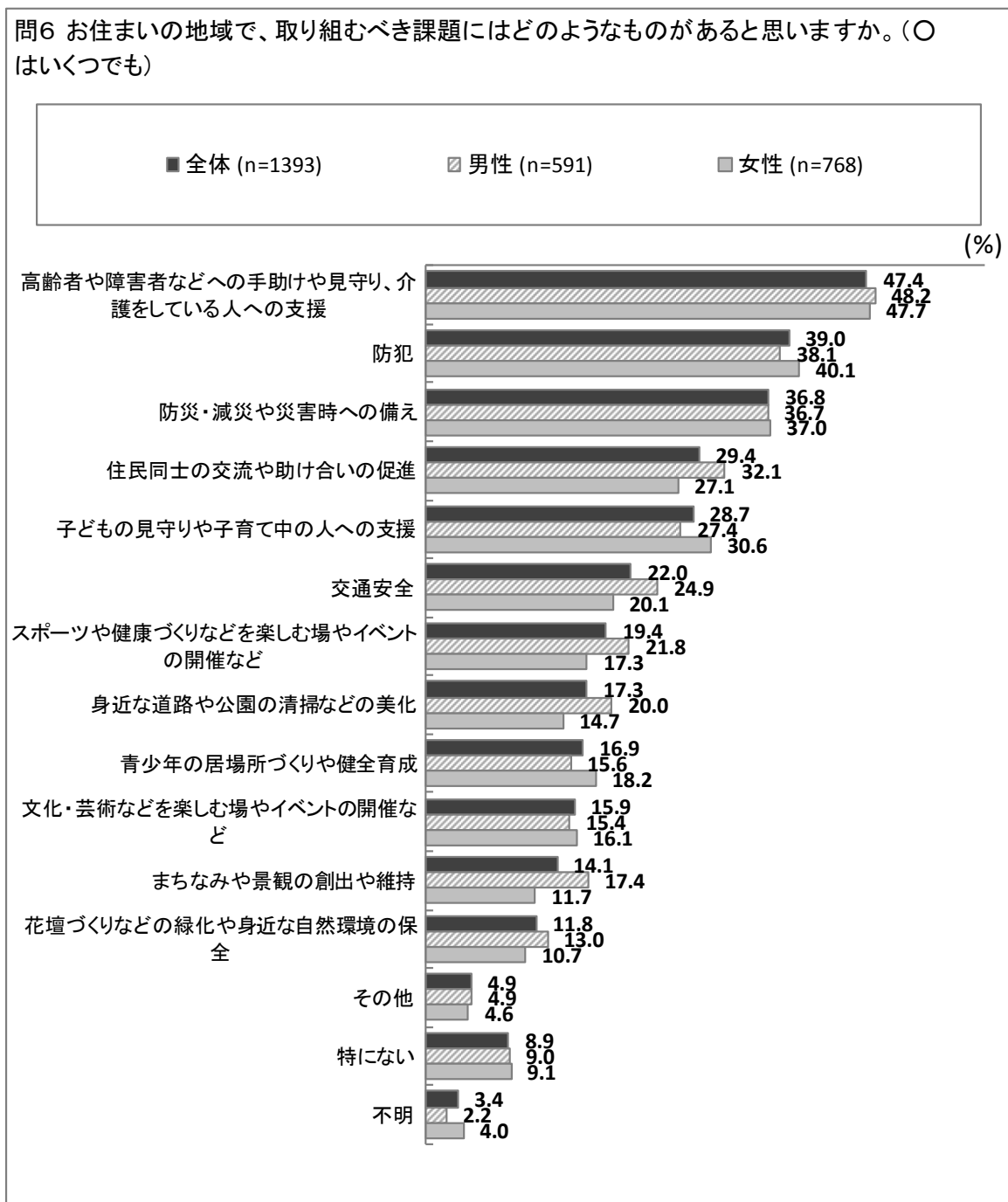
- ・ 「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が47.4%で最も多くあげられている。「防犯」、「防災・減災や災害時への備え」が続き、3割を超えている。
- ・ 平成27年度との比較では、大きな変化は見られない。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題：性別】

- 「男性」は「女性」よりも「まちなみや景観の創出や維持」、「身近な道路や公園の清掃などの美化」、「住民同士の交流や助け合いの促進」を課題としてあげる割合が5ポイント以上高い。

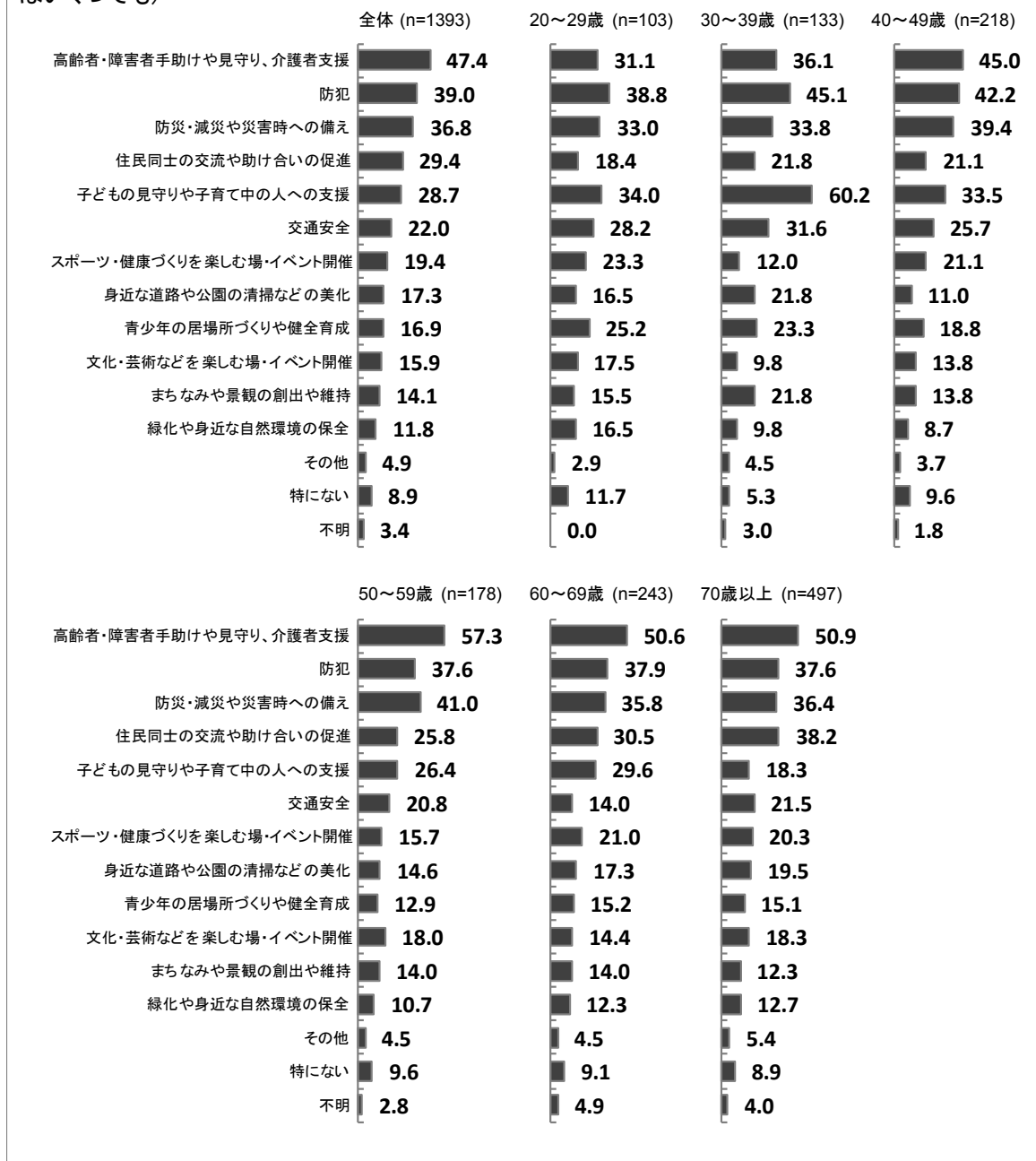


3. 生活意識について

【取り組むべき課題：年齢別】

- ・ 「30～39歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」を課題としてあげる割合が全体より30ポイント以上高い。「交通安全」、「まちなみや景観の創出や維持」、「青少年の居場所づくりや健全育成」、「防犯」についても全体より5ポイント以上高い。
- ・ 「20～29歳」でも、「青少年の居場所づくりや健全育成」、「交通安全」、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」が全体より5ポイント以上高い。
- ・ 「50～59歳」では「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」、「70歳以上」では「住民同士の交流や助け合いの促進」が全体より5ポイント以上高い。

問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(○ (%))
はいくつでも)

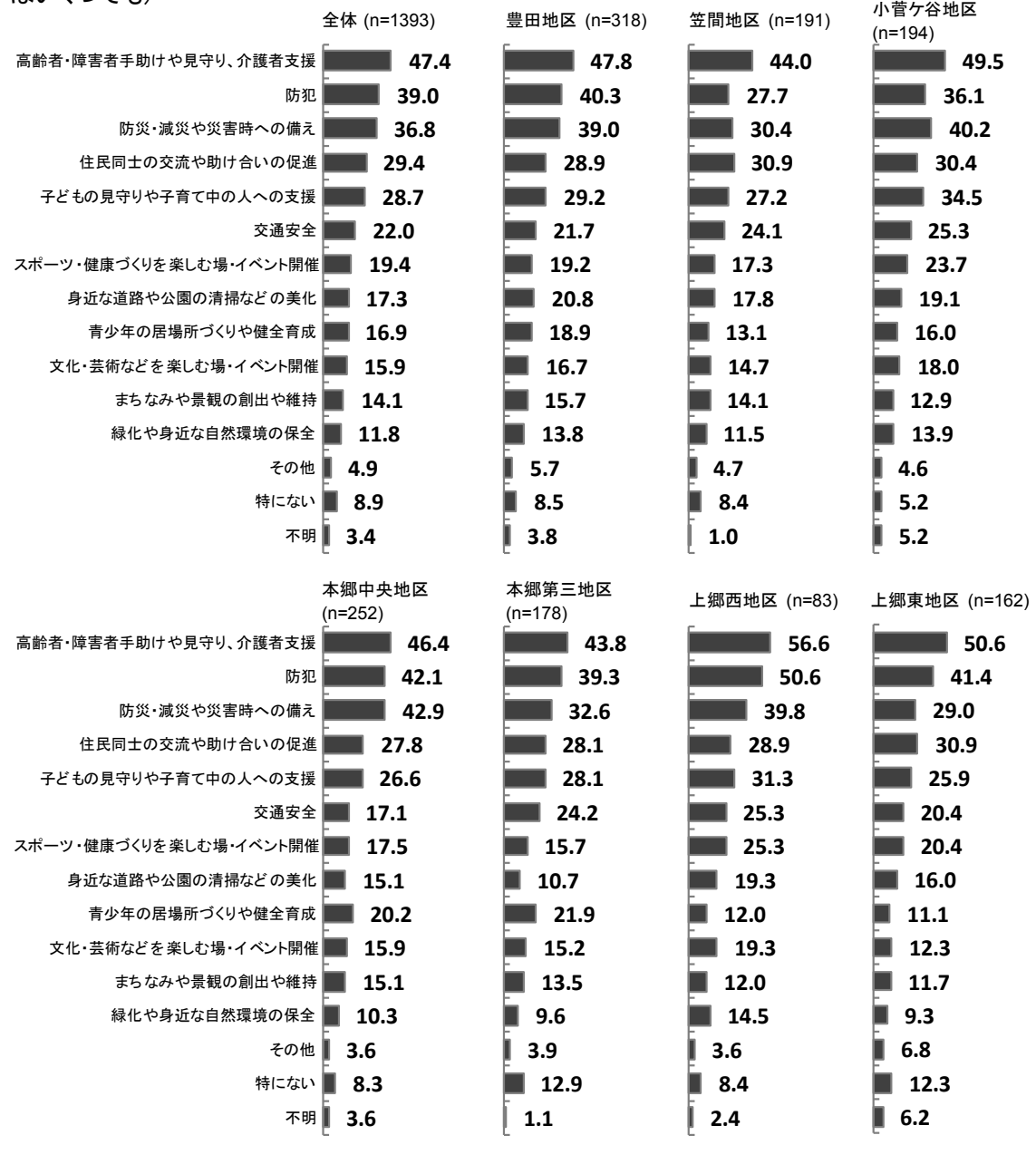


3. 生活意識について

【取り組むべき課題：居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」で「防犯」があげられる割合が全体より10ポイント以上高い。また「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」、「スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など」についても5ポイント以上高い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」で「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「本郷中央地区」で「防災・減災や災害時への備え」、「本郷第三地区」で「青少年の居場所づくりや健全育成」があげられる割合が全体より5ポイント以上高い。

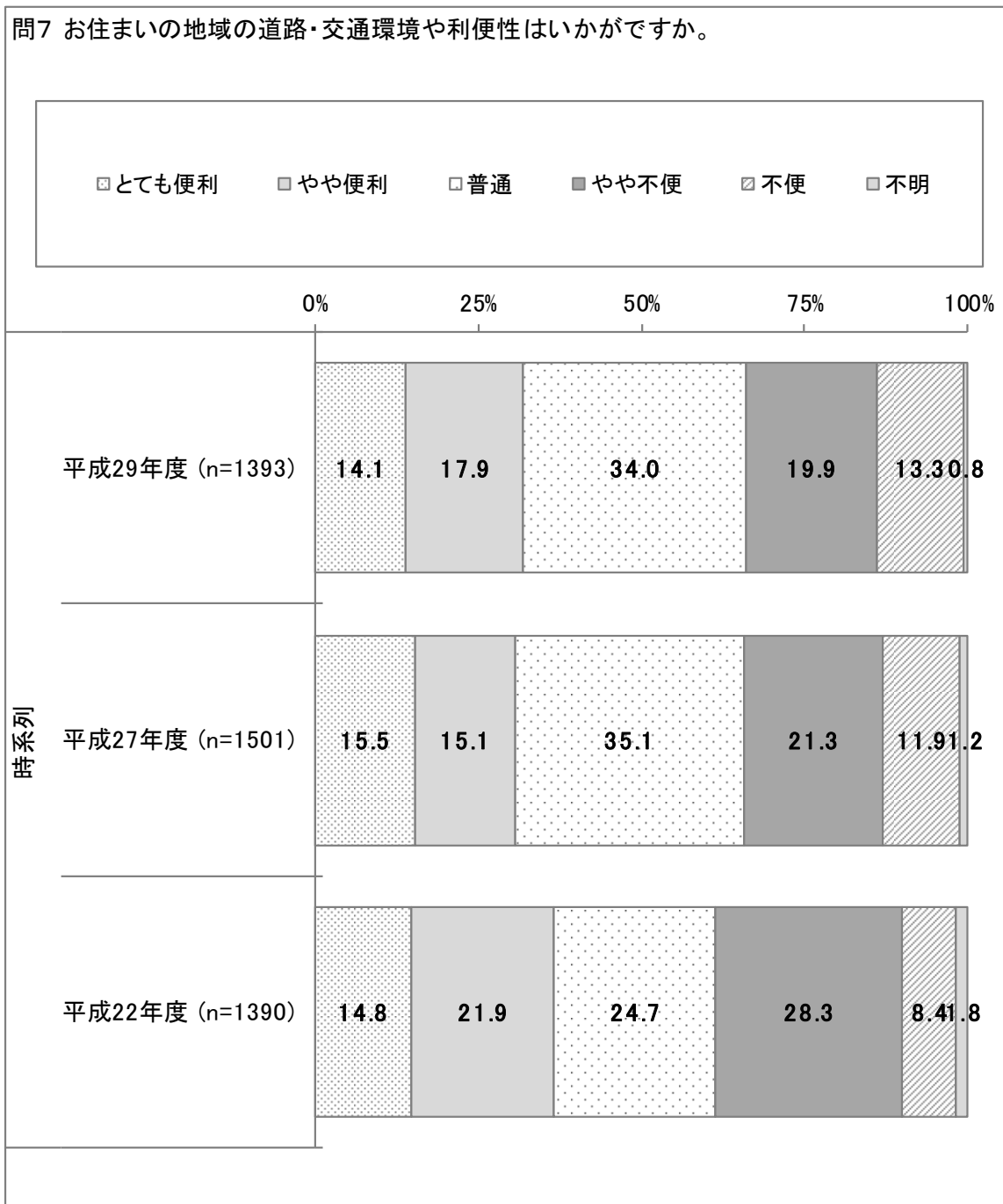
問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(○ (%))
(はいくつでも)



4. 道路・交通について

【全体・時系列】

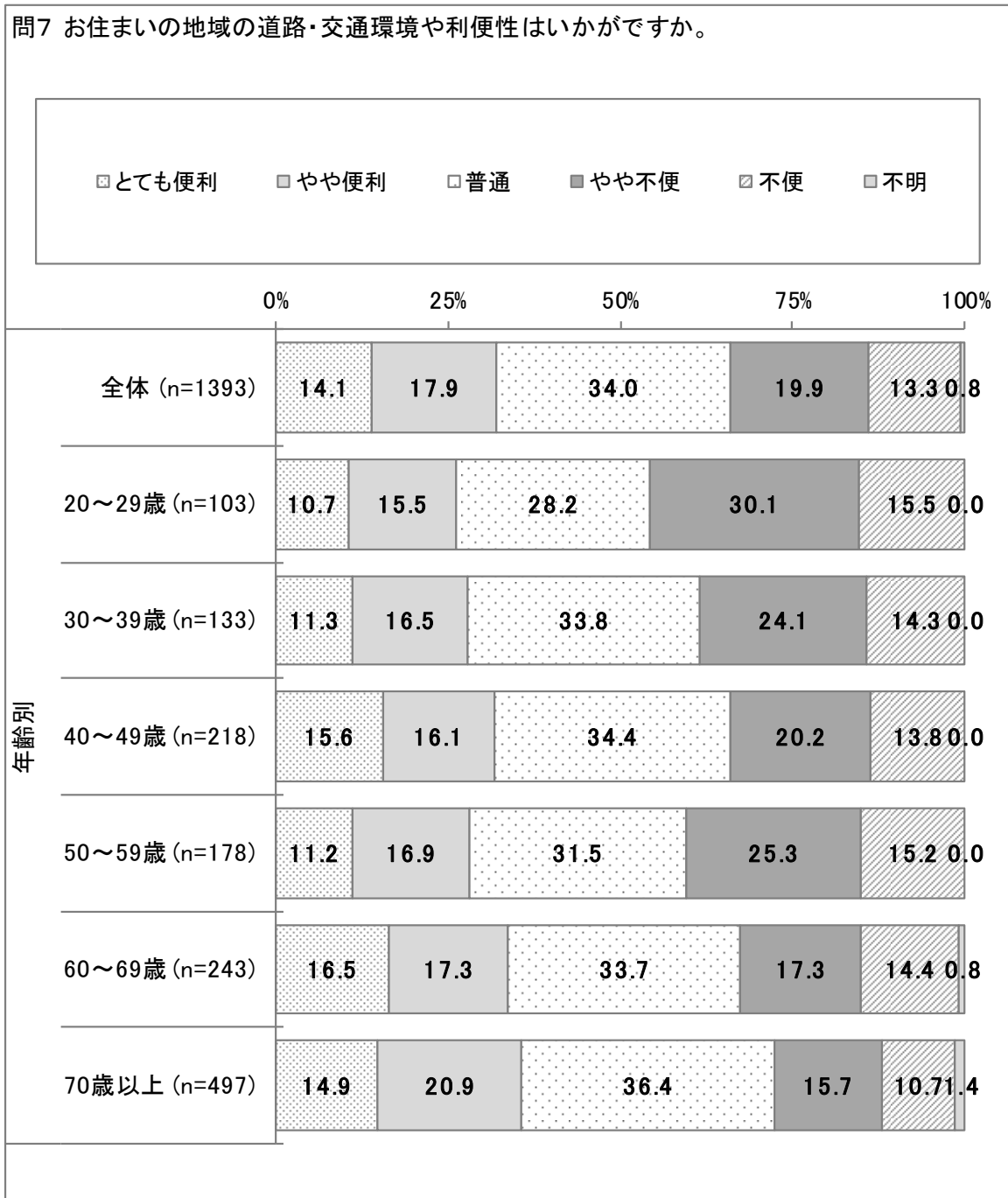
- 全体の32.0%が「とても便利」、「やや便利」(以下『便利』)と回答している。「やや不便」、「不便」の合計(以下『不便』)は33.2%で、『便利』と『不便』がほぼ同じ割合で存在している。
- 平成27年度からの大きな変化は見られない。



4. 道路・交通について

【年齢別】

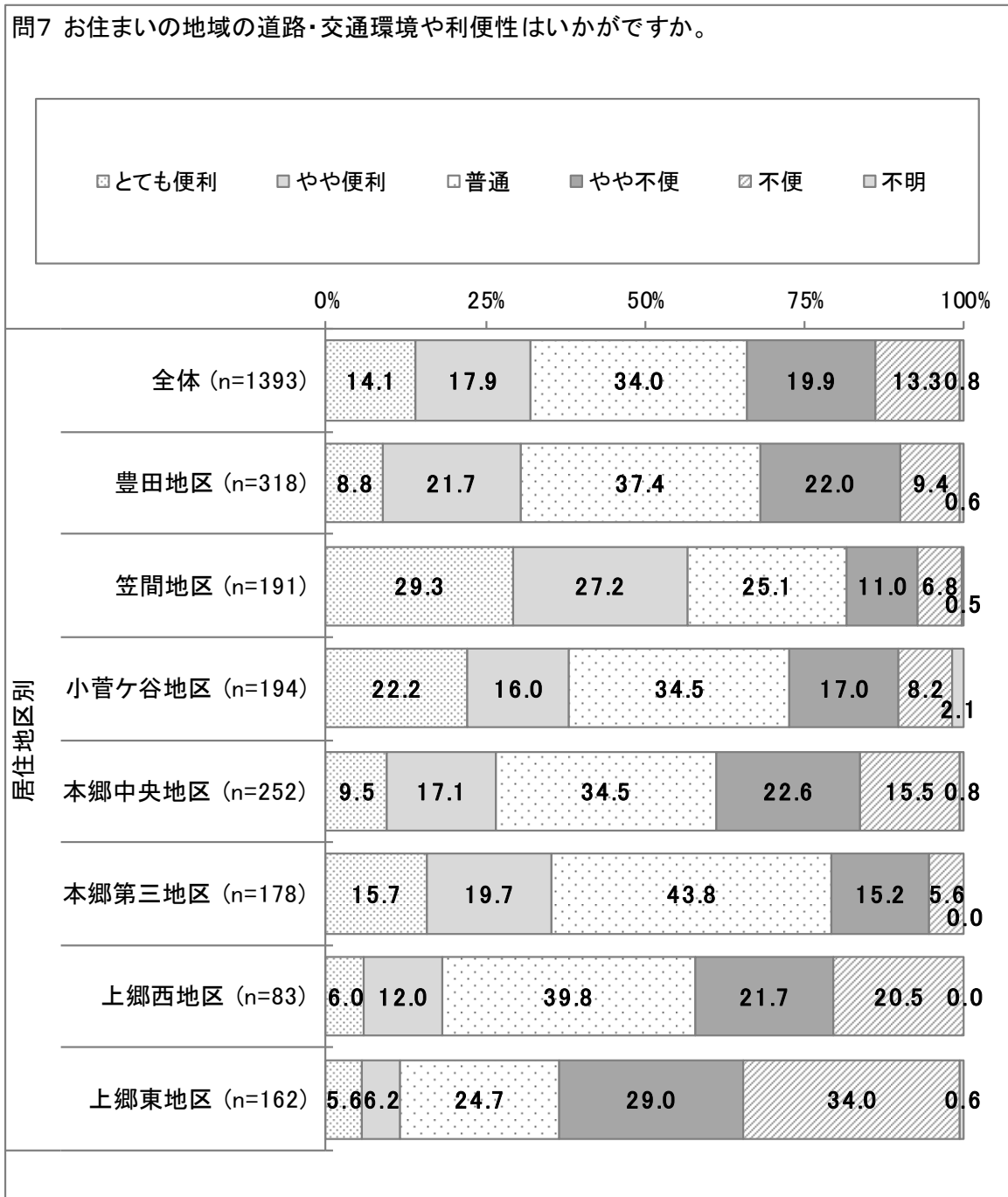
- ・ 「20～29歳」の『不便』の割合が全体を10ポイント以上上回り、45.6%に達する。
- ・ 「50～59歳」、「30～39歳」の『不便』の割合が全体を5ポイント以上多い。



4. 道路・交通について

【居住地区別】

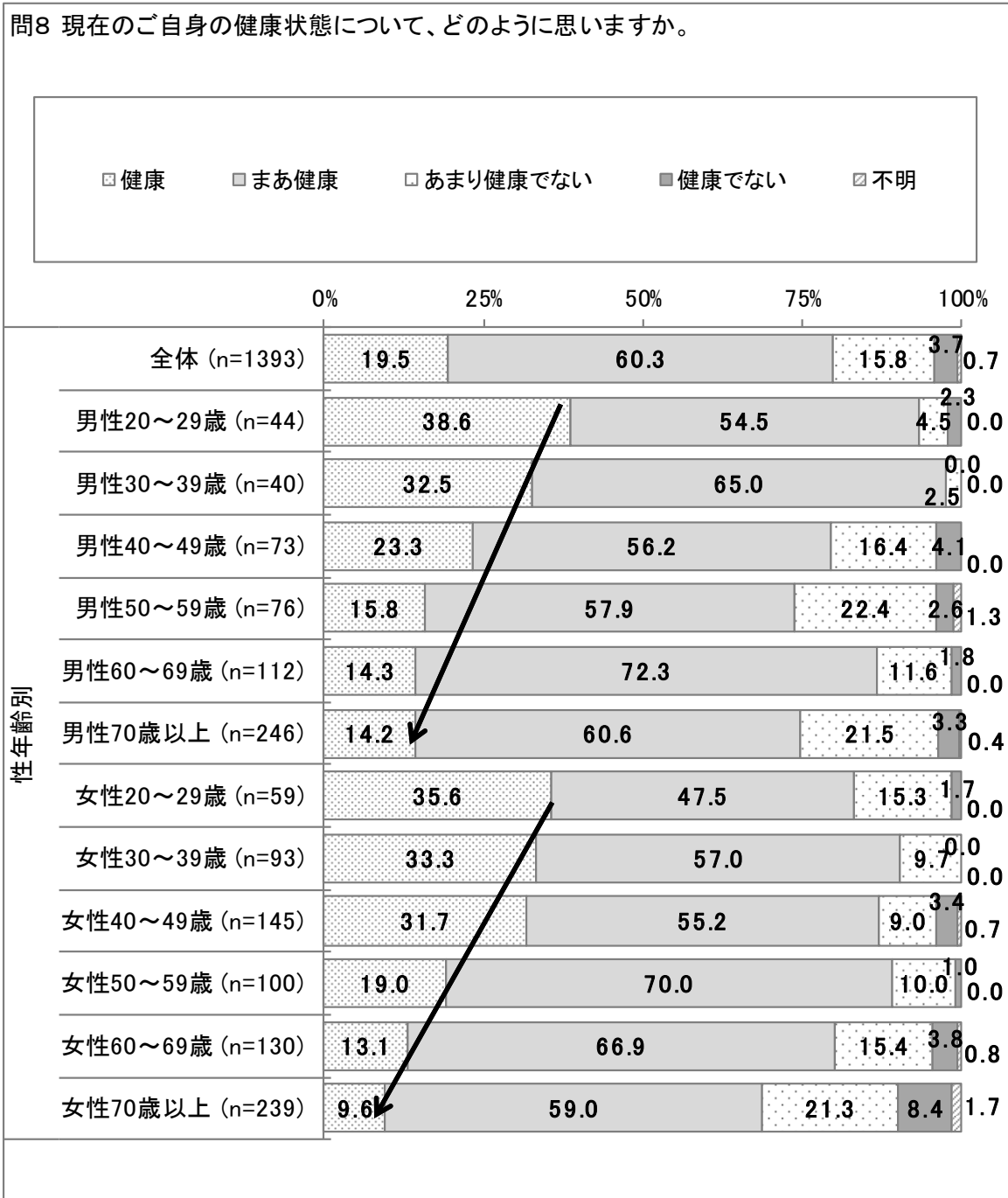
- ・ 「笠間地区」の『便利』の割合は56.5%で全体を24.5ポイント上回る。「小菅ヶ谷地区」は全体を5ポイント以上上回る。
- ・ 「上郷東地区」の『不便』は全体を約30ポイント上回り、63.0%と非常に多い。「上郷西地区」も全体を9.0ポイント上回る。



5. 健康・福祉について

【健康状態：全体・性・年齢別】

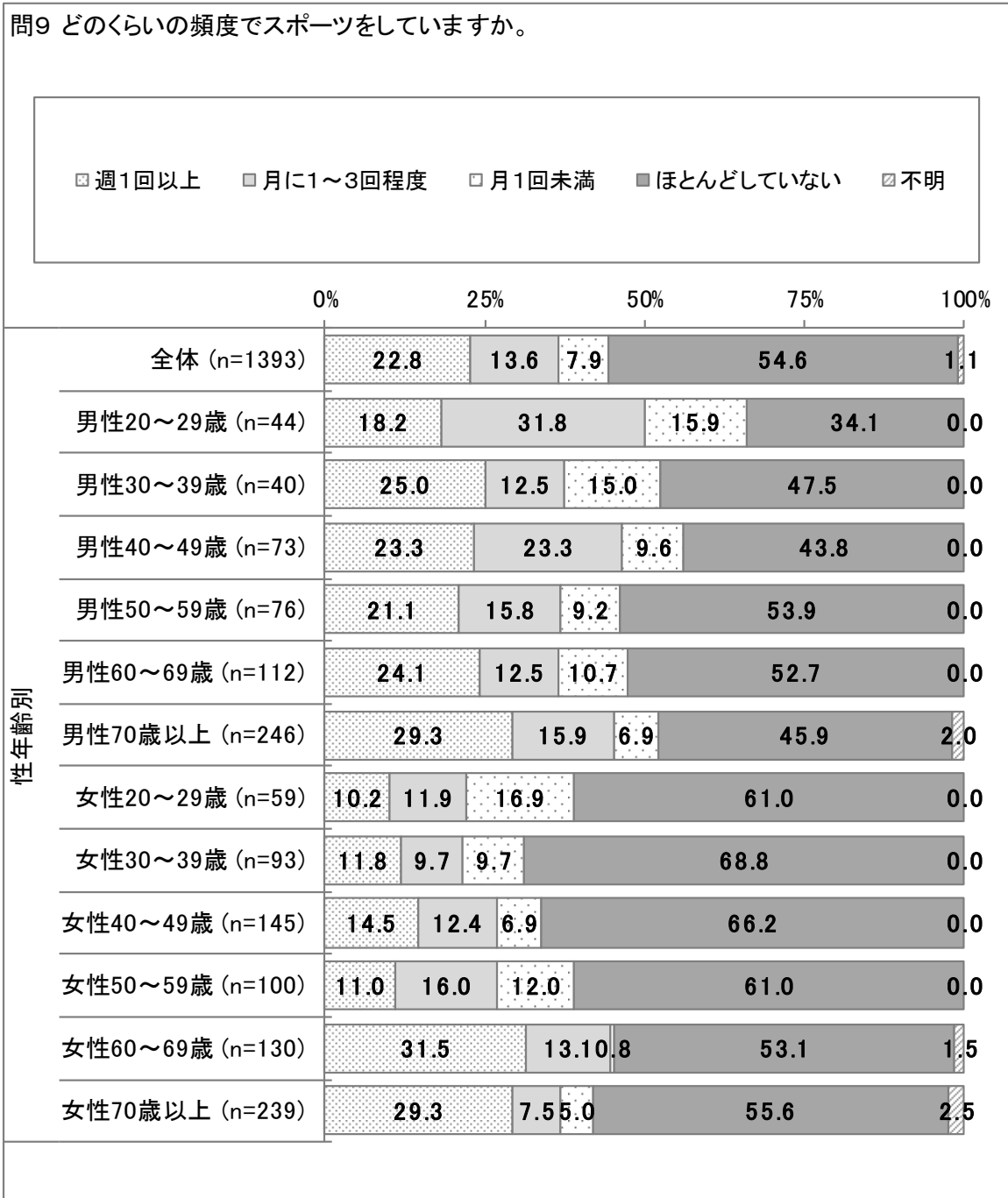
- ・ 「健康」、「まあ健康」の合計(以下『健康』)の割合は8割弱に達し、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計(以下『健康でない』)を大きく上回る。
- ・ 性別に関わらず、年齢が上がるほど「健康」の割合は低下傾向となっている。
- ・ 『健康』の割合は、男性は20代から30代と「60～69歳」で、全体より5ポイント以上多い。
- ・ 女性は30代から50代で9割前後と、全体より5ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【スポーツ頻度：全体・性・年齢別】

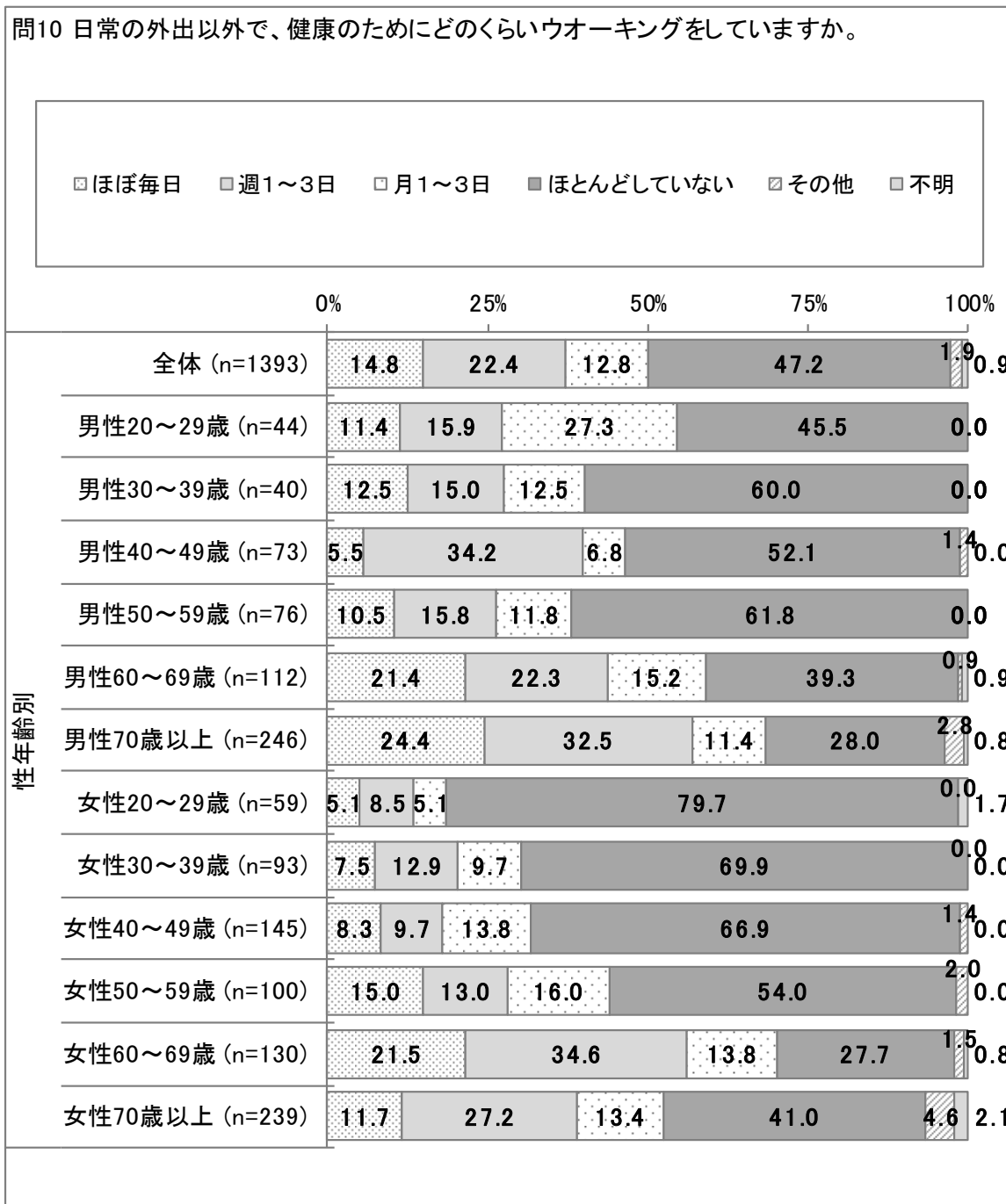
- 全体では「週1回以上」の割合は22.8%である。「ほとんどしていない」は54.6%である。
- 女性20代から40代は同年代の男性よりも「ほとんどしていない」が20ポイント以上多い。
- 「男性70歳以上」、「女性60～69歳」、「女性70歳以上」の「週1回以上」は全体より5ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【ウォーキング頻度：全体・性・年齢別】

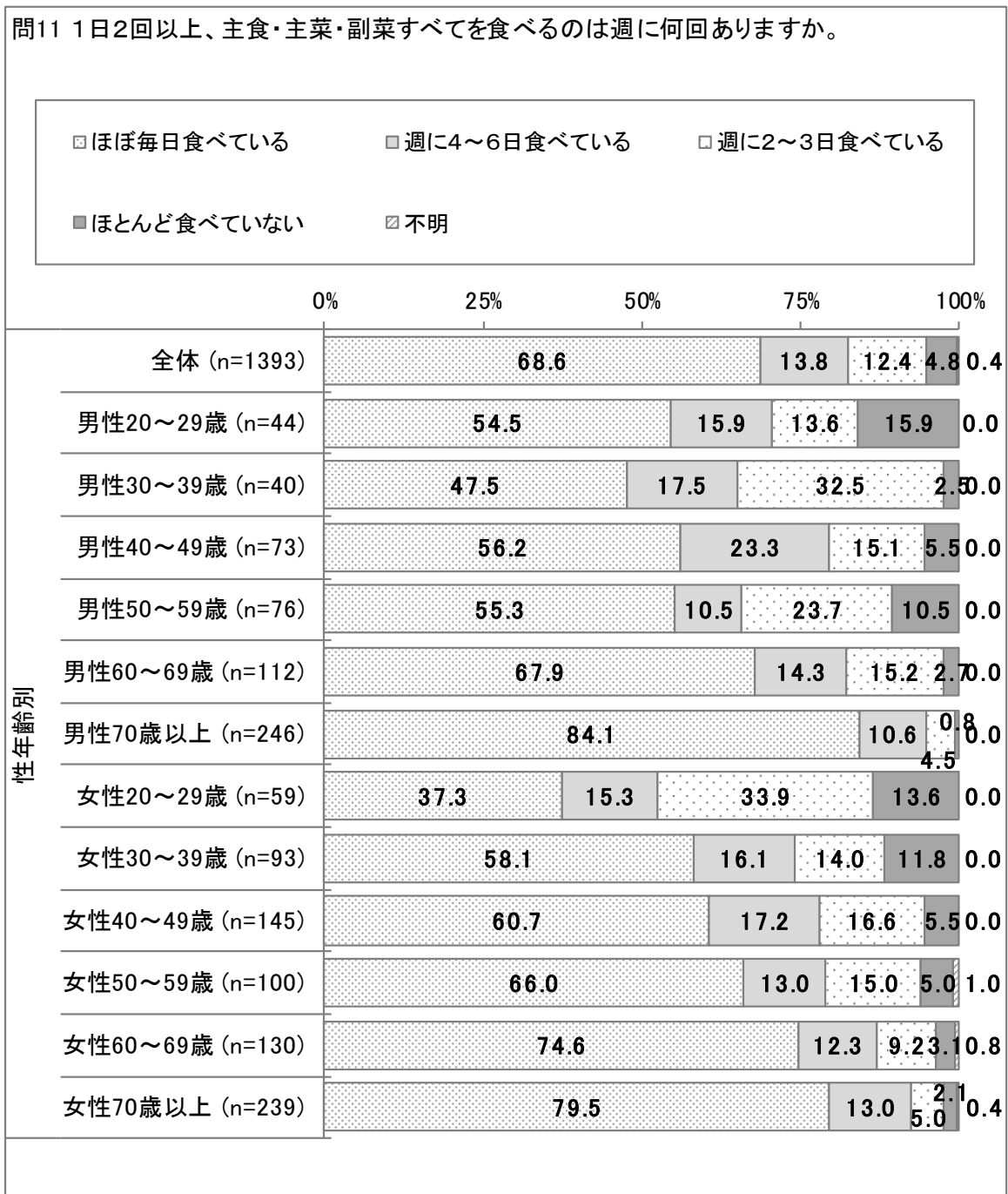
- 全体では、「ほぼ毎日」の割合は14.8%、「週1～3日」を合わせると37.2%である。「ほとんどしていない」は47.2%である。
- 週1日以上の割合は、50代から60代を除き、男性が女性を大きく上回る。
- 男性30代から50代、女性20代から50代の「ほとんどしていない」の割合は、全体を大きく上回る。
- 男女ともに、「60～69歳」、「70歳以上」では、「ほとんどしていない」の割合は、全体を5ポイント以上下回る。



5. 健康・福祉について

【1日2回以上の食事：全体・性・年齢別】

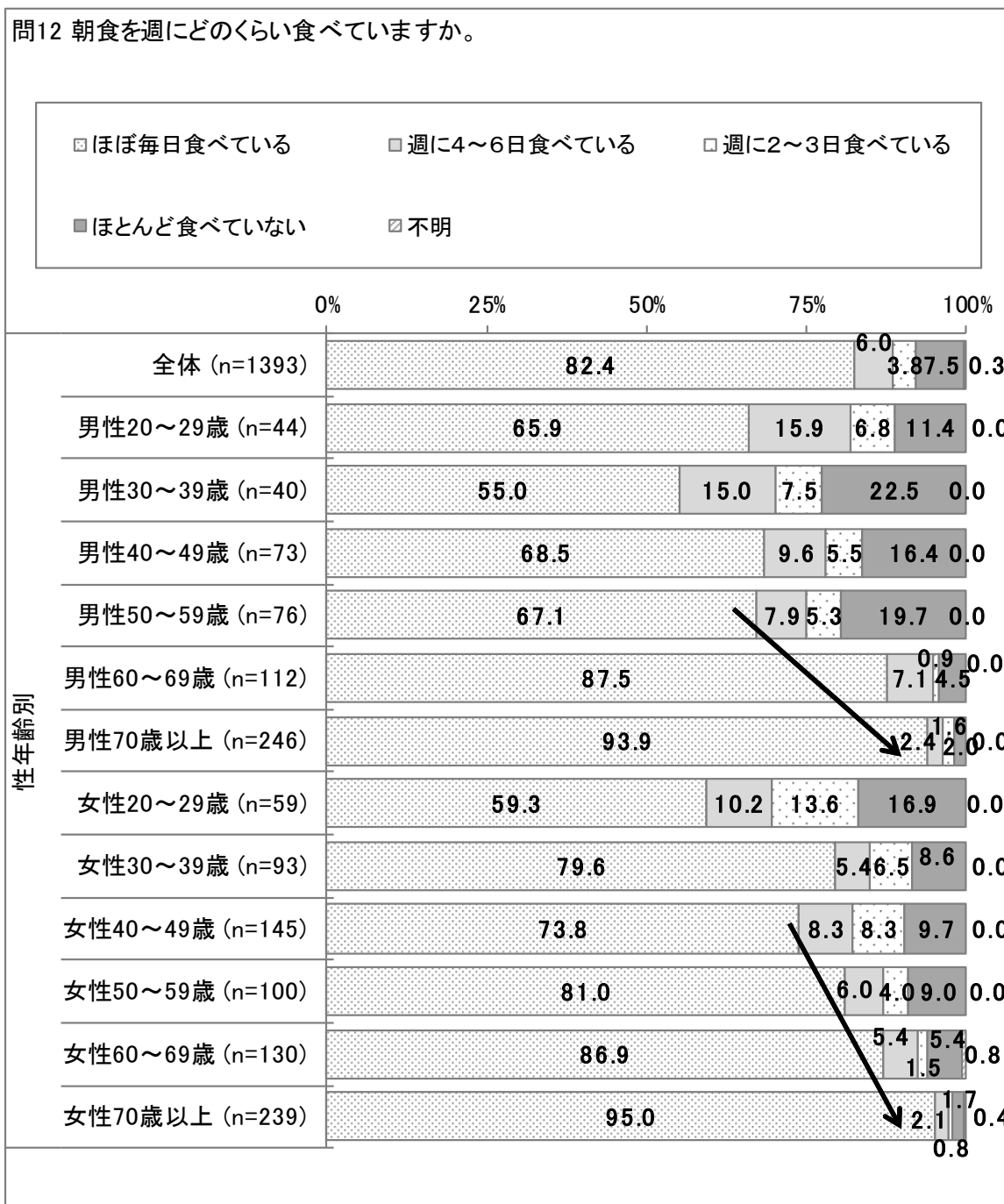
- 全体では「ほぼ毎日食べている」が68.6%で、「ほとんど食べていない」は4.8%である。
- 男女ともに、若年層ほど「ほぼ毎日食べている」の割合が低い傾向が窺われる。特に、「女性20～29歳」は全体より30ポイント以上少ない。



5. 健康・福祉について

【朝食： 全体・性・年齢別】

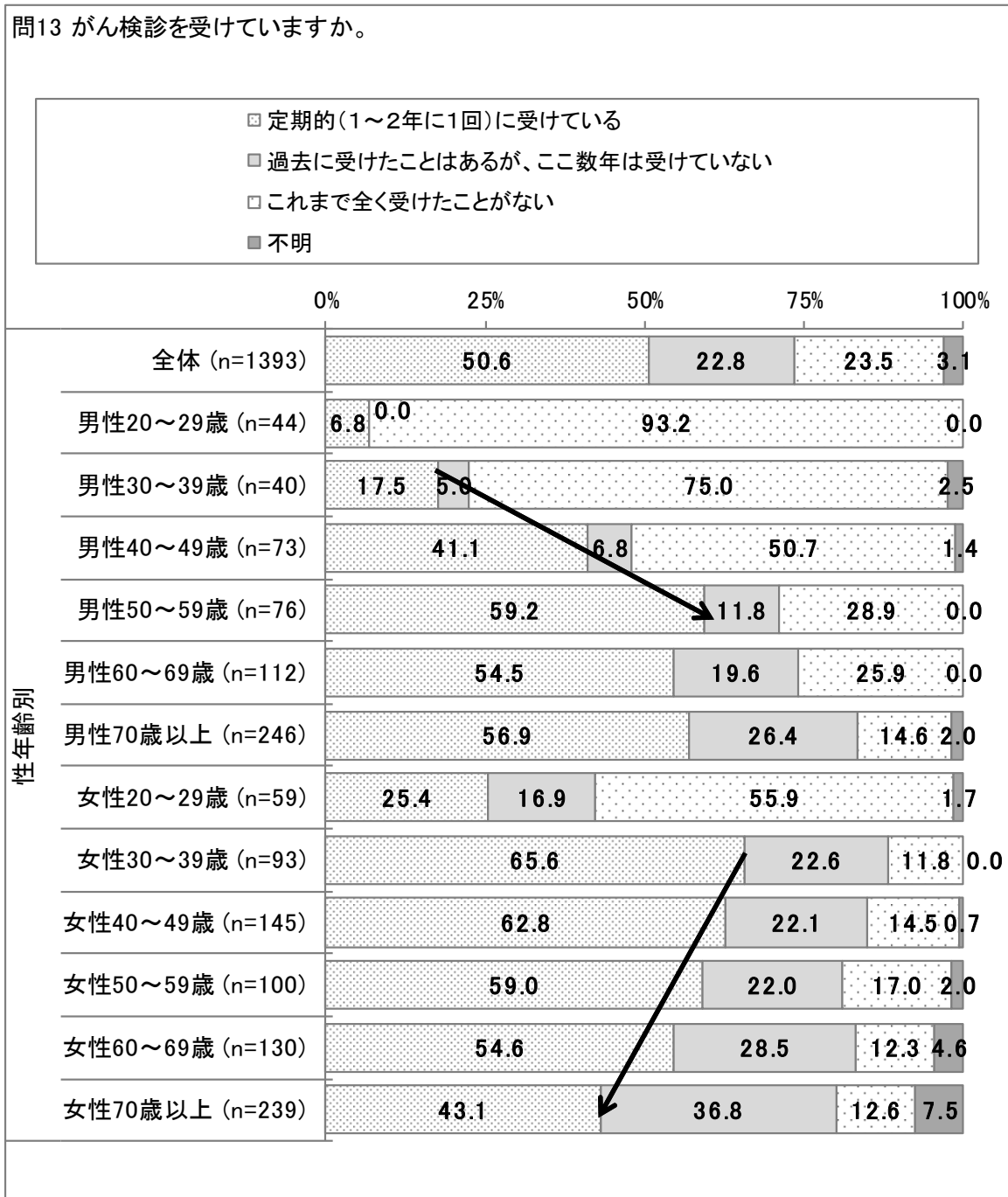
- 全体では「ほぼ毎日食べている」が82.4%で、「ほとんど食べていない」は7.5%である。
- 男性50歳以上と女性40歳以上では、年齢が上がるほど、「ほとんど毎日食べている」割合が多くなっている。
- 男性30代から50代と「女性20～29歳」の「ほとんど食べていない」は、全体より5ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【がん検診： 全体・性・年齢別】

- 全体では「定期的(1～2年に1回)に受けている」が50.6%で、「これまで全く受けたことがない」は23.5%である。
- 「定期的(1～2年に1回)に受けている」の割合は、男性では30代から50代にかけて増加している。一方、女性では30代をすぎると低下する傾向がみられる。
- 男性は、女性より「これまで全く受けたことがない」が多く、60代以下では10ポイント以上の差がみられる。



5. 健康・福祉について

【がん検診部位：全体・性・年齢別】

- ・ 全体では「胃」が46.5%で最も高く、「大腸」、「肺」が続く。
- ・ 男性は「胃」、「大腸」、「肺」の割合が高い。
- ・ 女性は50代以下では特に「子宮」、「乳」が高い。

※「男性20～29歳」、「男性30～39歳」、「女性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

問13 がん検診を受けている部位はどこですか。 (％)

	胃	大腸	肺	子宮	乳	その他	不明
全体 (n=705)	46.5	41.7	30.1	29.6	27.0	5.0	23.8
男性20～29歳 (n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
男性30～39歳 (n=7)	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
男性40～49歳 (n=30)	60.0	56.7	43.3	3.3	3.3	3.3	23.3
男性50～59歳 (n=45)	64.4	60.0	51.1	0.0	0.0	4.4	26.7
男性60～69歳 (n=61)	54.1	52.5	36.1	1.6	0.0	11.5	29.5
男性70歳以上 (n=140)	56.4	44.3	36.4	0.0	0.0	11.4	28.6
女性20～29歳 (n=15)	6.7	0.0	0.0	80.0	13.3	0.0	13.3
女性30～39歳 (n=61)	6.6	11.5	0.0	86.9	39.3	0.0	9.8
女性40～49歳 (n=91)	39.6	35.2	28.6	67.0	65.9	2.2	20.9
女性50～59歳 (n=59)	42.4	39.0	30.5	59.3	64.4	1.7	22.0
女性60～69歳 (n=71)	38.0	45.1	29.6	32.4	45.1	0.0	28.2
女性70歳以上 (n=103)	60.2	52.4	32.0	20.4	30.1	4.9	21.4

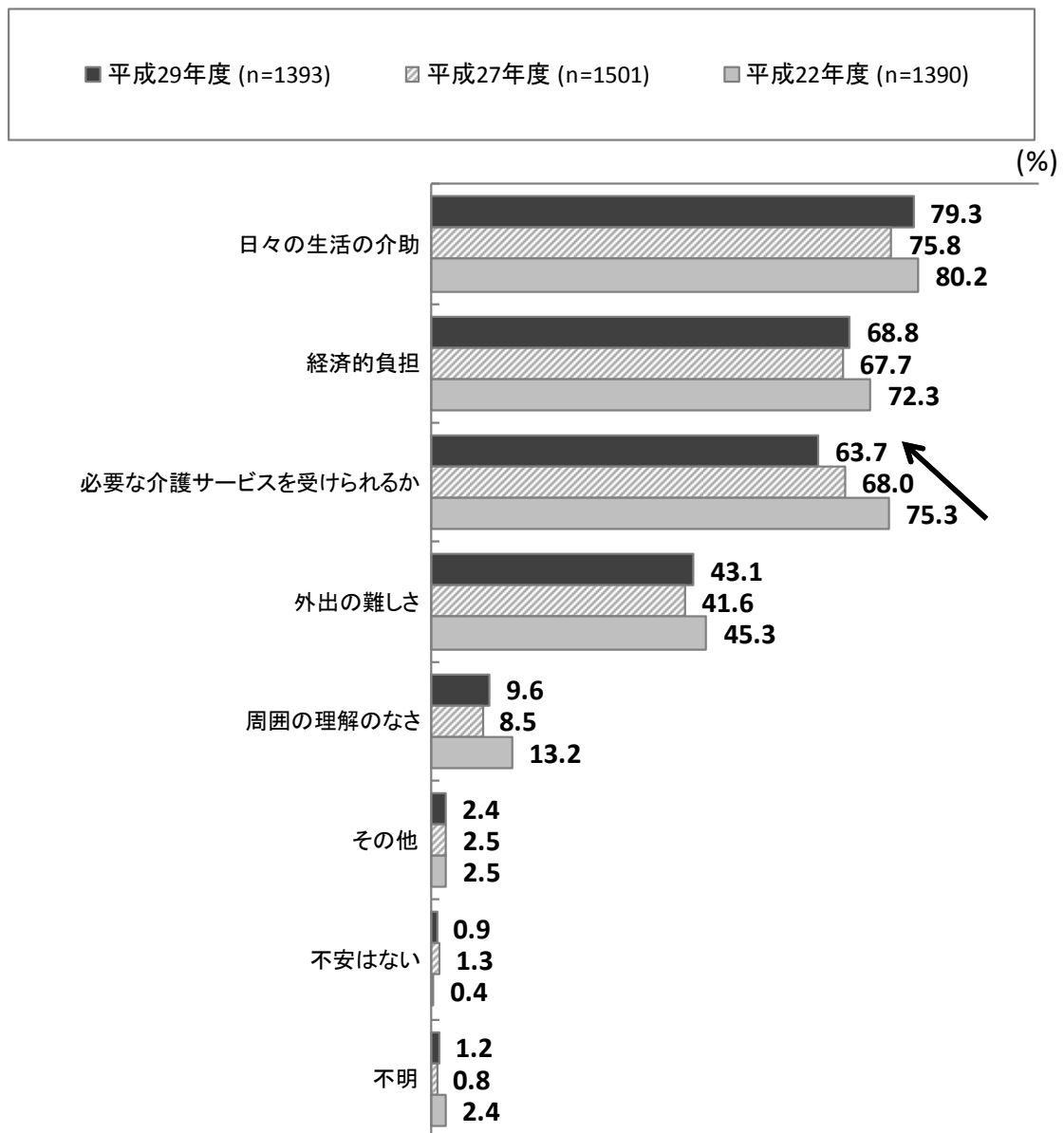
集計ベース：がん検診を定期的に受けている [ベース値が30未満は参考値]

5. 健康・福祉について

【介護に対する不安：全体・時系列】

- ・ 「日々の生活の介助」が79.3%で最も高い。「経済的負担」、「必要な介護サービスが受けられるか」が続き、6割を超えている。
- ・ 「必要な介護サービスが受けられるか」は平成22年度から低下している。

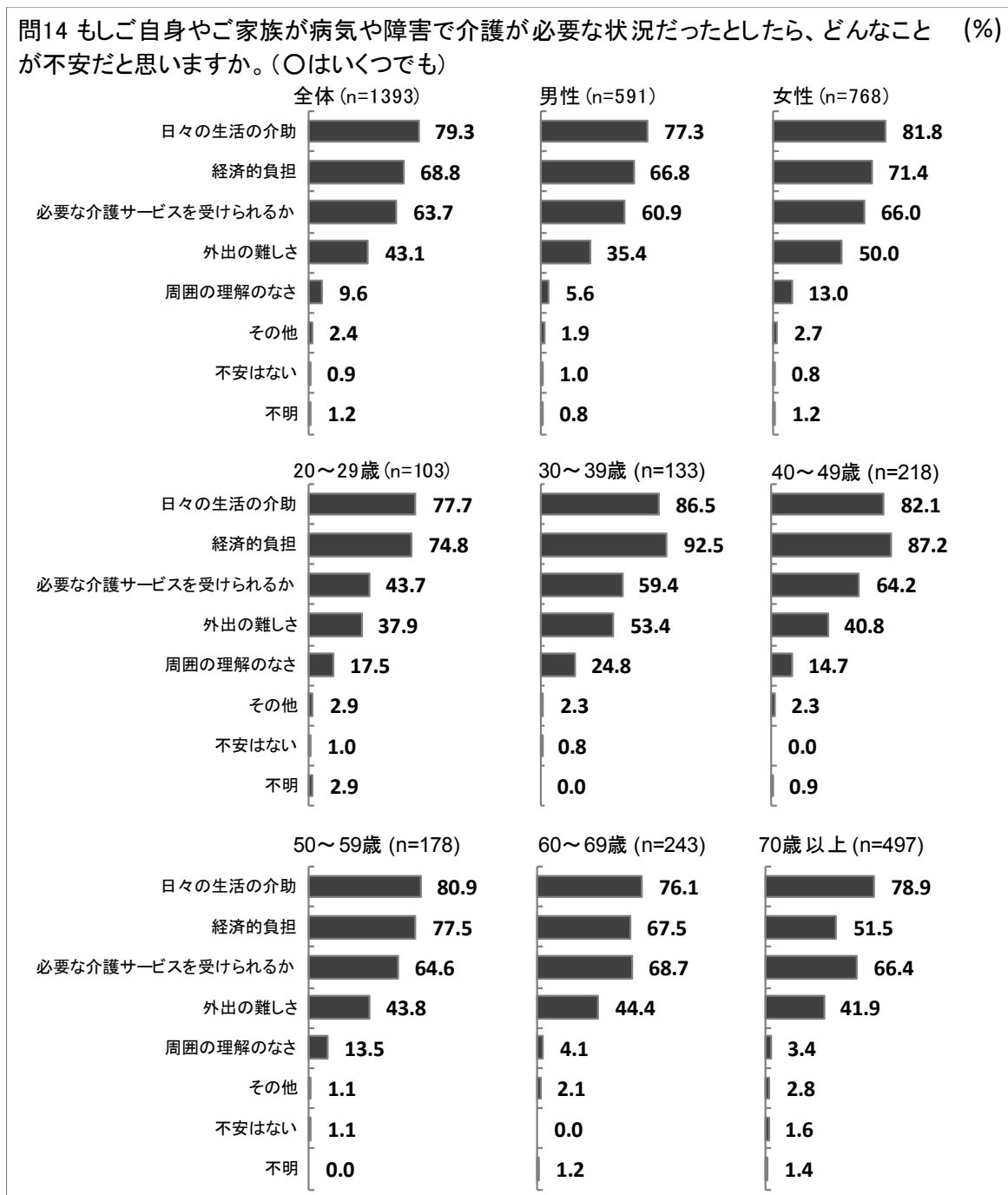
問14 もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(〇はいくつでも)



5. 健康・福祉について

【介護に対する不安： 性・年齢別】

- ・ 性別では「女性」の「外出の難しさ」が全体に対して5ポイント以上高い。
- ・ 年齢別では「30～39歳」の「経済的負担」、「周囲の理解のなさ」、「外出の難しさ」が全体より10ポイント以上高く、他の年代に比べて不安が大きい。特に「経済的負担」は90%を超える。
- ・ 「40～49歳」でも「経済的負担」が全体より20ポイント弱高い。

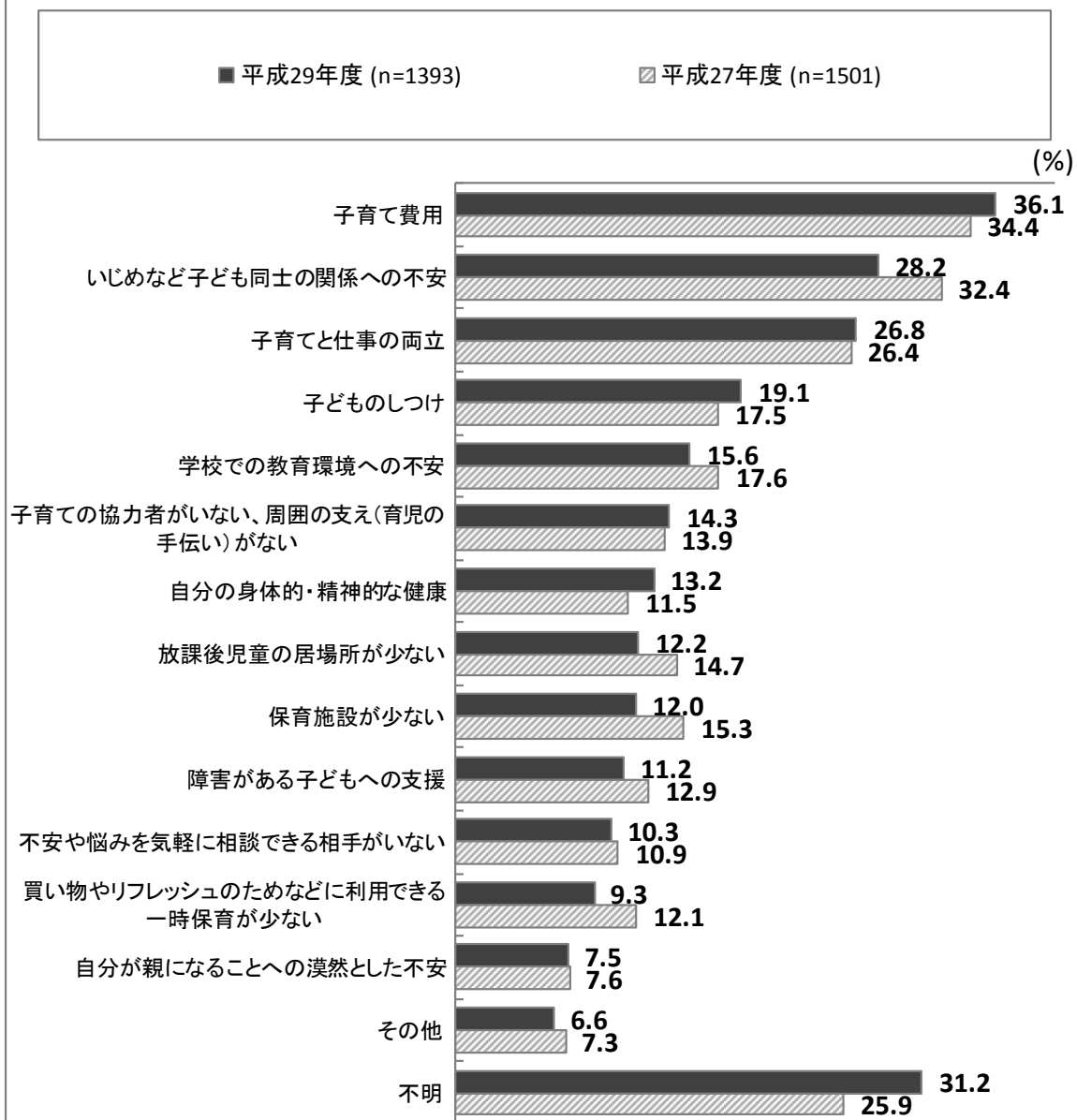


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：全体・時系列】

- ・ 「子育て費用」が36.1%で最も高い。「いじめなど子供同士の関係への不安」、「子育てと仕事の両立」が20%台で続く。
- ・ 平成27年度と比較して5ポイントを超えて大きく変化しているものはない。「いじめなど子供同士の関係への不安」は4.2ポイント減少している。また、「保育施設が少ない」、「買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない」、「放課後児童の居場所が少ない」はわずかに減少。

問15 子育てについて、課題や不安となることは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

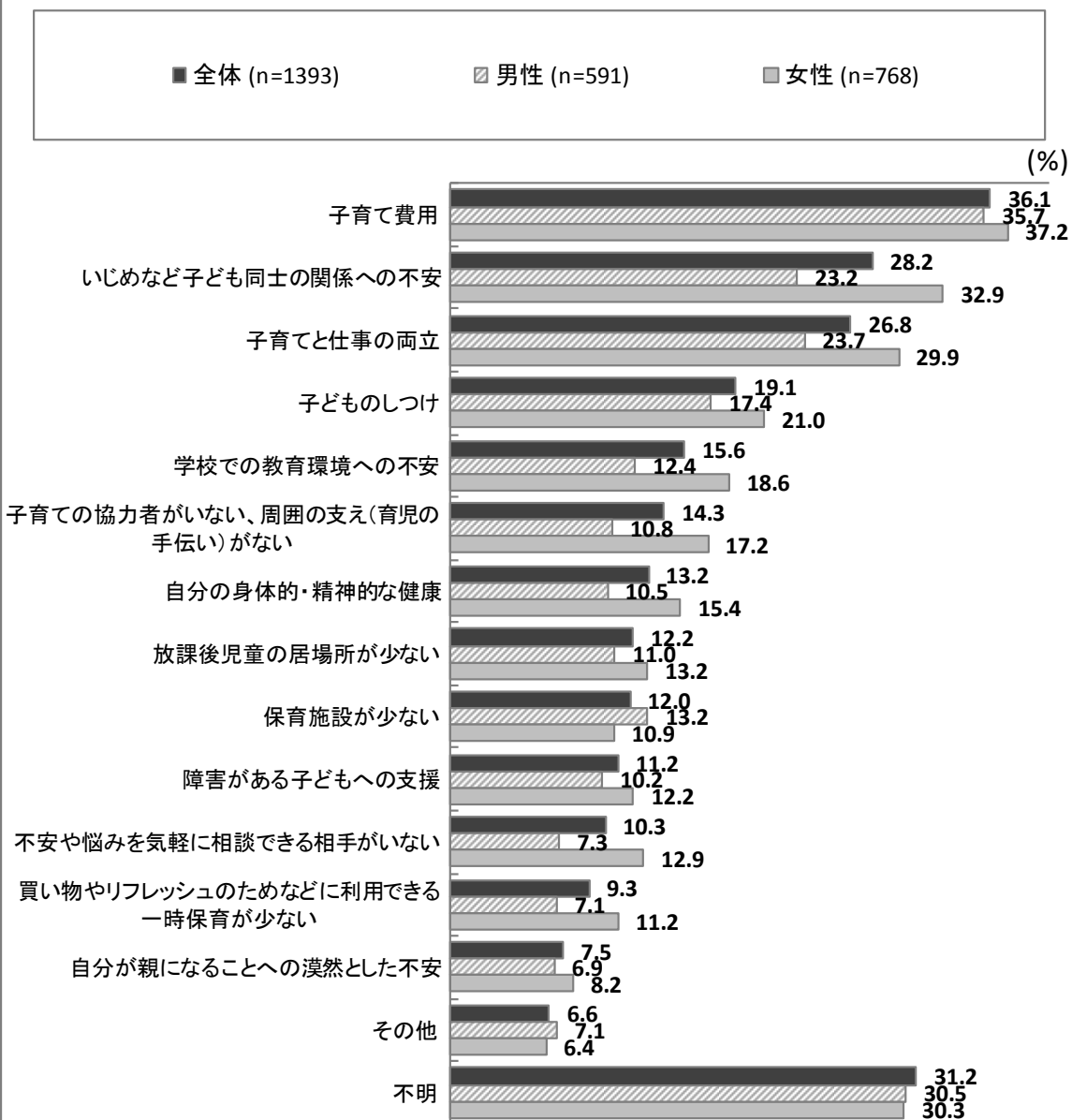


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：性別】

- 「女性」が「男性」よりも全体的に不安が強い傾向が見られる。中でも「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」、「子育てと仕事の両立」、「学校での教育環境への不安」、「不安や悩みを気軽に相談できる相手がない」は「男性」より5ポイント以上高い。

問15 子育てについて、課題や不安となることは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

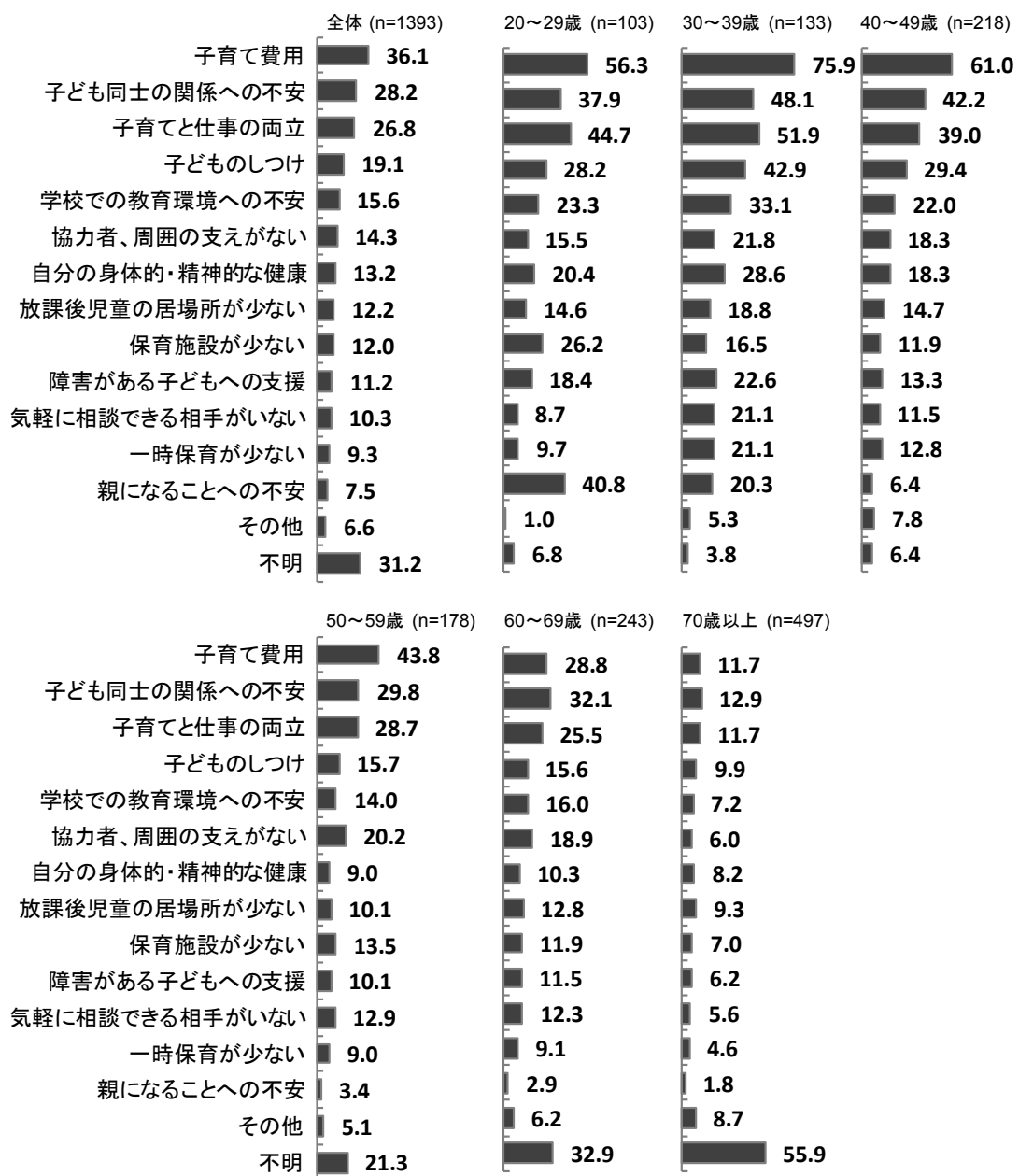


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、「自分が親になることへの漠然とした不安」、「子育て費用」に対する不安が全体よりも20ポイント以上高い。
- ・ 一方で「30～39歳」では、「子育て費用」、「子育てと仕事の両立」、「子どものしつけ」に対する不安が全体より20ポイント以上高い他、全項目で全体を上回り不安が全体的に大きい様子が窺われる。

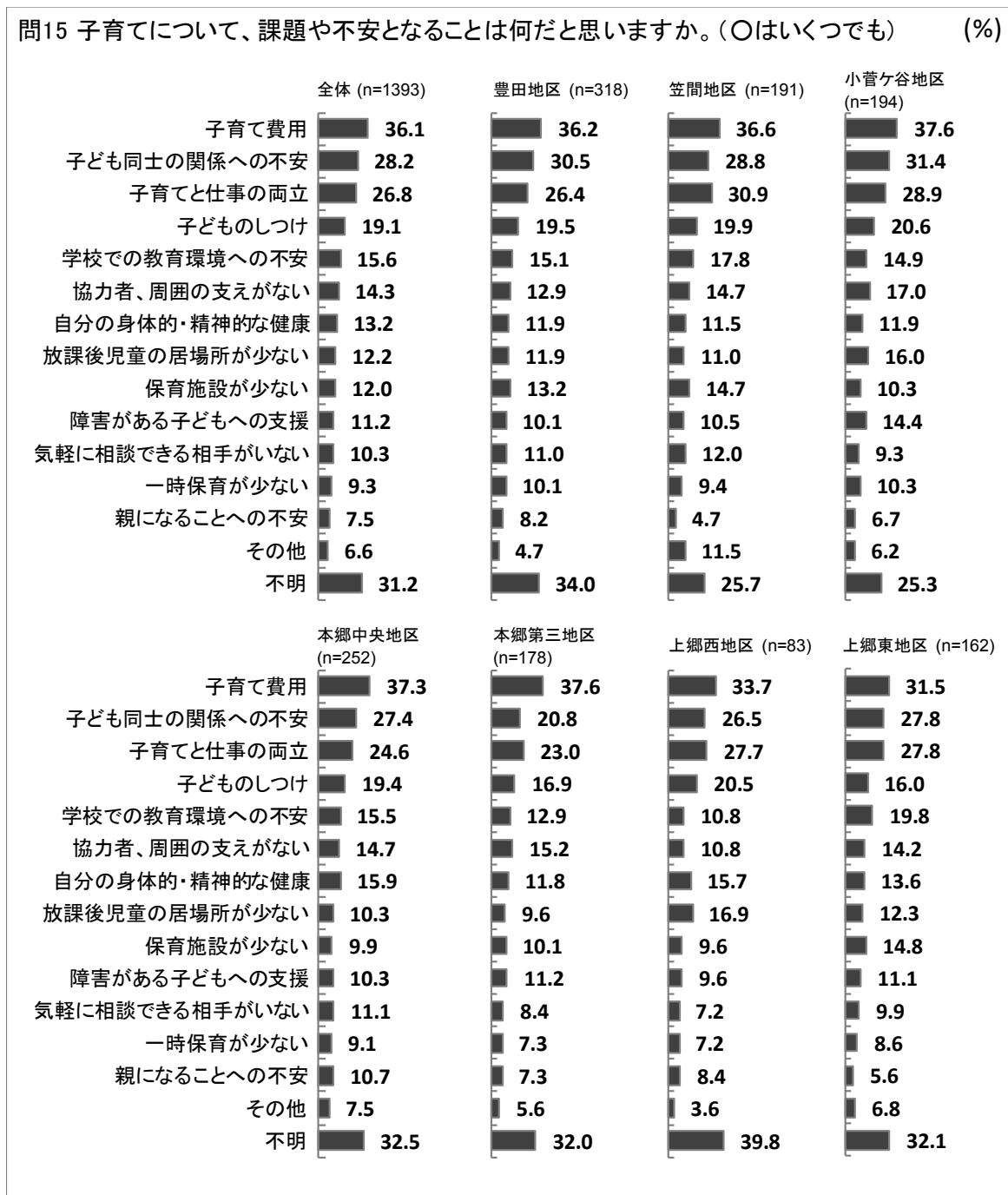
問15 子育てについて、課題や不安となることは何だと思えますか。(○はいくつでも) (%)



6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安： 居住地区別】

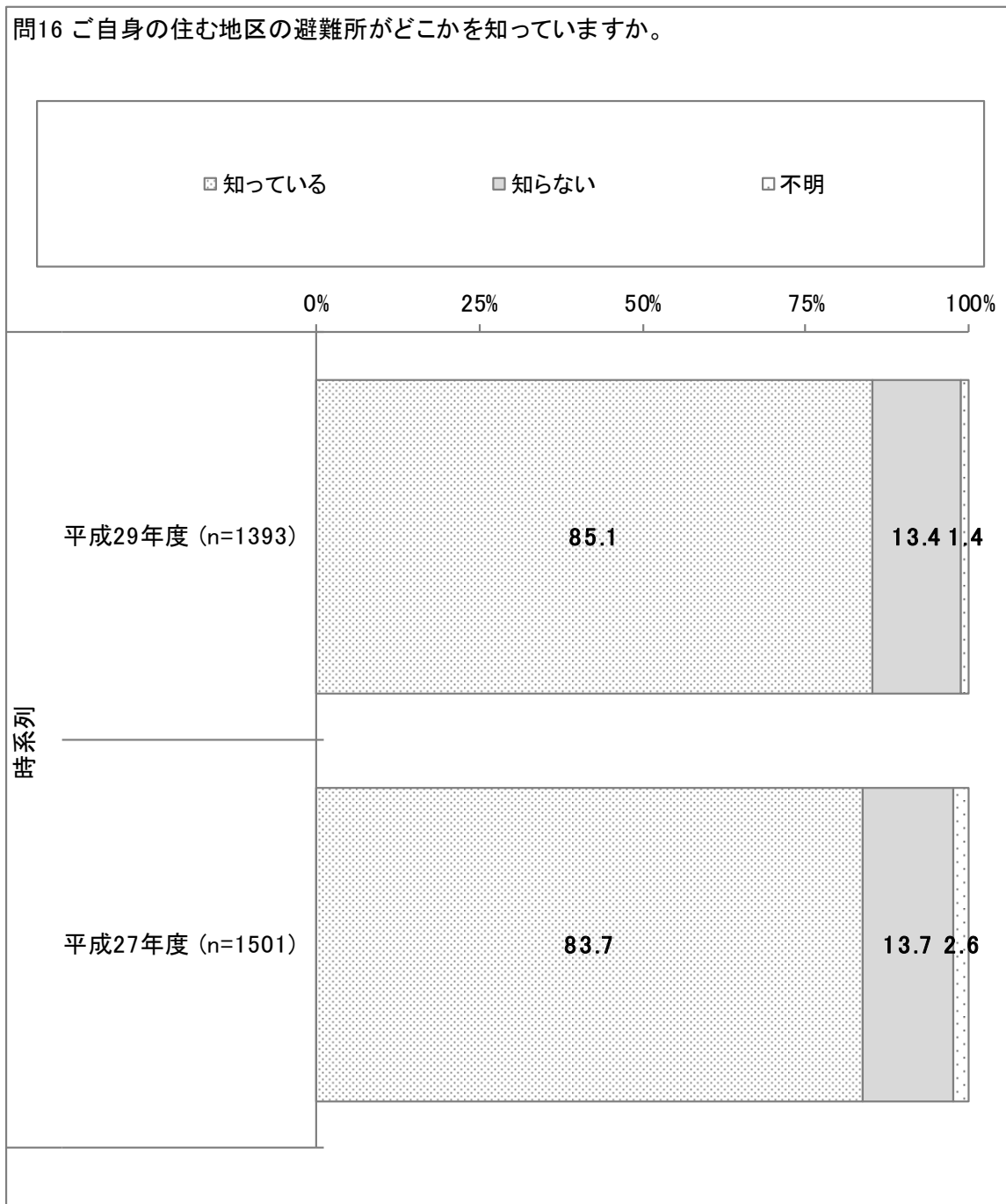
- ・ 「本郷第三地区」では、「(いじめなど)子ども同士の関係への不安」が全体よりも5ポイント以上低い。



7. 防災について

【地区の避難所の場所の認知：全体・時系列】

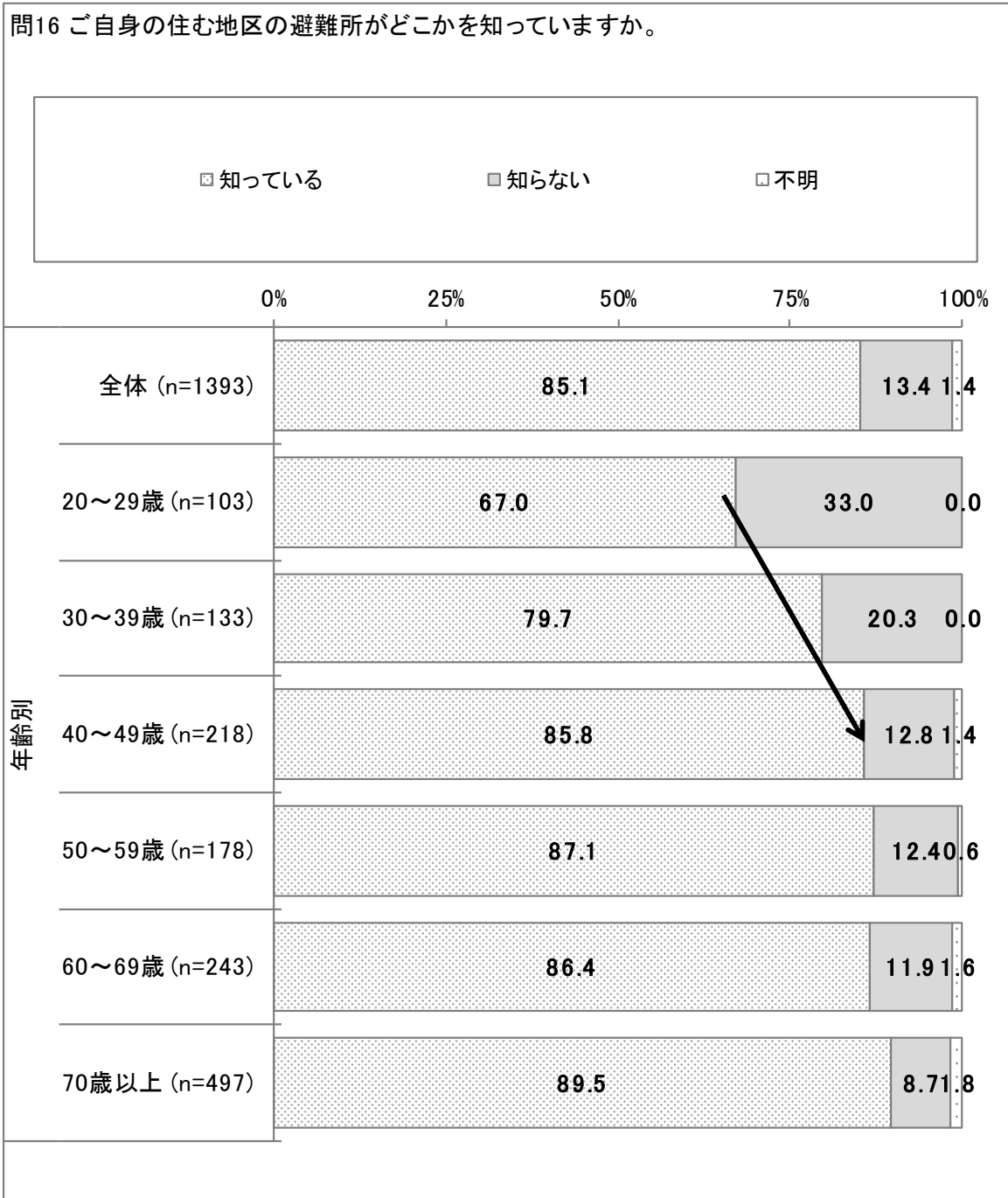
- ・ 「知っている」割合は85.1%である。
- ・ 平成27年度と比べて大きな変化は見られない。



7. 防災について

【地区の避難所の認知：年齢別】

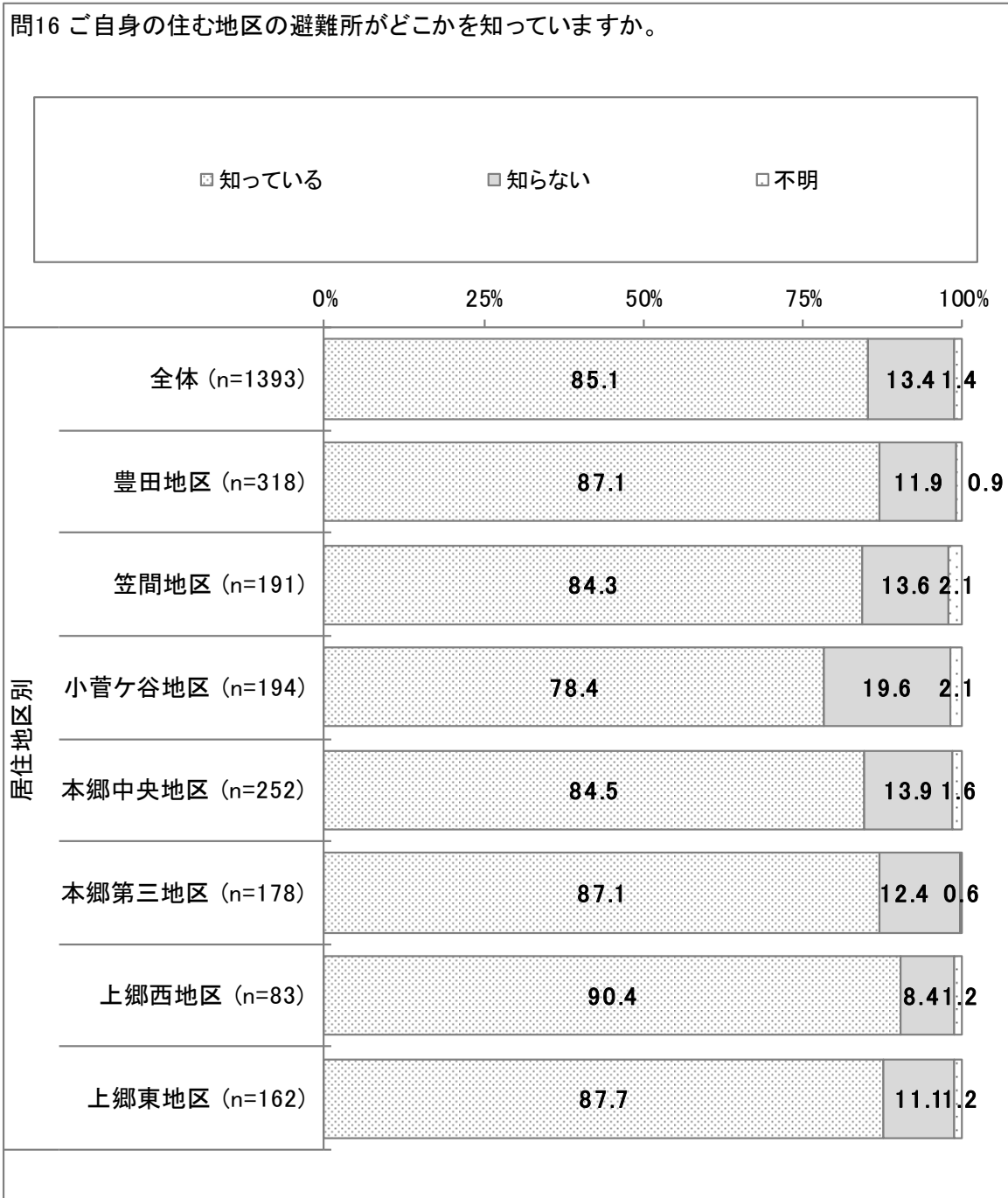
- ・ 「20～29歳」の「知らない」が全体より約20ポイント多く、33.0%に達する。
- ・ 年齢が高くなるにつれて「知っている」比率は上昇し、40代以上で8割を超えている。



7. 防災について

【地区の避難所の認知： 居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」の「知っている」が全体より5ポイント以上多く、90%を超える。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」が「知らない」割合が全体より5ポイント以上多い。

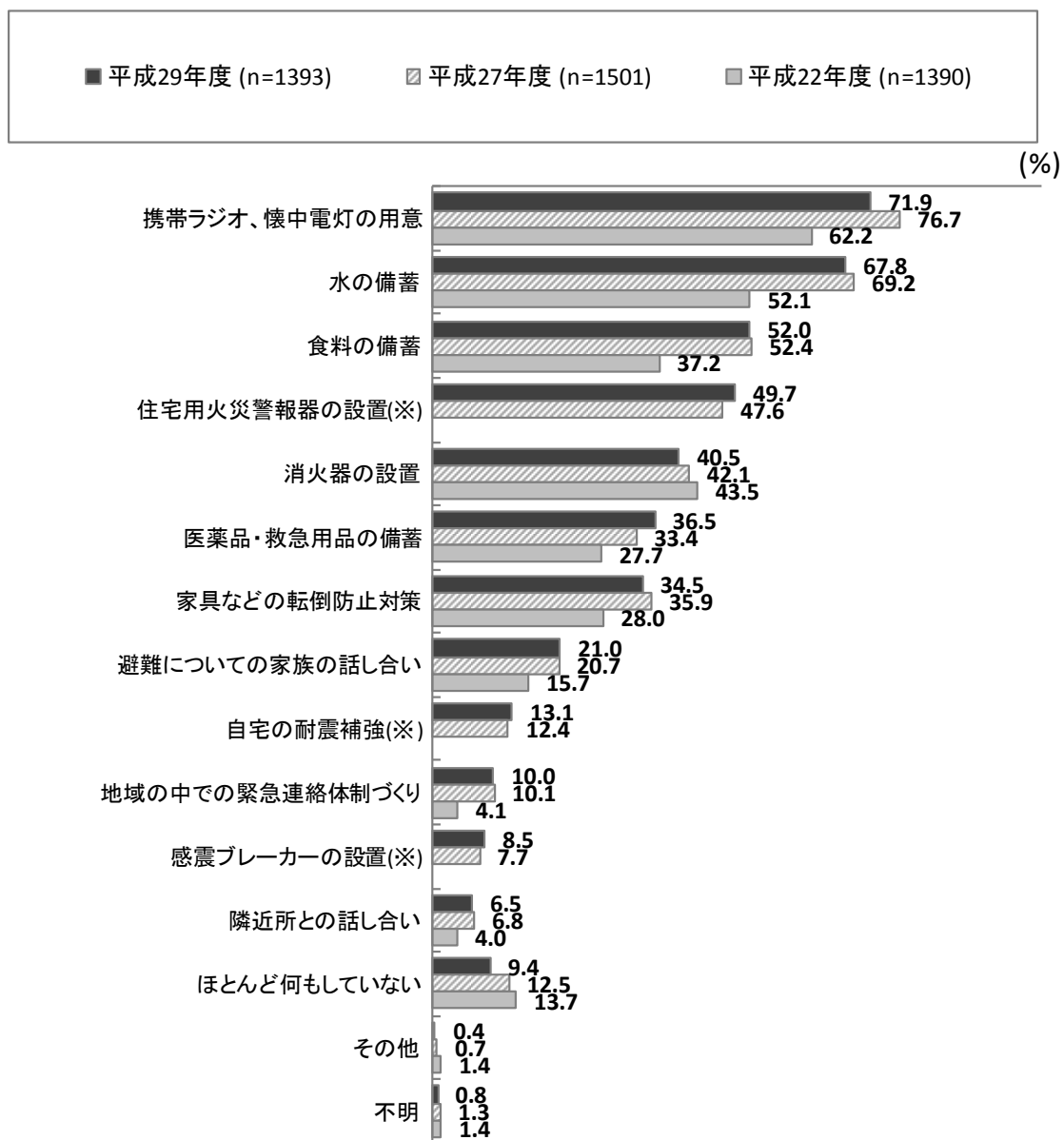


7. 防災について

【災害に対する備え：全体・時系列】

- ・ 「携帯ラジオ、懐中電灯の準備」が最も高く、71.9%に達する。「水の備蓄」(67.8%)、「食料の備蓄」(52.0%)が続いて高い。
- ・ 平成27年度と比べて、5ポイントを超える大きな変化は見られない。

問17 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)



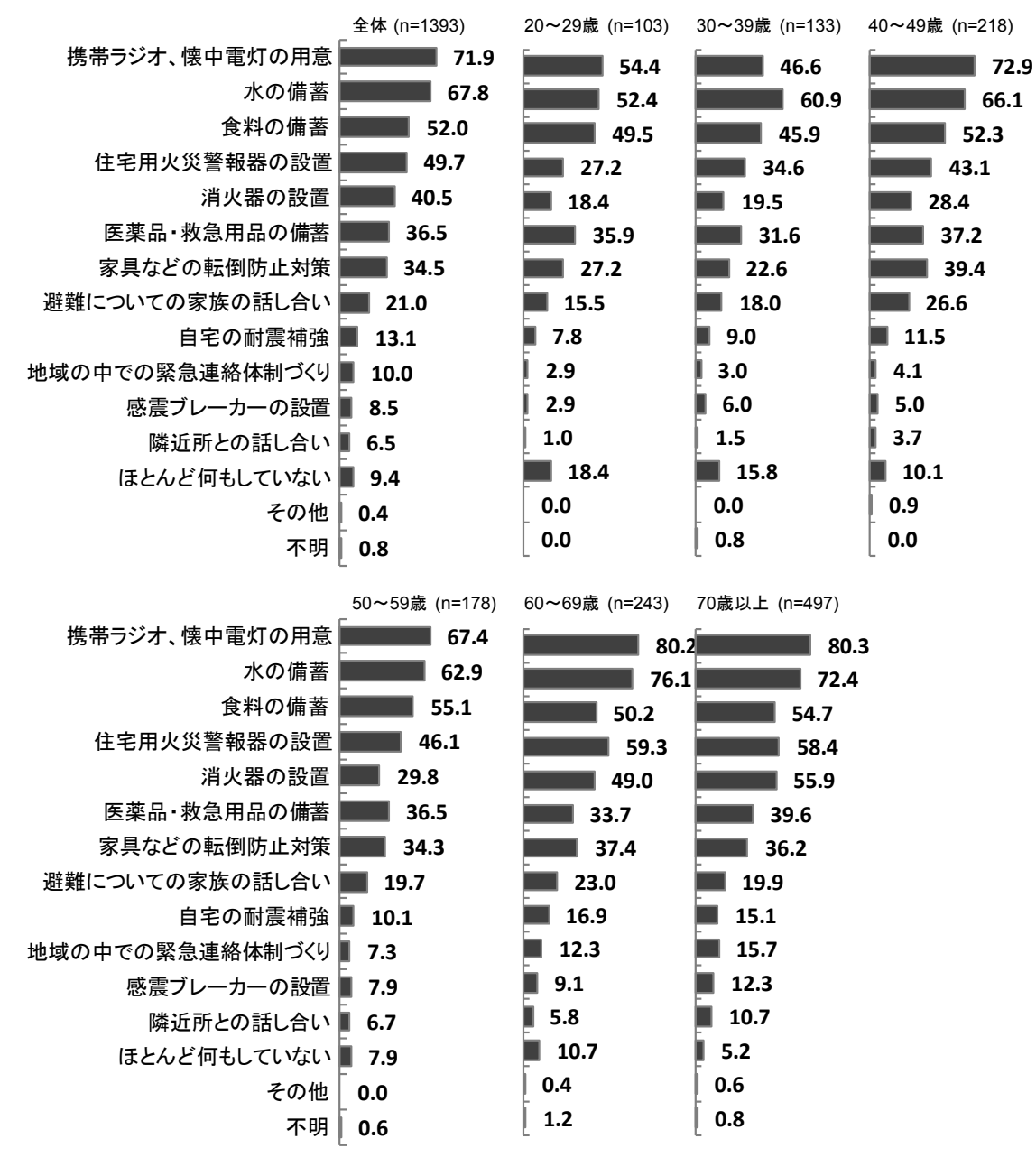
(※)は平成27年度調査の新設項目。

7. 防災について

【災害に対する備え：年齢別】

- 「20～29歳」、「30～39歳」は全体的に低く、特に「消火器の設置」、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「住宅用火災警報器の設置」は全体より15ポイント以上少ない。加えて、「20～29歳」では「水の備蓄」、「30～39歳」では「家具などの転倒防止対策」が全体より10ポイント以上少ない。
- 「70歳以上」では、「消火器の設置」が全体より15ポイント以上多い。

問17 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも) (%)

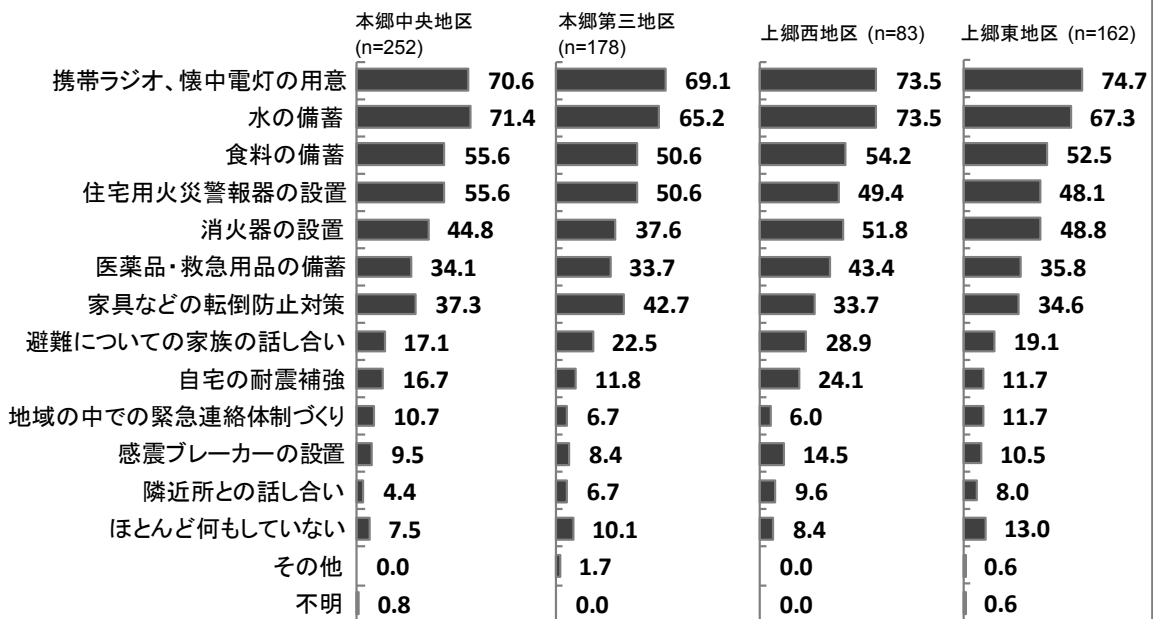
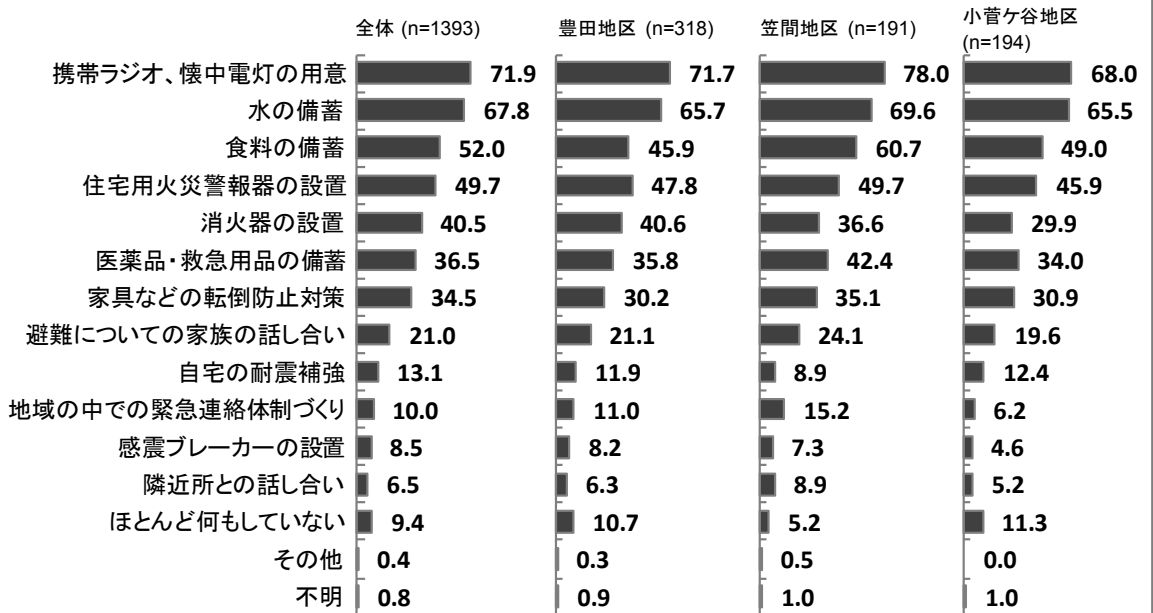


7. 防災について

【災害に対する備え： 居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」の「消火器の設置」、「自宅の耐震補強」は全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」の「消火器の設置」は全体より10ポイント以上少なく、30%を下回っている。

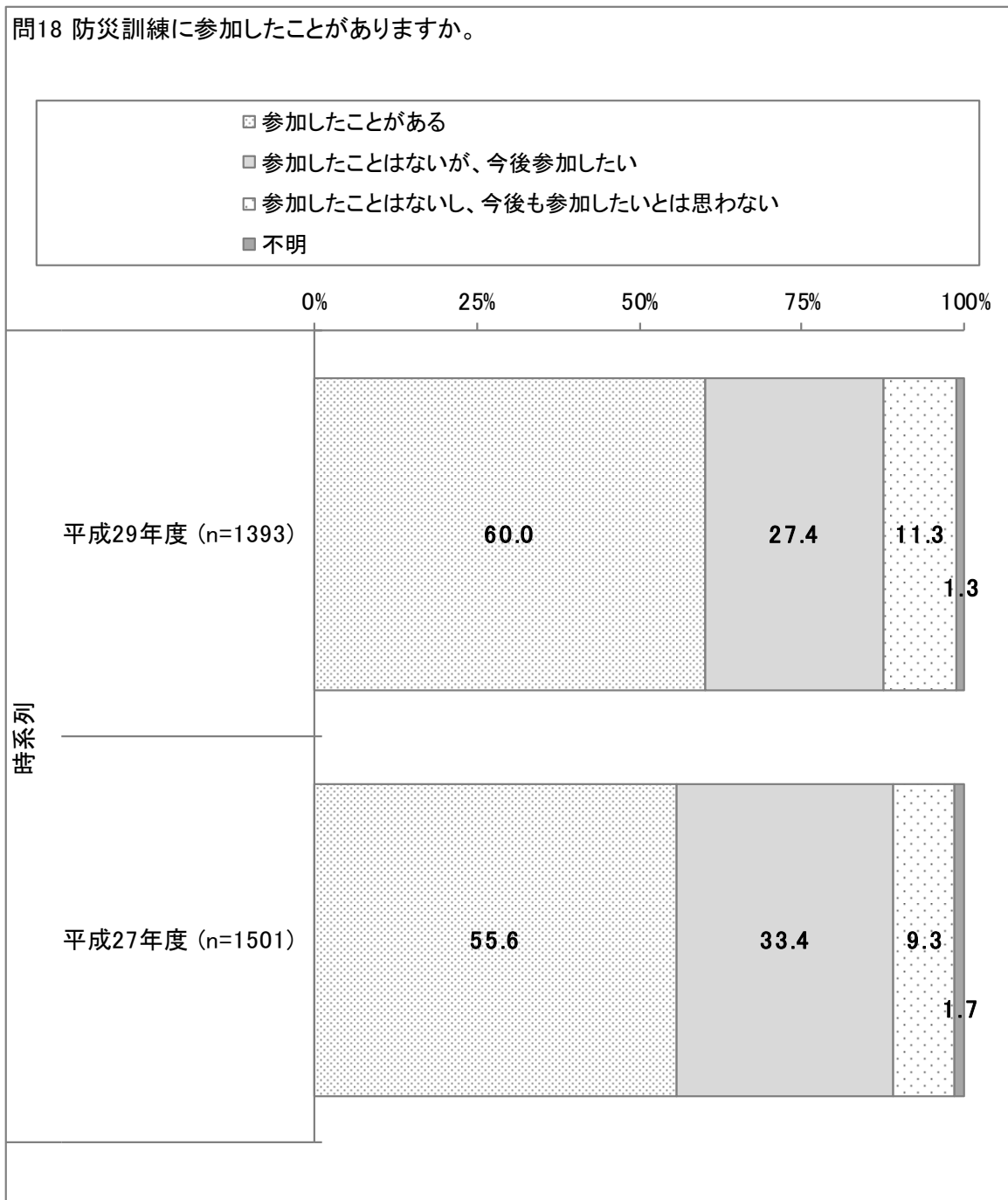
問17 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも) (%)



7. 防災について

【防災訓練：全体・時系列】

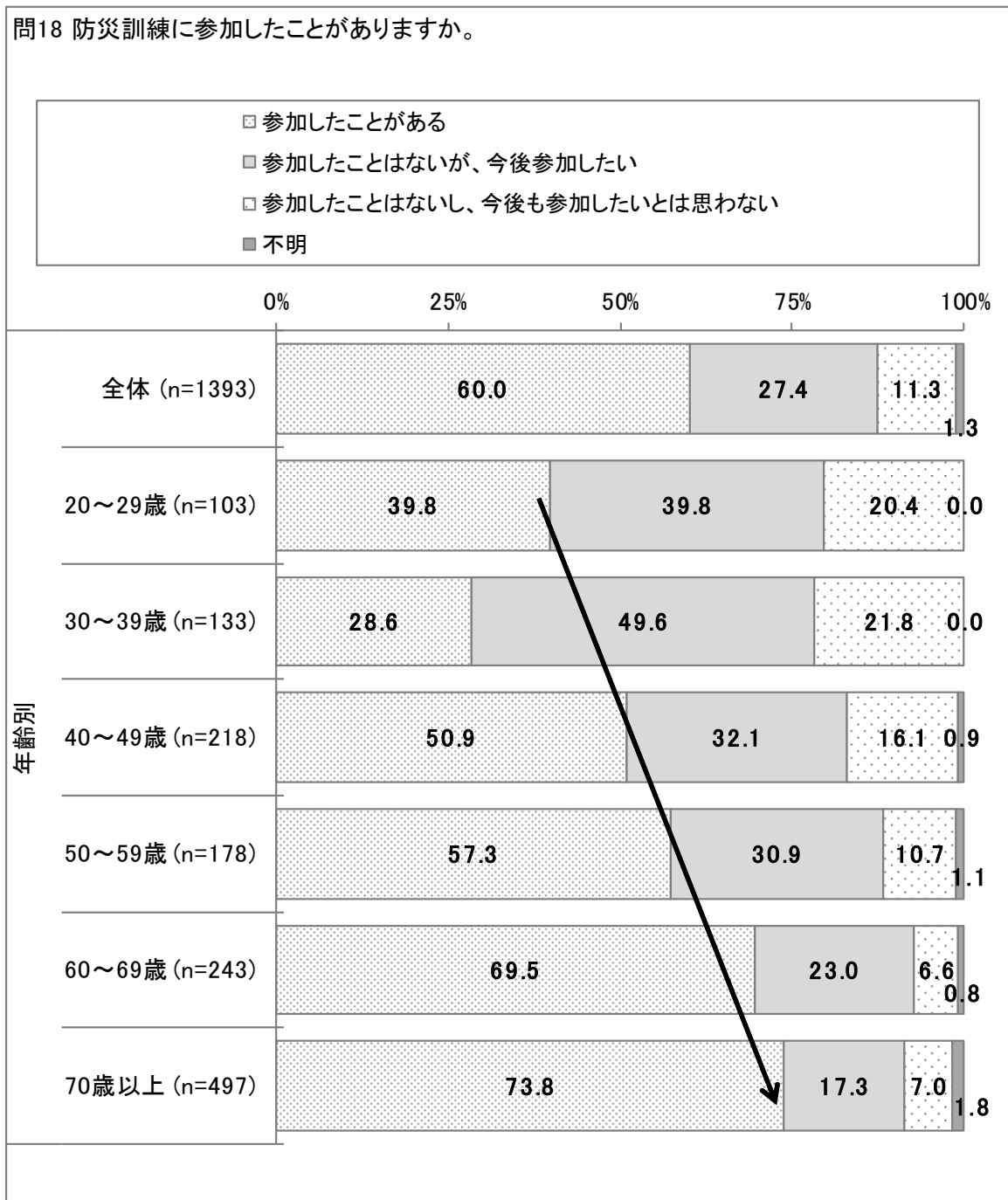
- ・ 「参加したことがある」は60.0%で、「参加したことはないが、今後参加したい」は27.4%である。一方で「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は11.3%である。
- ・ 平成27年度と比較して、「参加したことがある」はわずかに増加(4.4ポイント)し、「今後参加したい」が6.0ポイント減少している。



7. 防災について

【防災訓練：年齢別】

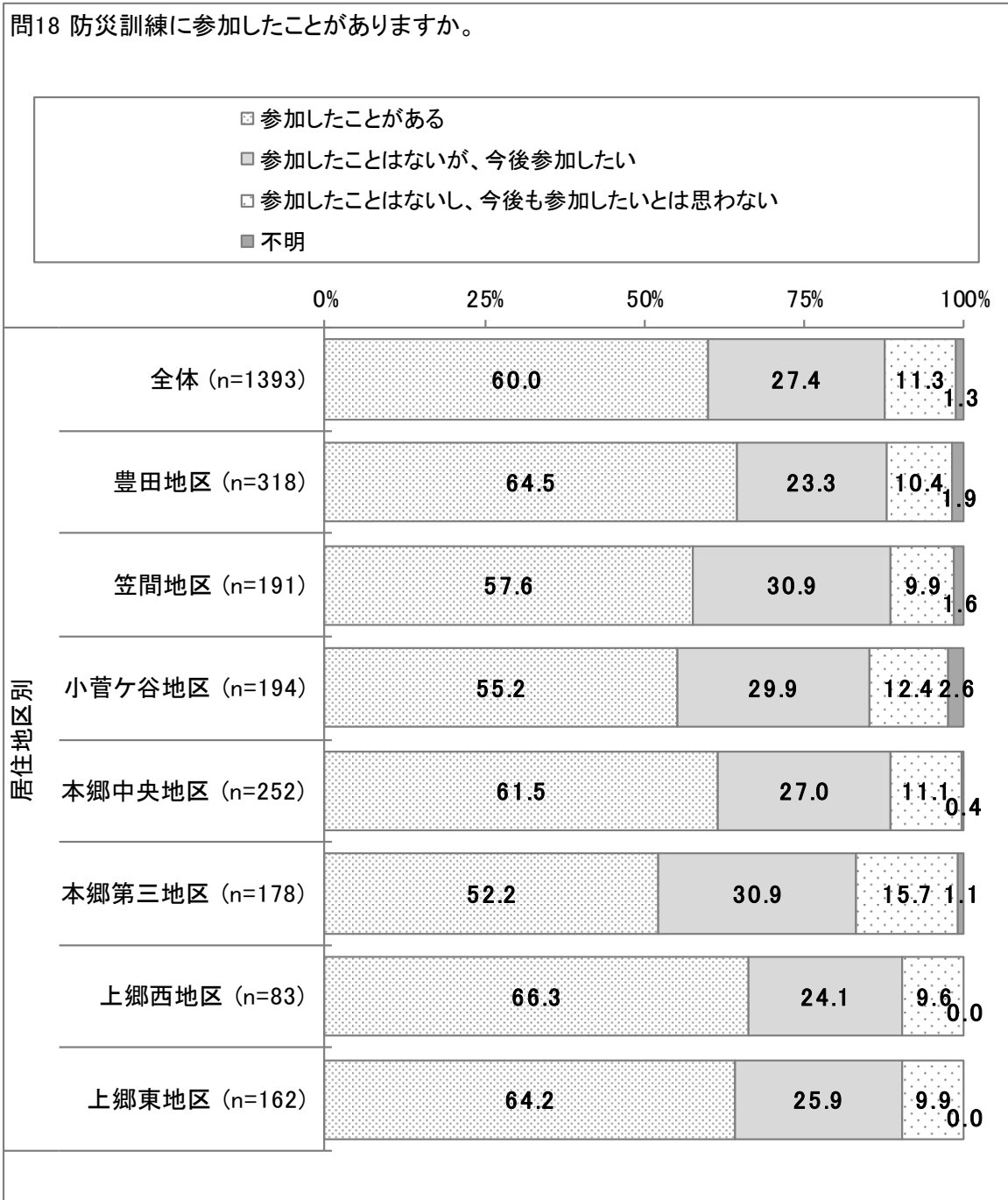
- ・ 「30～39歳」を除き、年齢が高くなるほど「参加したことがある」割合は増加する。
- ・ 「30～39歳」は「参加したことがある」が28.6%で最も少ないが、「参加したことはないが、今後参加したい」が49.6%で最も多い。



7. 防災について

【防災訓練：居住地域別】

- ・ 「上郷西地区」の「参加したことがある」は66.3%で最も多い。
- ・ 「本郷第三地区」の「参加したことがある」は52.2%で最も少ない。

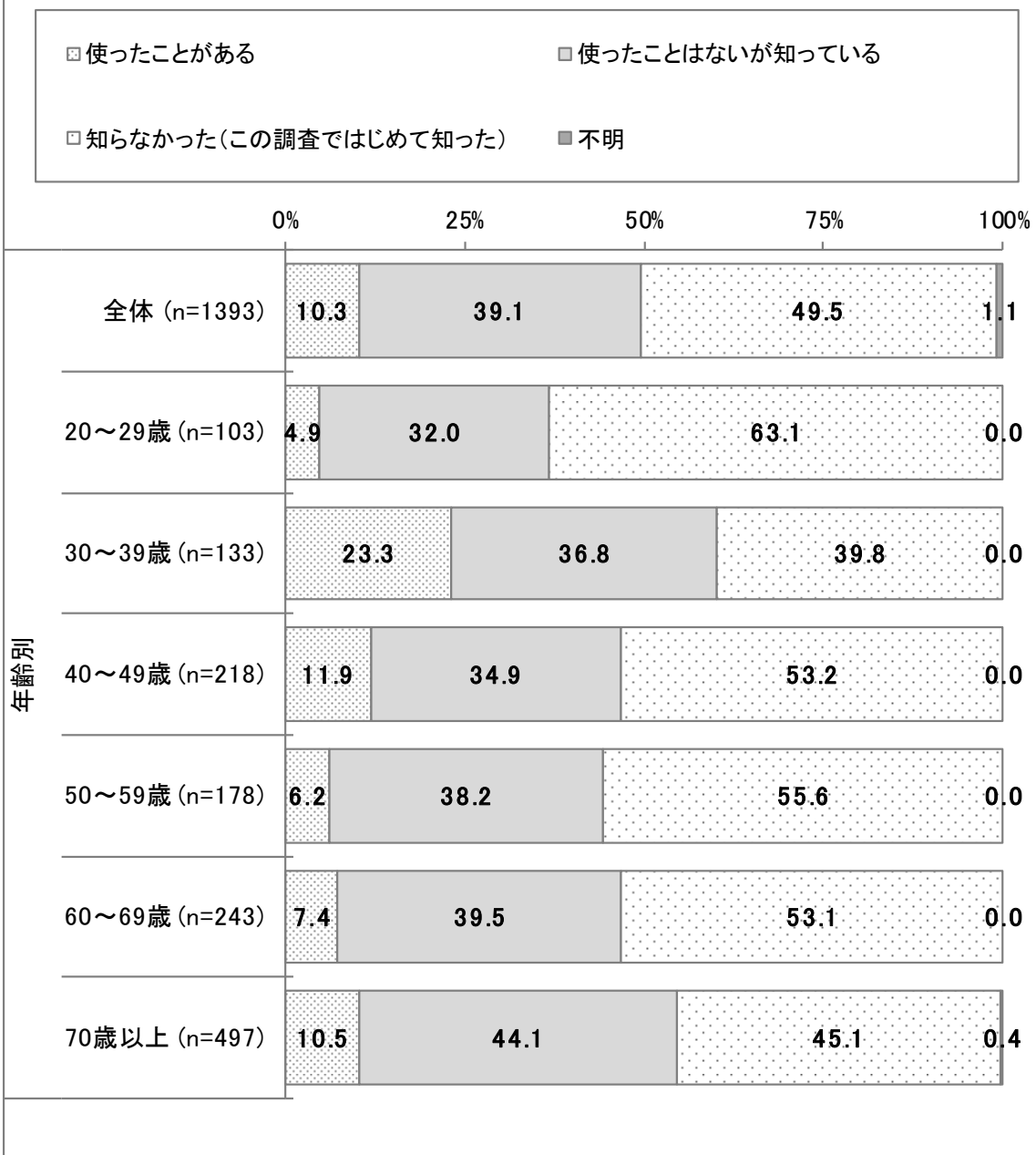


8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知：全体・年齢別】

- 全体では、「使ったことがある」は10.3%、「使ったことはないが知っている」は39.1%で合計で認知率は約半数。
- 「30～39歳」の「使ったことがある」は23.3%で、全体より10ポイント以上多い。
- 「20～29歳」の「知らなかった(この調査ではじめて知った)」は63.1%で最も多い。

問19 救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)を知っていますか。

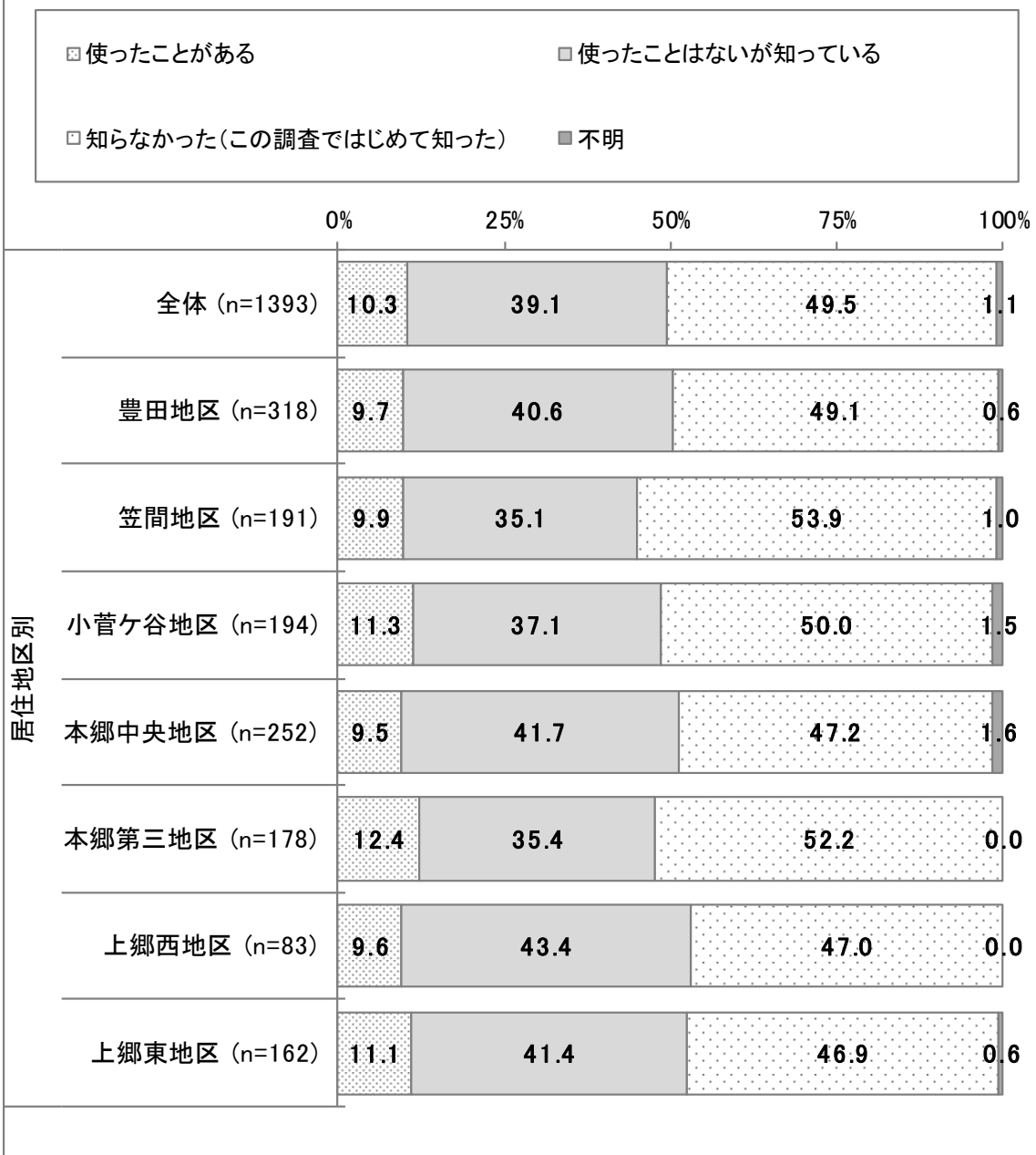


8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知：居住地区別】

- ・ 居住地区別では大きな差は見られない。

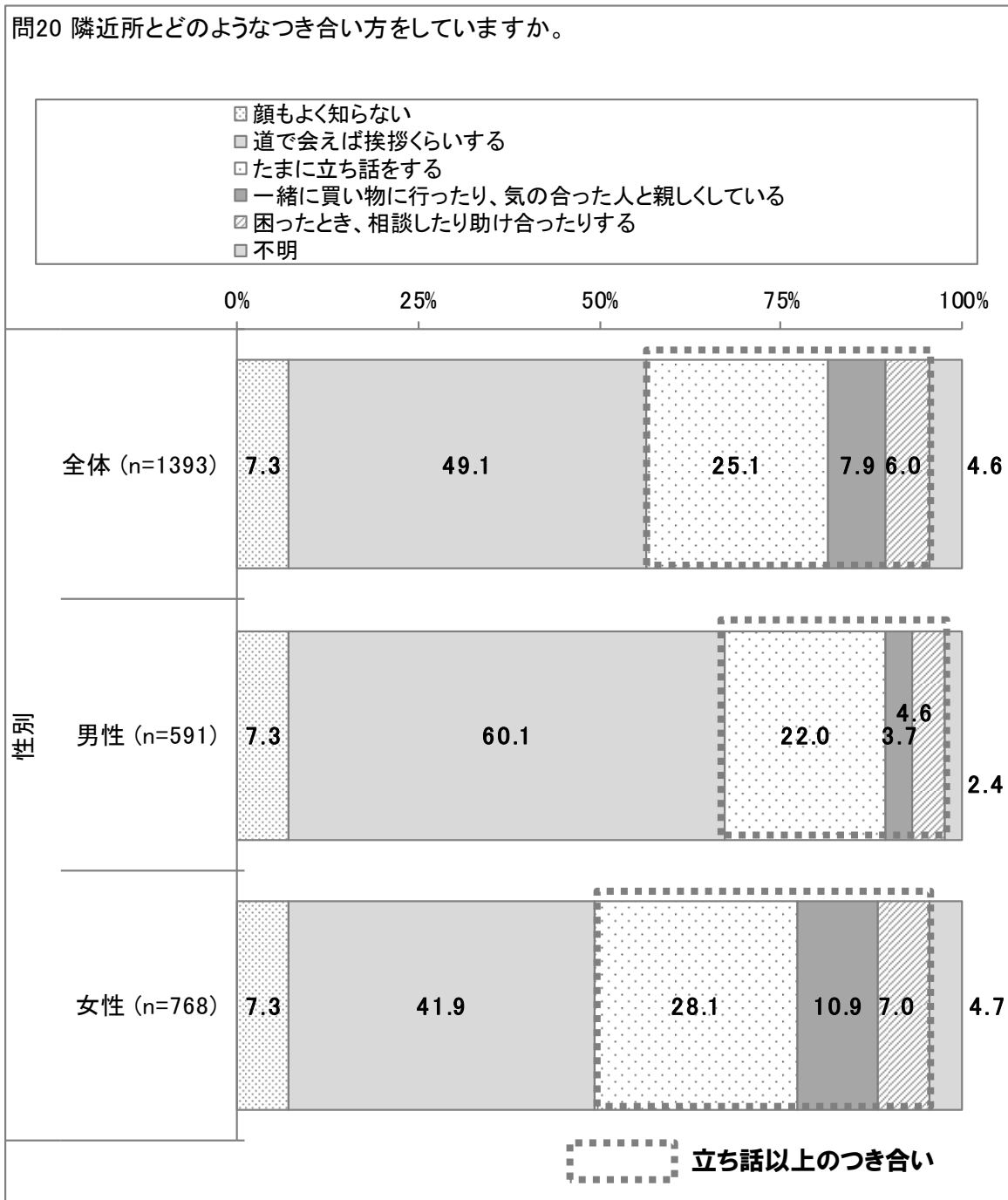
問19 救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119(横浜市救急相談センター)を知っていますか。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：全体・性別】

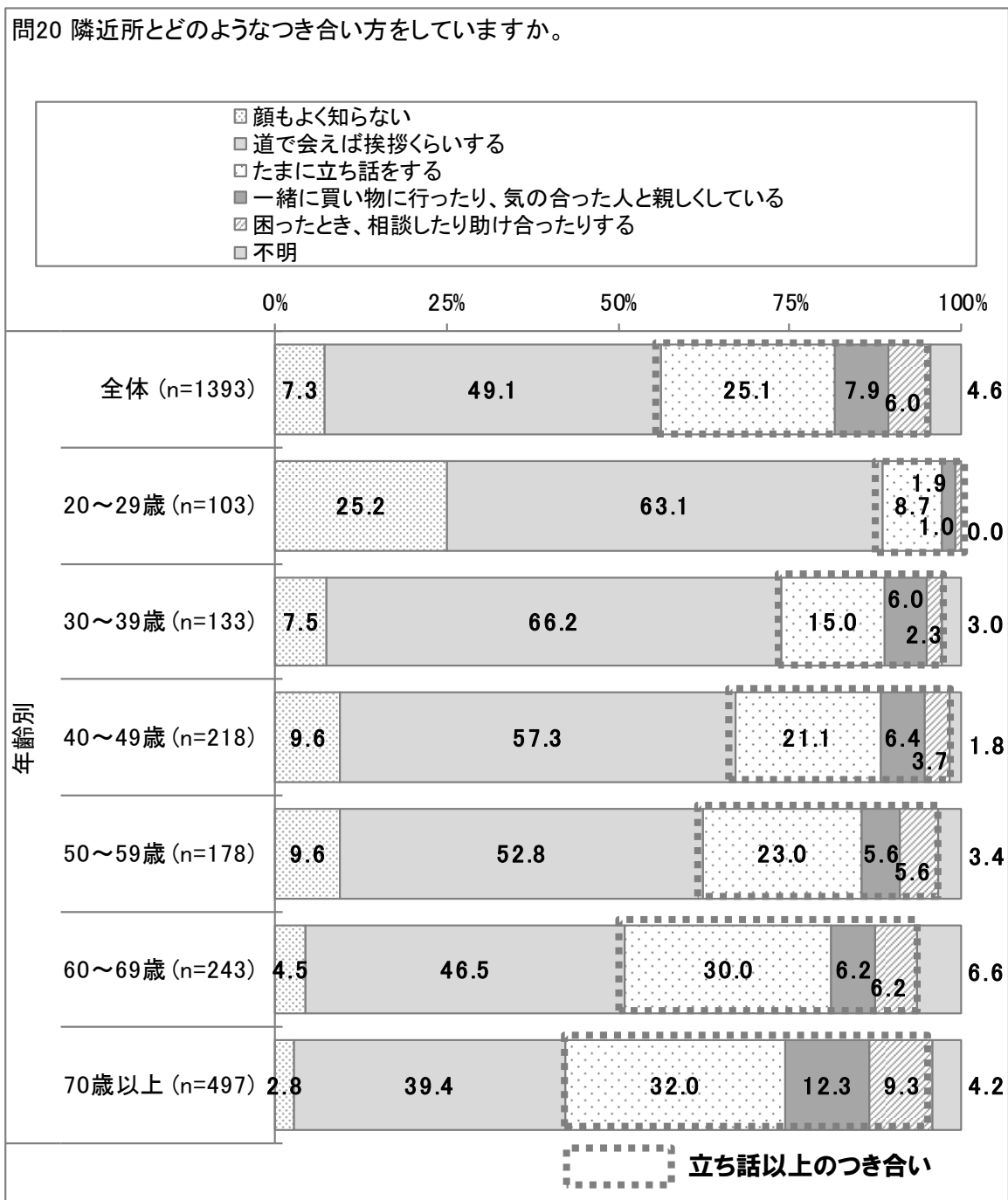
- ・ 「道で会えば挨拶くらいする」は49.1%、「たまに立ち話をする」は25.1%である。
『立ち話以上のつき合い』は39.0%である。
 - ・ 「男性」の「道で会えば挨拶くらいする」は60.1%で全体より10ポイント以上多い。
 - ・ 「女性」の「道で会えば挨拶くらいする」は41.9%で全体より5ポイント以上少なく、
『立ち話以上のつき合い』が「男性」に比べて多い傾向である。
- ※『立ち話以上のつき合い』:「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：年齢別】

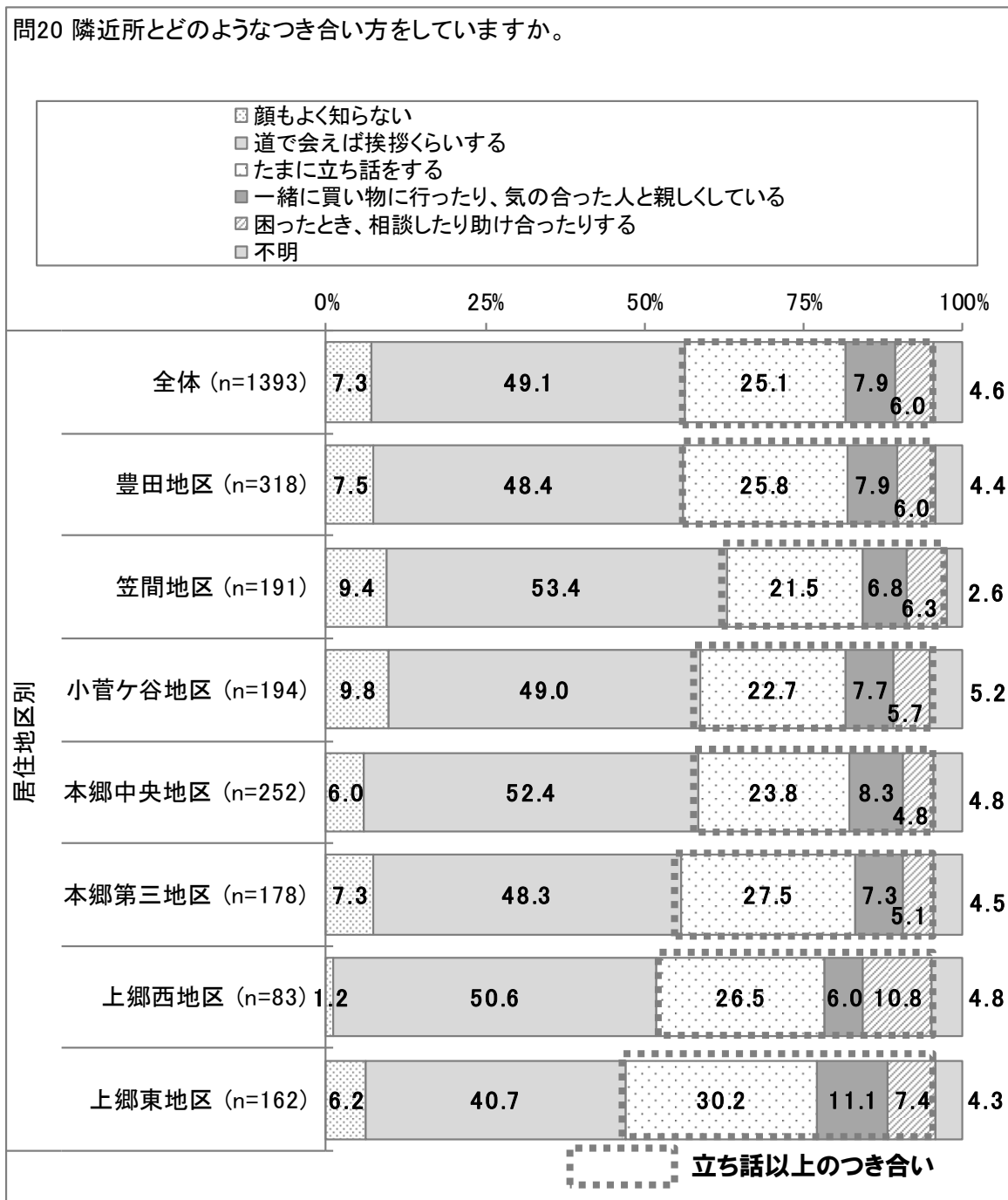
- ・ 「20～29歳」では「顔もよく知らない」が25.2%、「道で会えば挨拶くらいする」が63.1%で全体より10ポイント以上多い。
- ・ 『立ち話以上のつき合い』は年齢が高くなるほど増える傾向が見られる。「70歳以上」で『立ち話以上のつき合い』の割合は53.5%である。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：居住地区別】

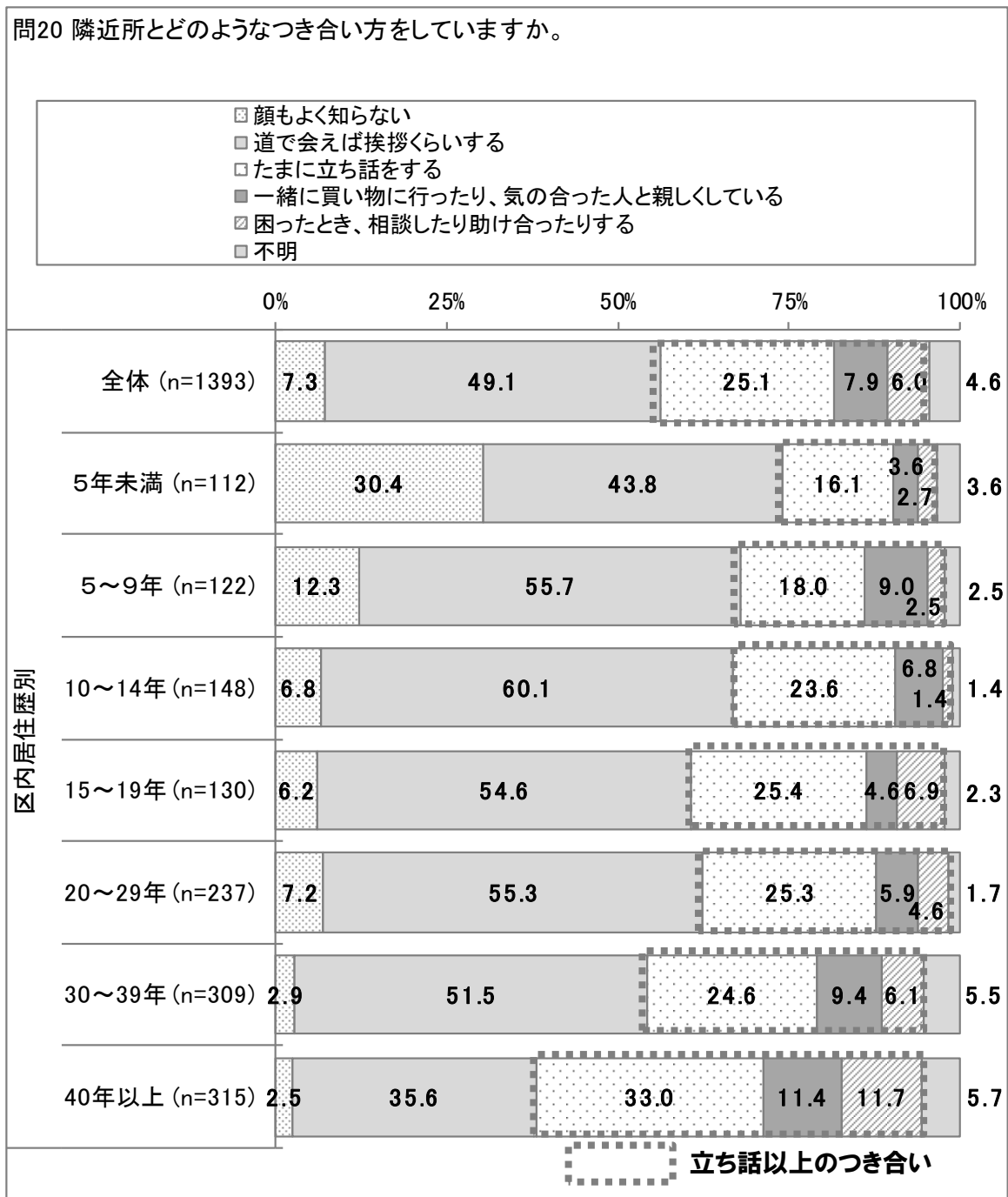
- ・ 「上郷東地区」では、『立ち話以上のつき合い』が48.8%で、最も多い。
- ・ 「上郷西地区」は「顔もよく知らない」が1.2%で全体より5ポイント以上少ない。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：区内居住歴別】

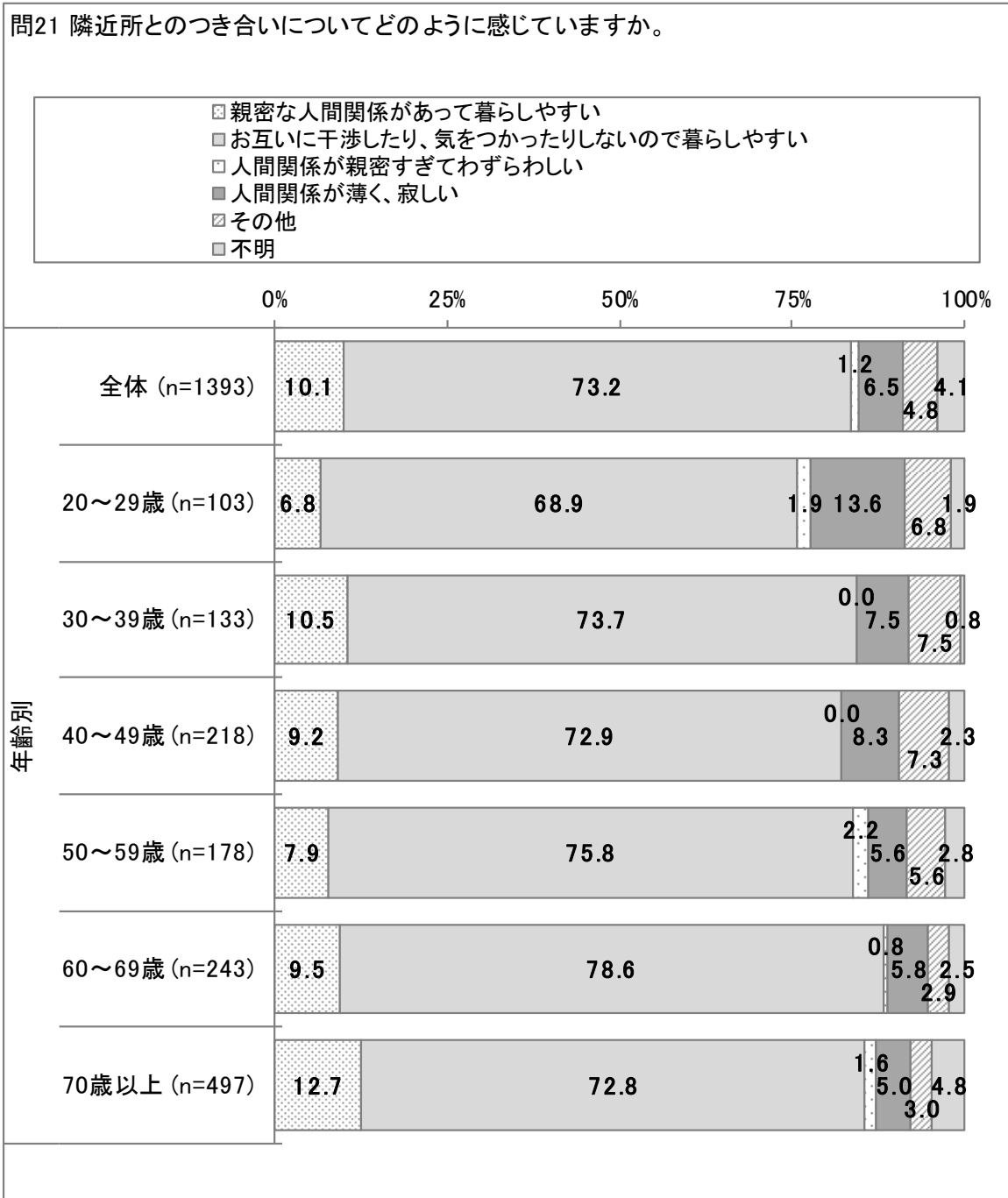
- ・ 居住期間が長くなるほど、『立ち話以上のつき合い』が増える様子が窺われる。
「40年以上」では『立ち話以上のつき合い』が56.2%に達する。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合いについて感じる事：全体・年齢別】

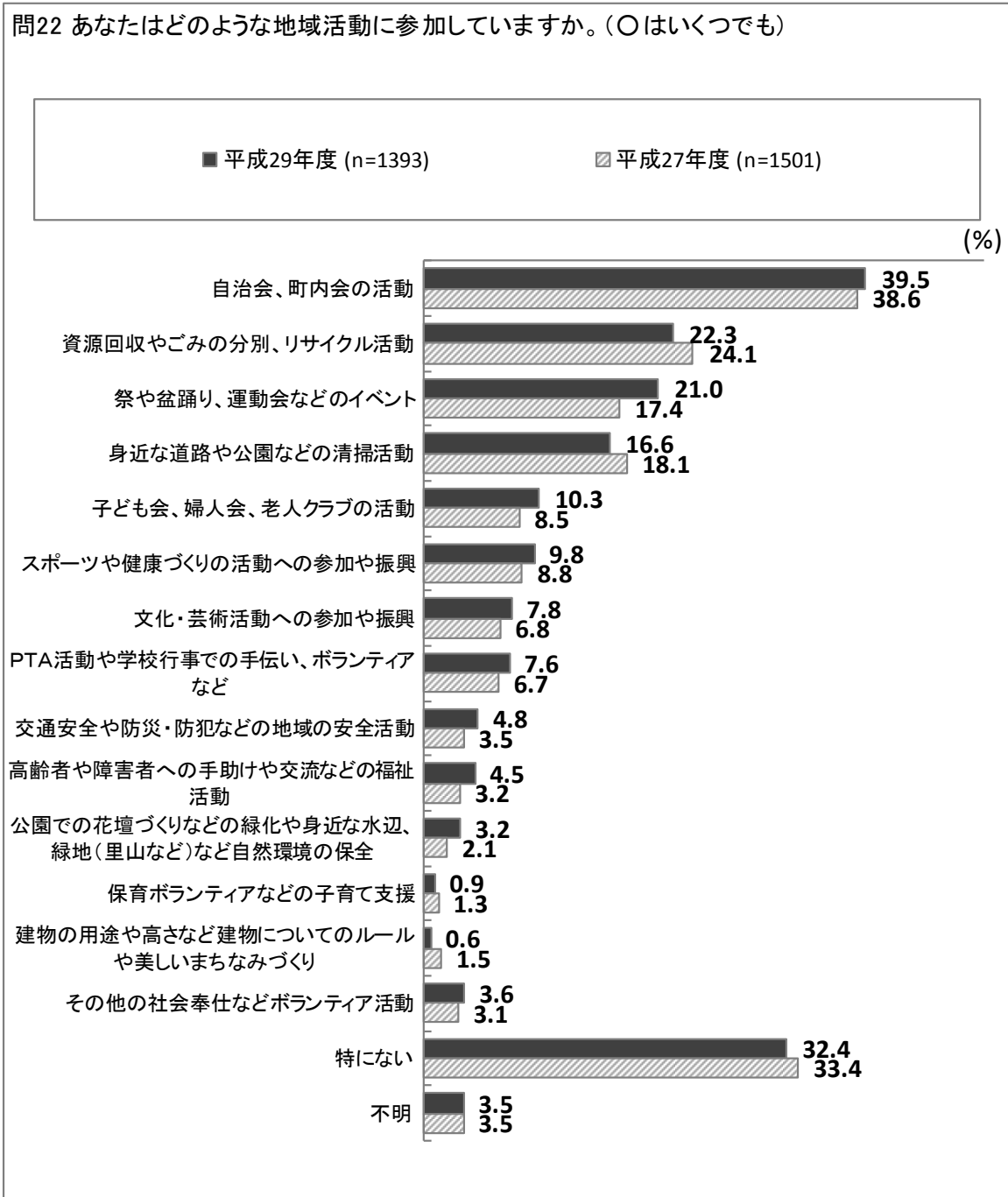
- ・ 「お互いに干渉したり、気をつかたたりしないので暮らしやすい」と感じている割合が73.2%で最も多い。「親密な人間関係があって暮らしやすい」は10.1%である。
- ・ 「人間関係が薄く、寂しい」と感じている人も6.5%存在している。
- ・ 年齢別では、「20～29歳」の「人間関係が薄く、寂しい」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ また、「60～69歳」の「お互いに干渉したり、気をつかたたりしないので暮らしやすい」が全体より5ポイント以上多い。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：全体・時系列】

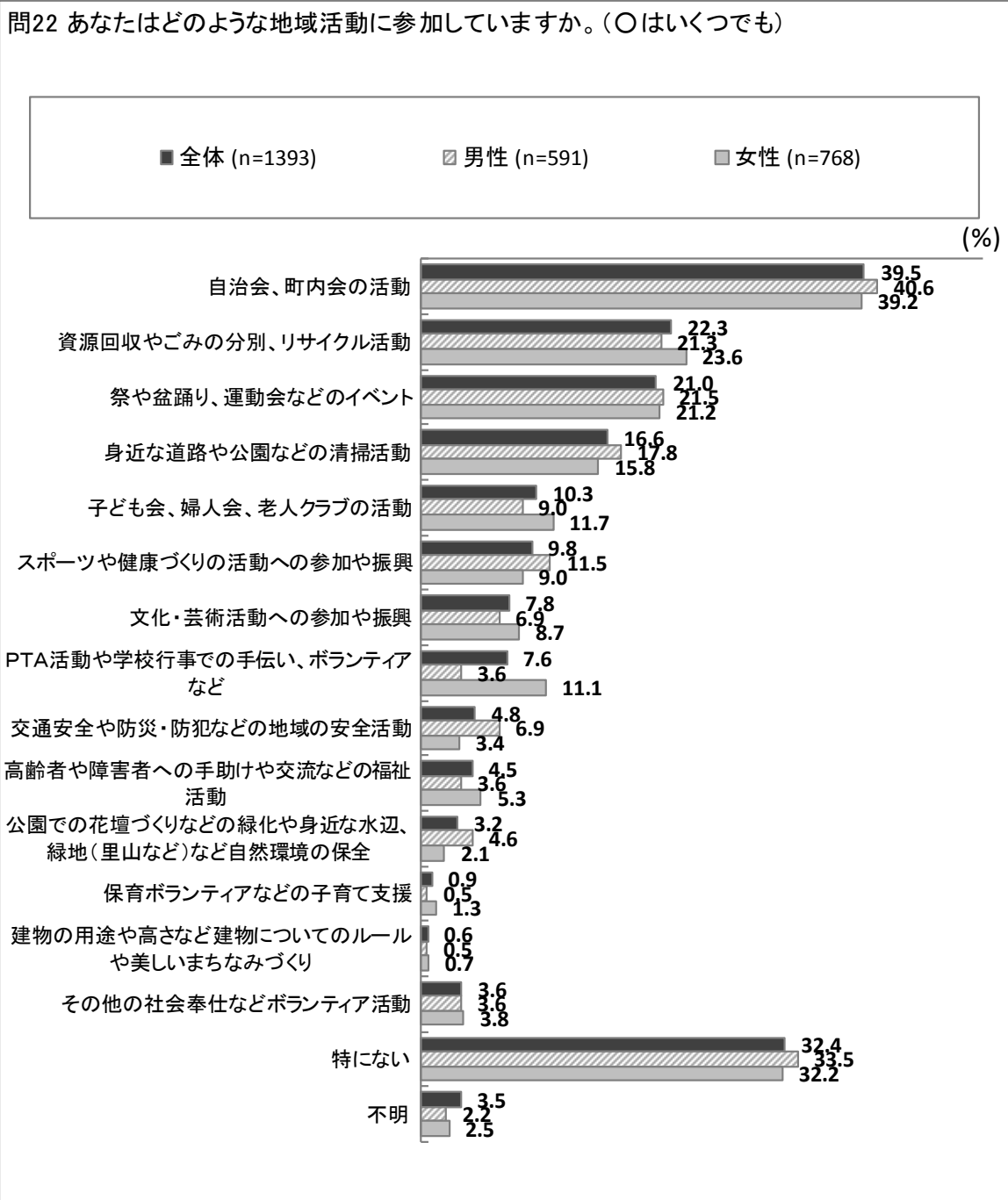
- ・ 「自治会、町内会の活動」が39.5%で最も多い。「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(22.3%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(21.0%)が続く。
- ・ 平成27年度と比較して、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」はわずかではあるが増加している(3.6ポイント増加)。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：性別】

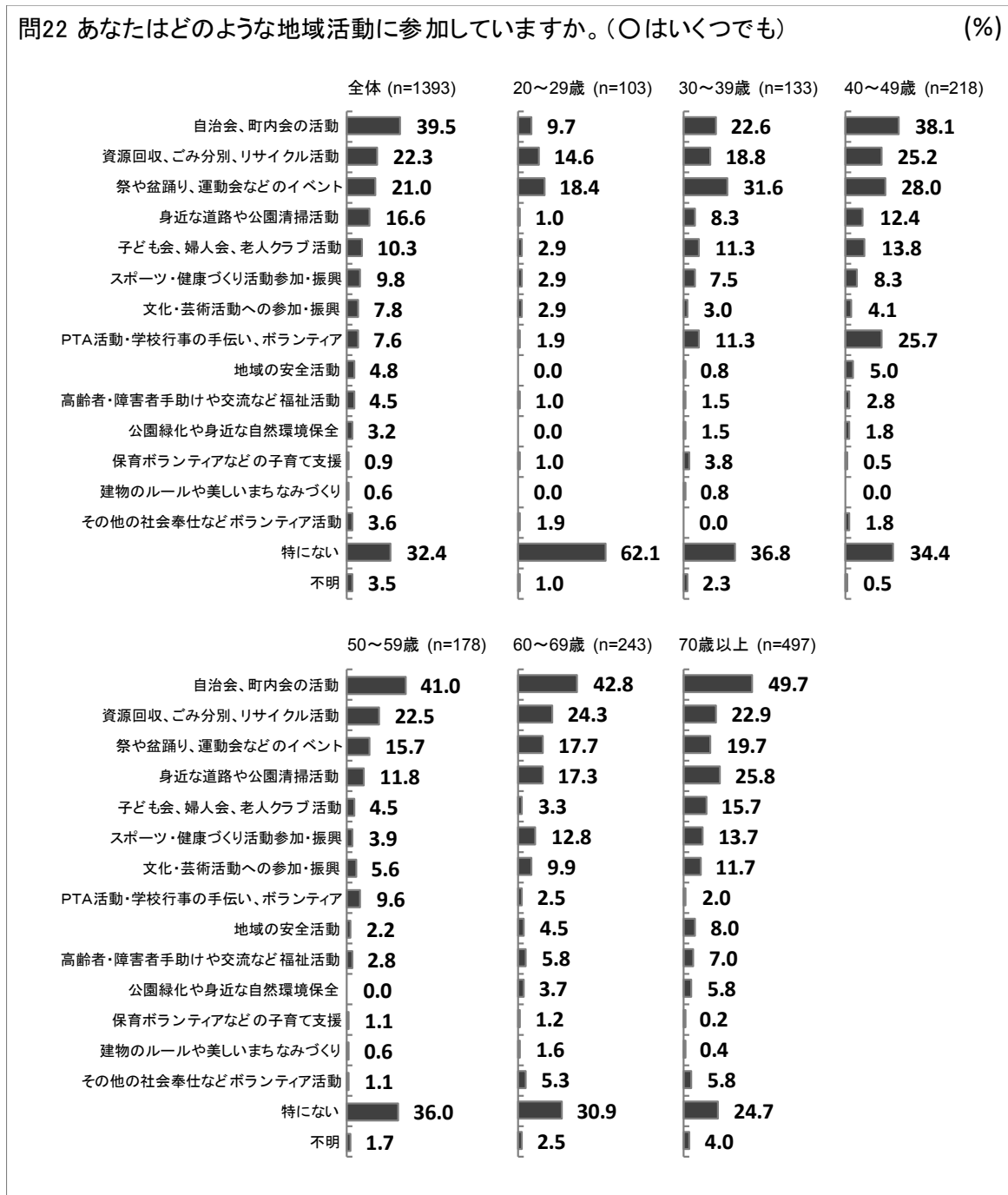
- 「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」で、「女性」が「男性」より7.5ポイント多いことを除き、男女間での大きな差は見られない。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：年齢別】

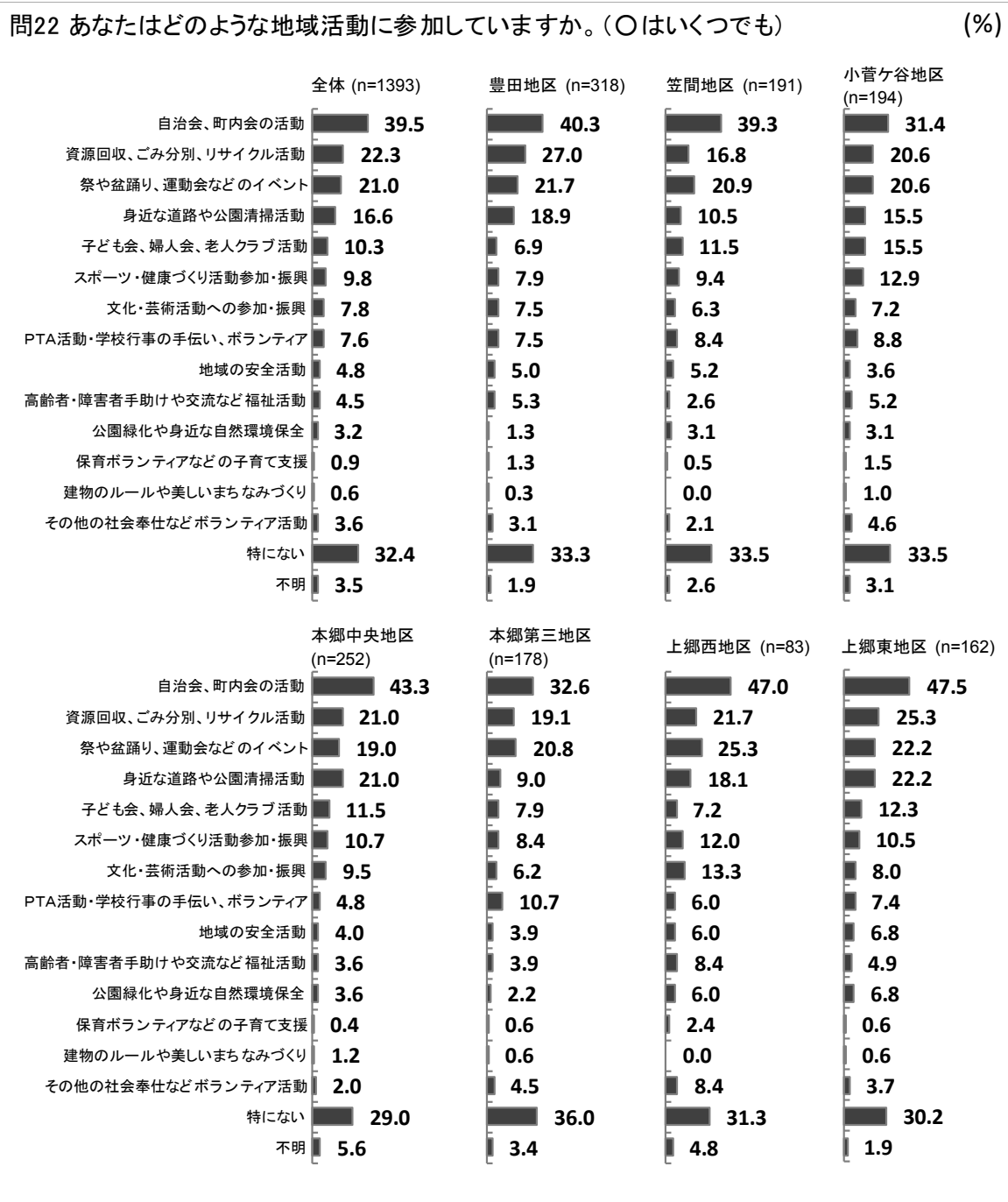
- ・ 「20～29歳」では「特にない」が6割を超え、非常に多い。
- ・ 「30～39歳」で「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が全体より10.6ポイント多い。
- ・ 「40～49歳」で「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」が全体より18.1ポイント多い。
- ・ 「自治会、町内会の活動」は年齢が上がるにつれて参加率が高くなる傾向が見られ、「70歳以上」では全体より10.2ポイント多い49.7%が参加している。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：居住地区別】

- ・ 「小菅ヶ谷地区」で「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」が全体で5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷西地区」で「自治会、町内会の活動」、「文化・芸術活動への参加や振興」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では「自治会、町内会の活動」、「身近な道路や公園などの清掃活動」が全体より5ポイント以上多い。

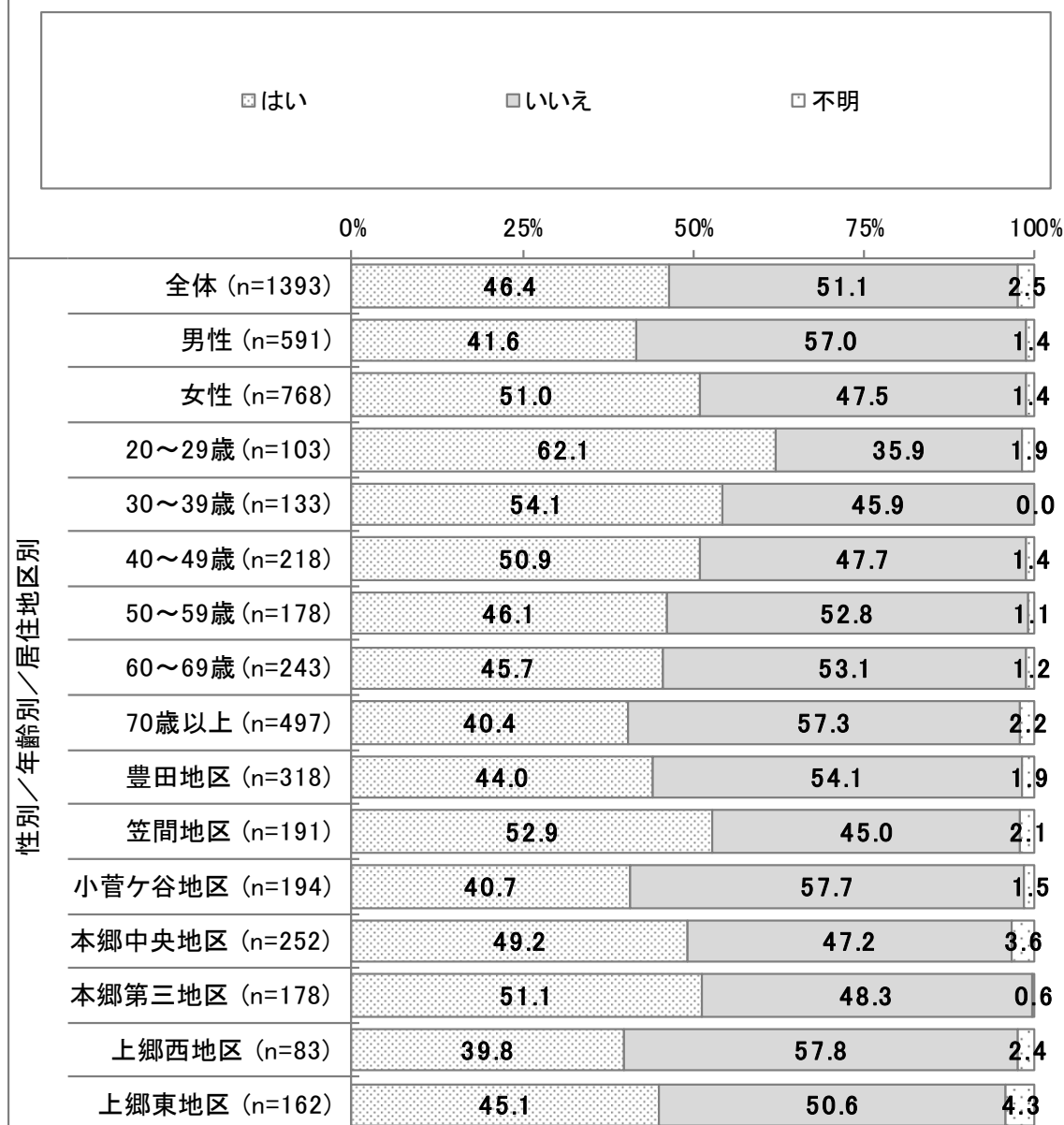


10. 居場所づくりについて

【自宅以外の居場所の有無】

- 全体では46.4%が「自宅以外に落ち着ける居場所、安心できる居場所」があると回答しているが、半数以上がないと回答している。
- 「男性」で居場所がないとする人が全体より5ポイント以上多い。
- 「20～29歳」では62.1%が居場所があると回答している。居場所がある割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向が見られる。「70歳以上」では40.4%まで減少している。
- 居住地区別では、「笠間地区」で居場所がある割合が全体より5ポイント以上多い。「小菅ヶ谷地区」、「上郷西地区」では居場所がない割合が全体より5ポイント以上多い。

問23 自宅以外に落ち着ける居場所、安心できる居場所がありますか。

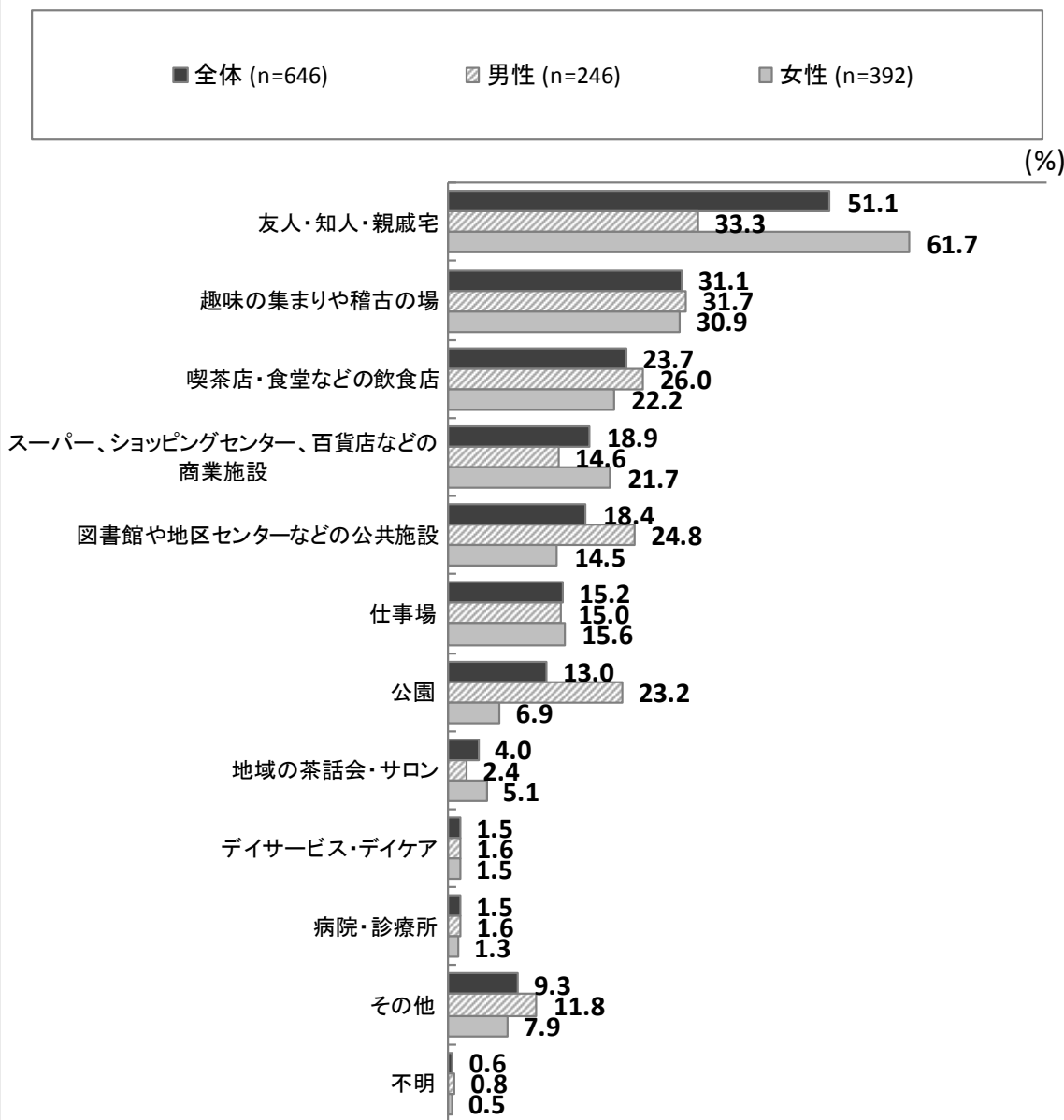


10. 居場所づくりについて

【居場所：全体・性別】

- 全体では、「友人・知人・親戚宅」が51.1%で最も多い。「趣味の集まりや稽古の場」(31.1%)、「喫茶店・食堂などの飲食店」(23.7%)が続く。
- 「男性」の「公園」、「図書館や地区センターなどの公共施設」が「女性」より10ポイント以上多い。
- 「女性」の「友人・知人・親戚宅」が「男性」より28.4ポイント多い。

問23-1 落ち着ける居場所、安心できる居場所はどこですか。(〇はいくつでも)



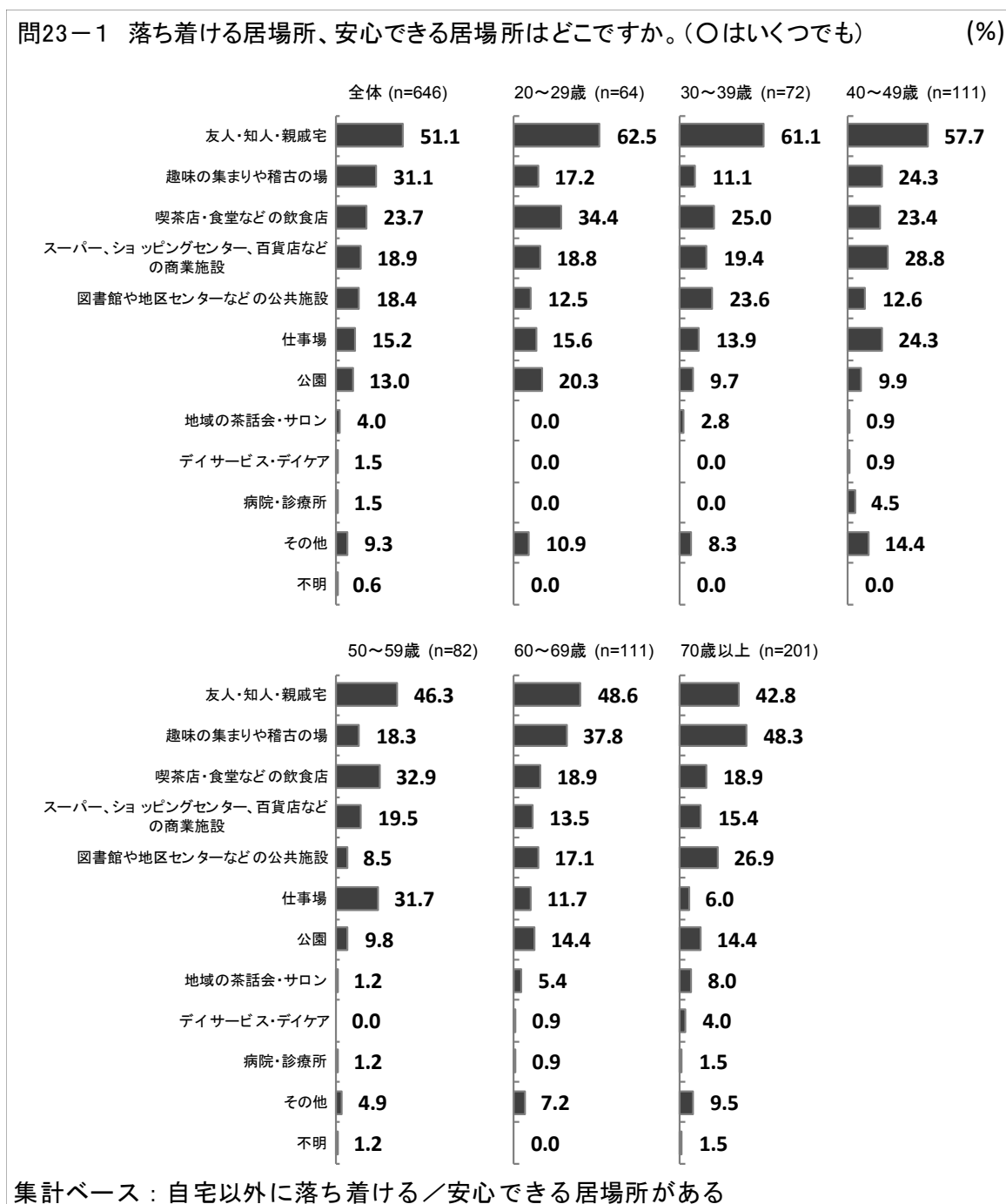
集計ベース：自宅以外に落ち着ける／安心できる居場所がある

10. 居場所づくりについて

【居場所：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、「友人・知人・親戚宅」、「喫茶店・食堂などの飲食店」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「30～39歳」では、「友人・知人・親戚宅」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「50～59歳」では、「仕事場」が全体より15ポイント以上多い。
- ・ 「70歳以上」では、「趣味の集まりや稽古の場」が全体より15ポイント以上多い。

問23-1 落ち着ける居場所、安心できる居場所はどこですか。(〇はいくつでも) (%)

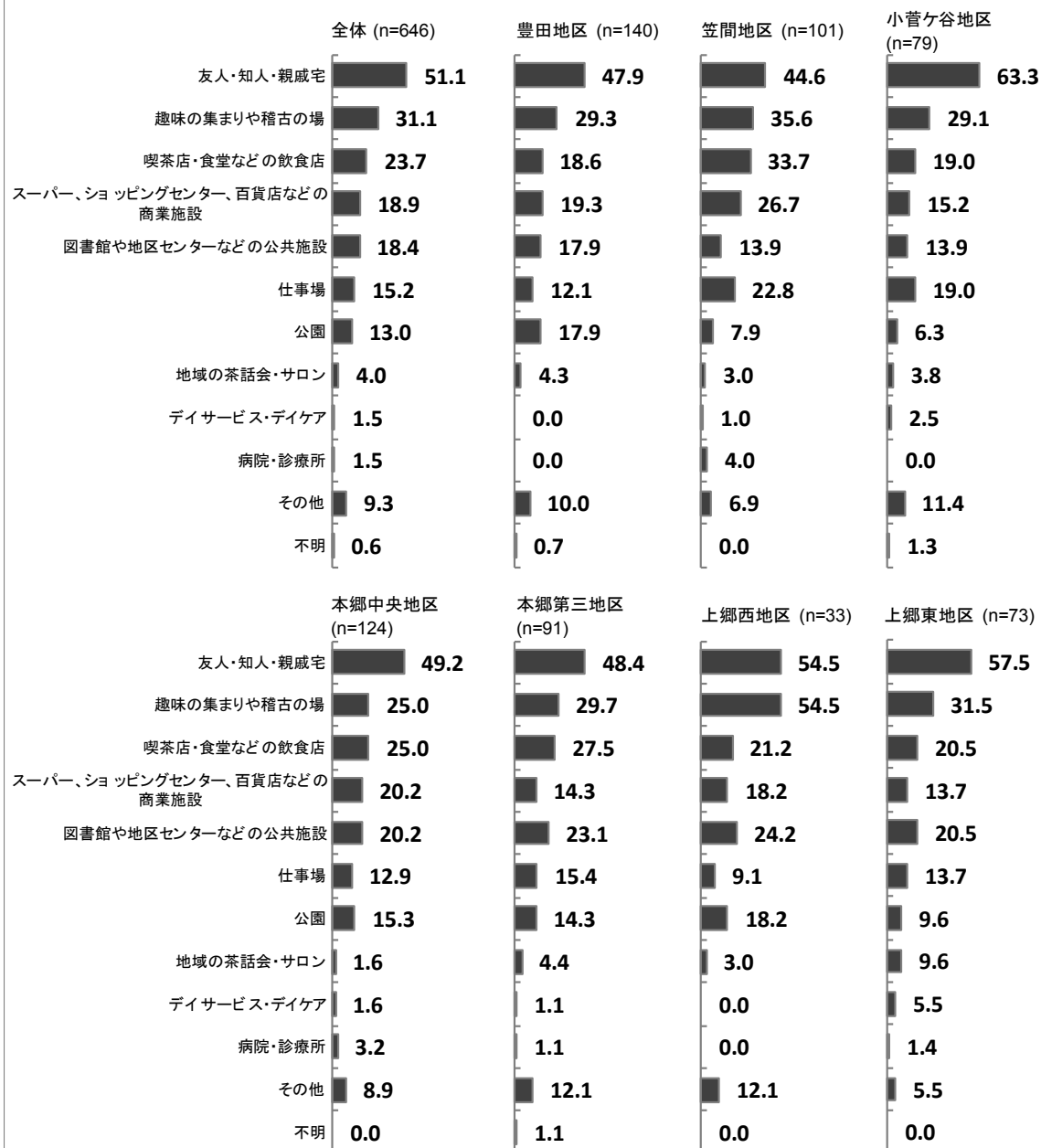


10. 居場所づくりについて

【居場所：居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」では、「趣味の集まりや稽古の場」が全体より23.4ポイント多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」では、「友人・知人・親戚宅」が全体より12.2ポイント多い。

問23-1 落ち着ける居場所、安心できる居場所はどこですか。(〇はいくつでも) (%)



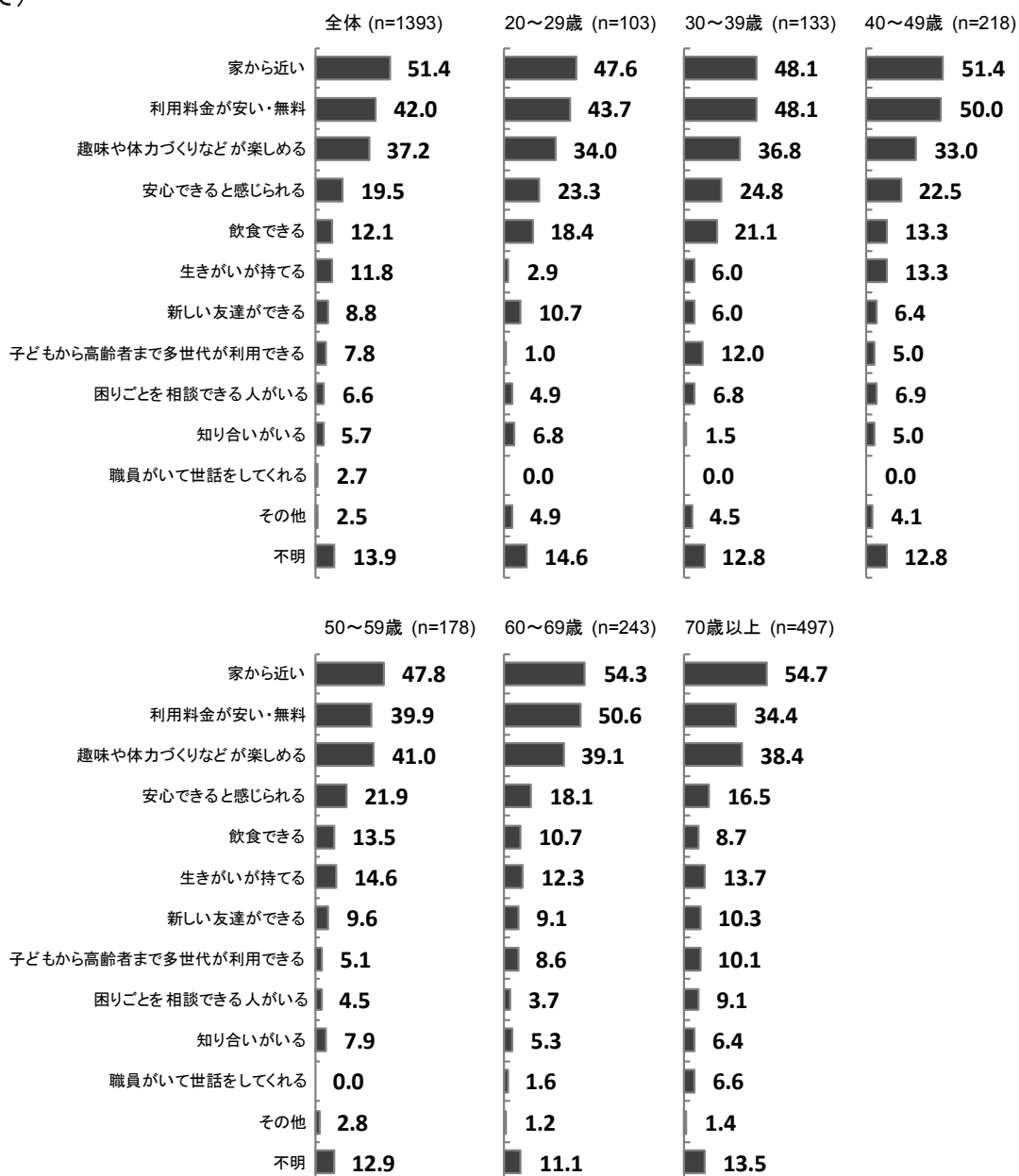
集計ベース：自宅以外に落ち着ける／安心できる居場所がある

10. 居場所づくりについて

【利用したい居場所： 全体・年齢別】

- ・ 「家から近い」が51.4%で最も多い。「利用料金が安い・無料」(42.0%)、「趣味や体力づくりなどが楽しめる」(37.2%)が続く。
- ・ 「20～29歳」では、「飲食できる」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「30～39歳」では、「飲食できる」、「利用料金が安い・無料」、「安心できると感じられる」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「40～49歳」、「60～69歳」では、「利用料金が安い・無料」が全体より5ポイント以上多い。

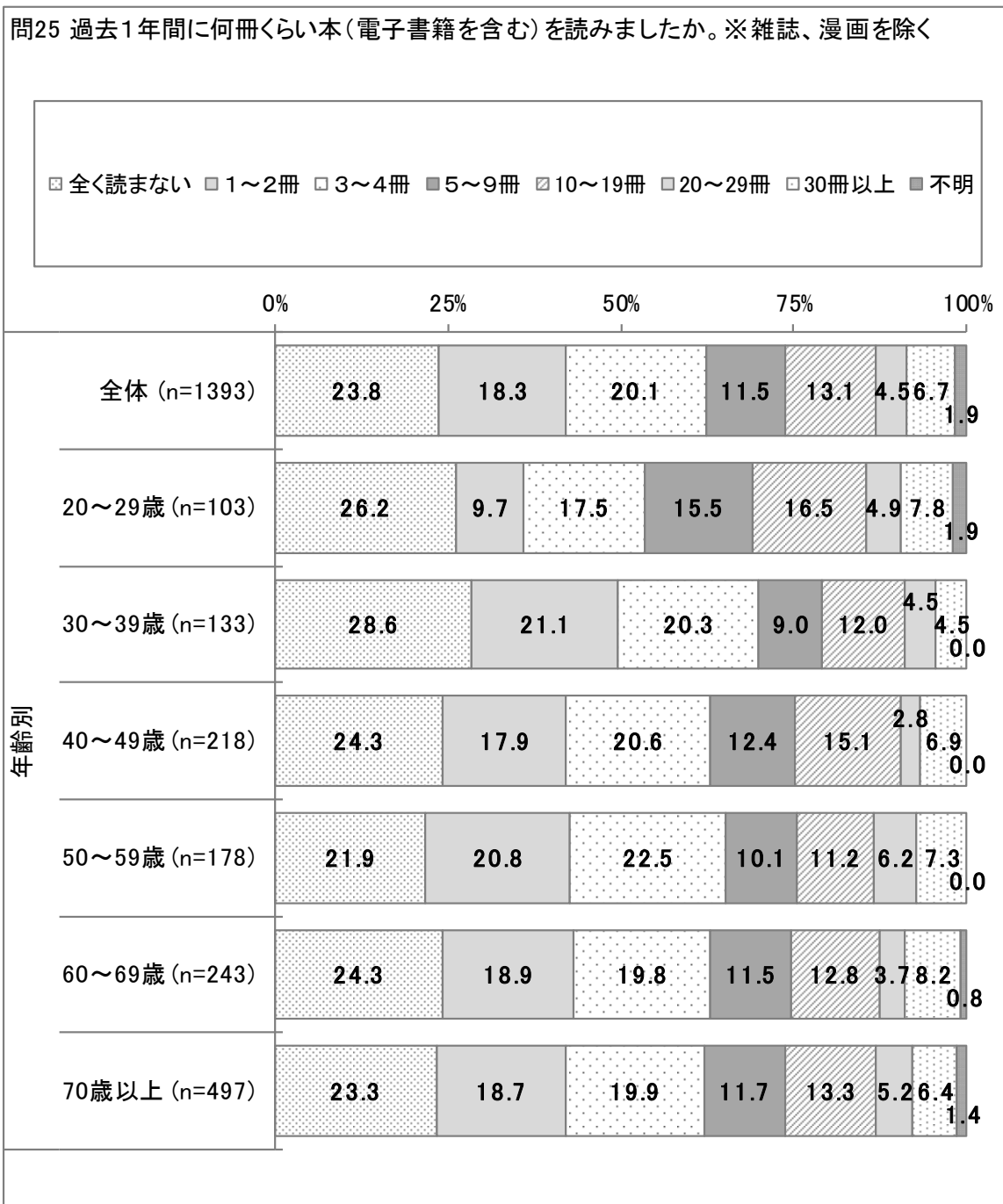
問24 現在または今後、どのような居場所があったら利用しようと思いますか。(○は3つ (％)まで)



11. 読書について

【全体・年齢別】

- 全体では、「全く読まない」が23.8%である。「3～4冊」が20.1%、「1～2冊」が18.3%で続く。
- 「20～29歳」の『3冊以上』が全体より5ポイント以上多い。
- 「30～39歳」で『3冊以上』が全体より5ポイント以上少ない。

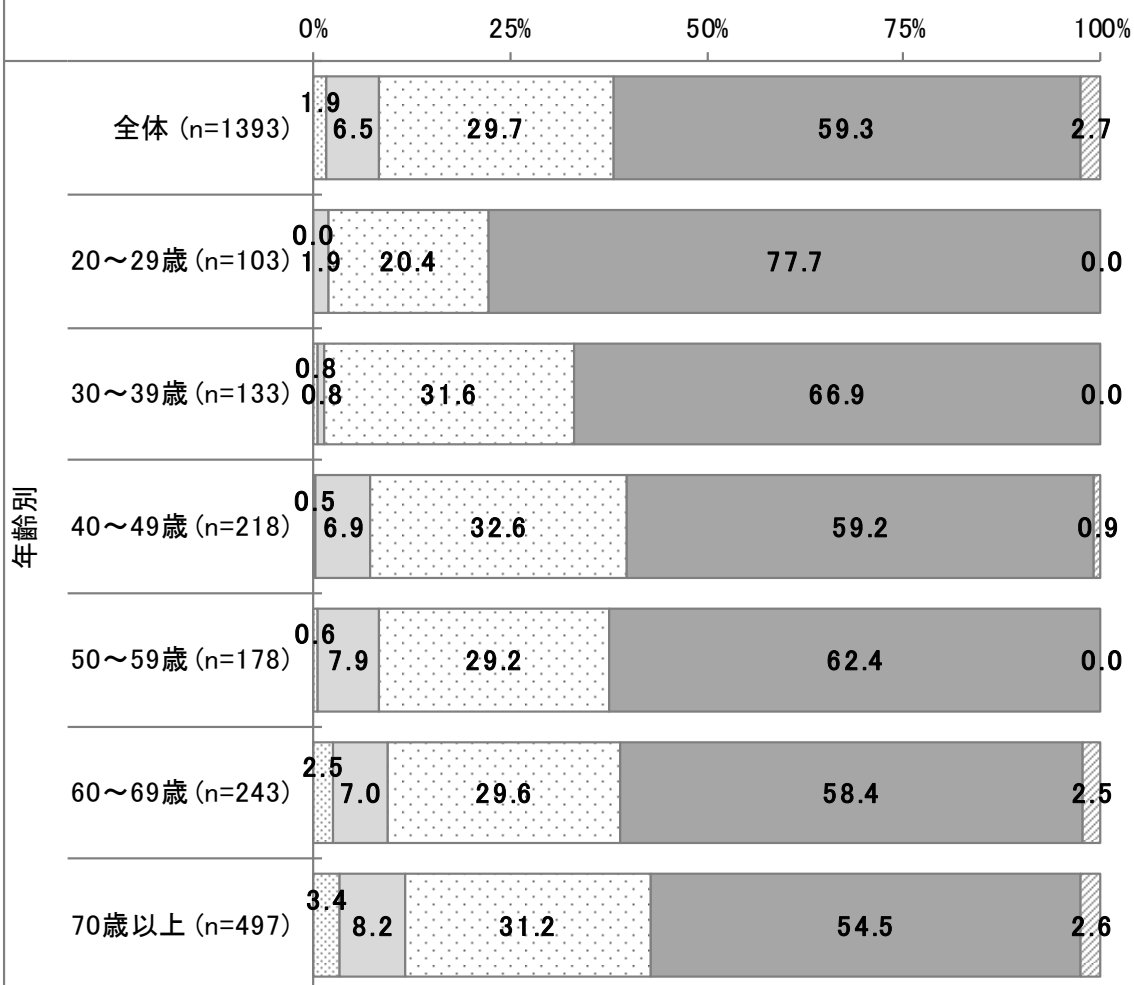
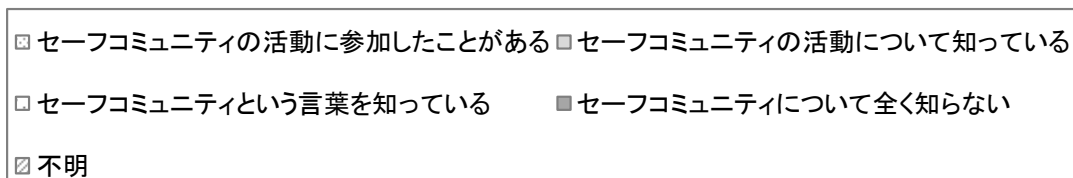


12. セーフコミュニティについて

【全体・年齢別】

- 全体では、「全く知らない」が59.3%を占めている。「言葉を知っている」は29.7%である。「参加したことがある」は1.9%に留まる。
- 「20～29歳」では「全く知らない」が77.7%で、全体より15ポイント以上多い。
- 「30～39歳」でも「全く知らない」が全体より5ポイント以上多い。

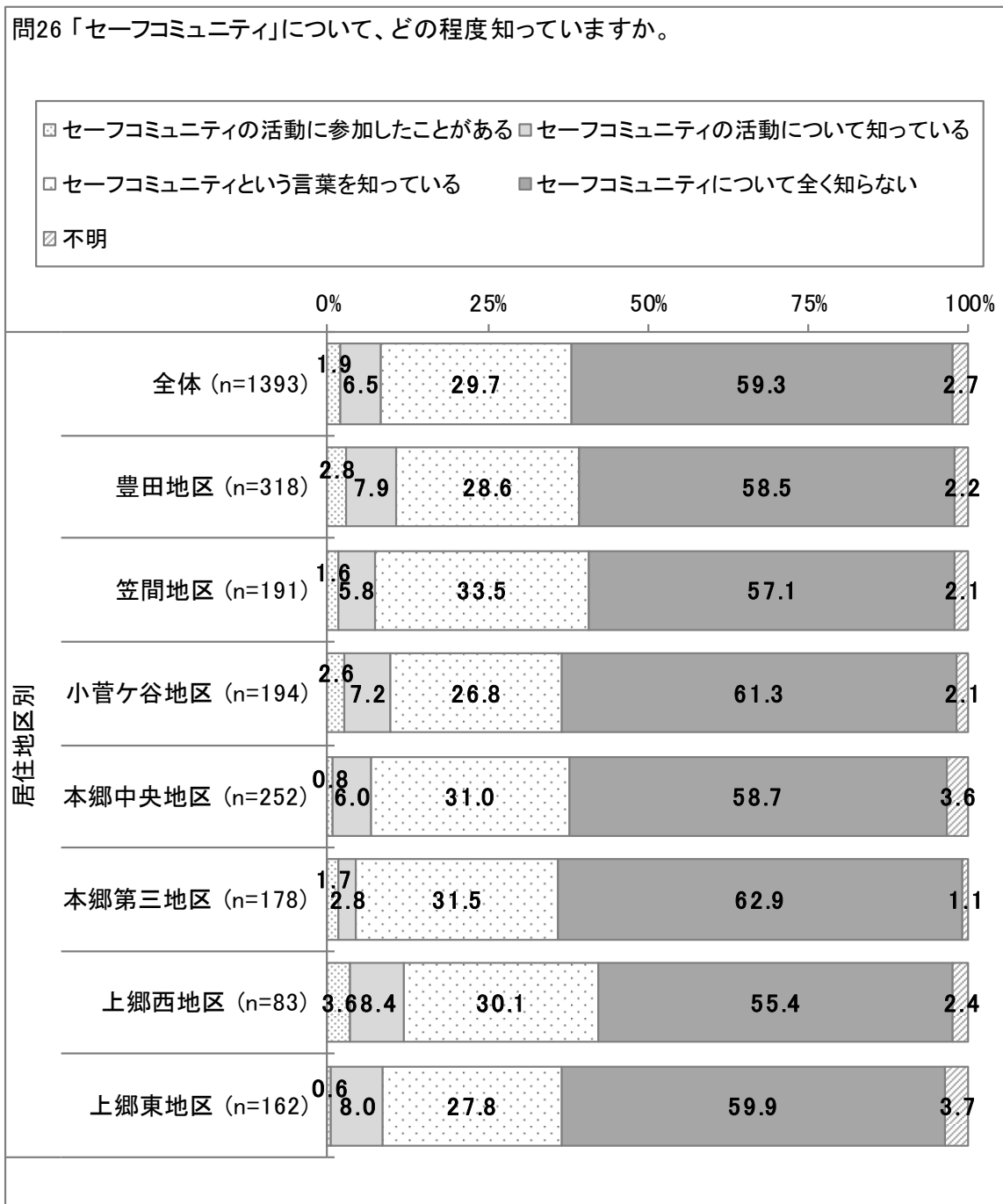
問26 「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。



12. セーフコミュニティについて

【居住地区別】

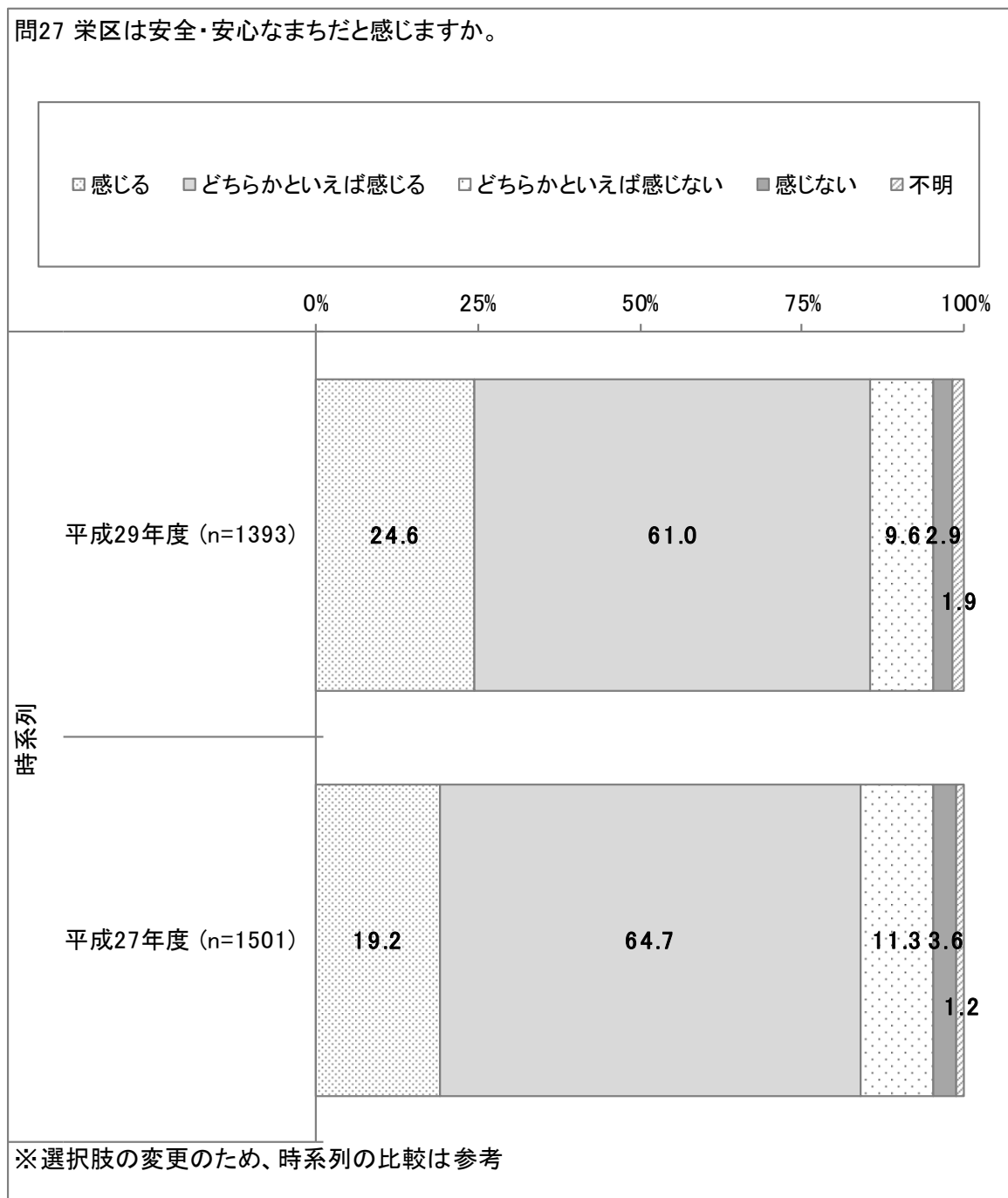
- ・ 居住地区別には大きな差は見られない。



12. セーフコミュニティについて

【安全なまちとを感じるか： 全体・時系列】

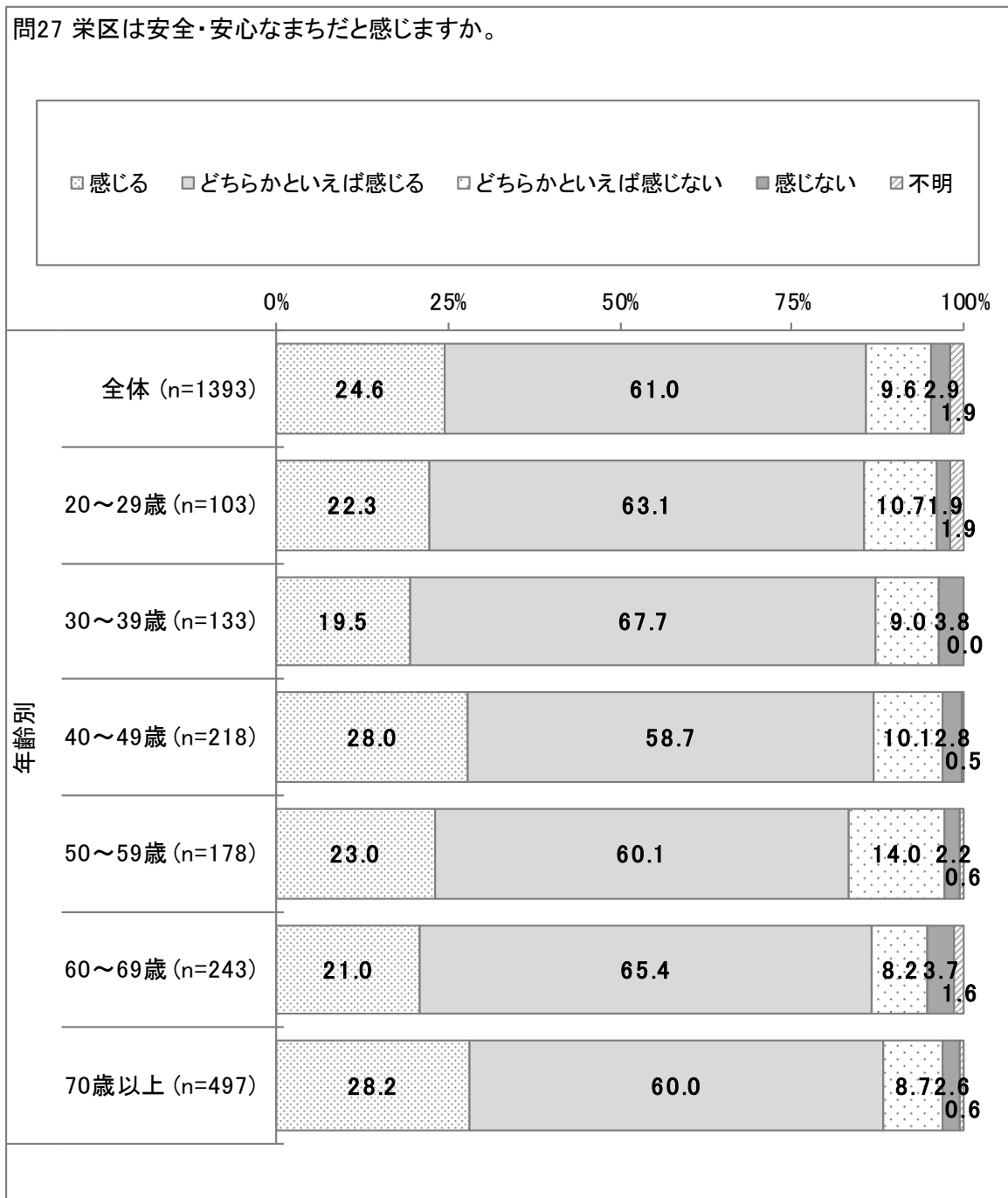
- 安全なまちだと「感じる」割合は24.6%で、「どちらかといえば感じる」を合わせると85%以上が安全だと感じている。
- 平成27年度と比較して、安全なまちだと「感じる」割合はわずかに増加している。
※選択肢が変更(「そう感じる」→「感じる」)されているため時系列比較は参考。



12. セーフコミュニティについて

【安全なまちとを感じるか：年齢別】

- ・ 「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計では、年齢別で大きな差は見られない。



4. 參考資料 (調查票)



平成 29 年度 栄区民意識調査

栄区では、「栄の連携を力に！ ～ 感謝・つながり・夢の未来へ ～ 」を基本目標として様々な施策を進めています。

この度、栄区にお住まいの皆様、栄区で生活するうえでの満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどに対するご意見をお伺いするために、「平成 29 年度栄区民意識調査」を実施いたします。この調査の集計結果は、今後の区政を進める基礎資料とし、「栄区に住んでいて本当によかった、これからも栄区に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

お手数をおかけして大変恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆ ◆ ◆ 調査票のご記入にあたって ◆ ◆ ◆

本調査は、住民基本台帳から無作為抽出した区内在住の 20 歳以上の方 3,000 名を対象にご協力をお願いするものです。調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

- 調査票は、原則として「あて名のご本人」が記入してください。やむを得ず、ご本人以外の方が記入される場合は、必ずご本人の意思をご確認の上、記入してください。
- 質問は、該当する番号に○印を付けていただく形式が基本（一部、記述式あり）になっていますが、該当する番号 1 つに○印を付けていただく場合と、複数の番号に○印を付けていただく場合があります。質問文に沿ってご回答ください。

◎ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

平成 29 年 12 月 11 日（月）までにポストにご投函ください。

※本調査に関してご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

【担当】 栄区役所区政推進課企画調整係 高橋、村山
電話：894-8331 Fax：894-9127
E-Mail：sa-kikaku@city.yokohama.jp

【1 満足度】

問1 あなたは、栄区での生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

1 満足しているほう	4 やや不満があるほう
2 まあ満足しているほう	5 不満があるほう
3 どちらともいえない	6 わからない

問2 あなたは、横浜市や栄区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	感じている	やや感じている	どちらとも いえない	あまり感じて いない	まったく感じて いない
1 横浜市に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
3 お住まいの周辺の地域に対して	ア	イ	ウ	エ	オ

【2 定住意向】

問3 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい	2 住み続けたくない
----------	------------

(問3で「2」と答えた方にお聞きします)

問3-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで)

1 教育・文化環境が良くなる 2 交通の便が良くなる 3 都市基盤(道路、公園等)が整備される 4 スーパーや商店が増え、買い物が便利になる 5 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる 6 近所づき合いが親密になる 7 その他(具体的に)

【3 生活意識】

問4 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つずつ)

生活環境の満足度	満足度				
	ア	イ	ウ	エ	オ
	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	わからない
1 買い物環境	ア	イ	ウ	エ	オ
2 公園	ア	イ	ウ	エ	オ
3 緑地と水辺環境	ア	イ	ウ	エ	オ
4 河川改修	ア	イ	ウ	エ	オ
5 バスの利便性	ア	イ	ウ	エ	オ
6 幹線道路の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
7 ごみの収集、リサイクル活動	ア	イ	ウ	エ	オ
8 ごみの不法投棄対策や街の美化	ア	イ	ウ	エ	オ
9 子育て環境	ア	イ	ウ	エ	オ
10 教育	ア	イ	ウ	エ	オ
11 青少年の健全育成	ア	イ	ウ	エ	オ
12 文化・芸術活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
13 スポーツ活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
14 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策	ア	イ	ウ	エ	オ
15 高齢者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
16 障害者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
17 区民向け講座などの生涯学習の充実	ア	イ	ウ	エ	オ
18 区民ボランティア活動に対する支援	ア	イ	ウ	エ	オ
19 祭や盆踊りなどの地域交流イベント	ア	イ	ウ	エ	オ
20 地区センターなどの地域施設の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
21 防災対策	ア	イ	ウ	エ	オ
22 防犯対策	ア	イ	ウ	エ	オ

問5 あなたは、近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと	8 環境問題
2 家族の健康や生活上の問題	9 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	10 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	11 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	12 その他(具体的に)
6 子どもの保育や教育のこと	13 心配ごとや困っていることはない
7 近隣からの悪臭・騒音	

問6 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 住民同士の交流や助け合いの促進
- 2 高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援
- 3 子どもの見守りや子育て中の人への支援
- 4 青少年の居場所づくりや健全育成
- 5 文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など
- 6 スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など
- 7 交通安全
- 8 防犯
- 9 防災・減災や災害時への備え
- 10 身近な道路や公園の清掃などの美化
- 11 花壇づくりなどの緑化や身近な自然環境の保全
- 12 まちなみや景観の創出や維持
- 13 その他(具体的に)
- 14 特になし

【4 道路・交通】

問7 あなたがお住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 とても便利 | 3 普通 | 5 不便 |
| 2 やや便利 | 4 やや不便 | |

【5 健康・福祉】

問8 あなたは、現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------|--------|------------|---------|
| 1 健康 | 2 まあ健康 | 3 あまり健康でない | 4 健康でない |
|------|--------|------------|---------|

問9 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツをしていますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|------------|---------|-------------|
| 1 週1回以上 | 2 月に1~3回程度 | 3 月1回未満 | 4 ほとんどしていない |
|---------|------------|---------|-------------|

問10 栄区では、「ウォーキングで健康づくり」の取組を進めています。あなたは、日常の外出以外で、健康のためにどのくらいウォーキングをしていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 月1~3日 | 5 その他() |
| 2 週1~3日 | 4 ほとんどしていない | |

問11 あなたは、1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。(〇は1つ)

- 1 ほぼ毎日食べている
- 2 週に4~6日食べている
- 3 週に2~3日食べている
- 4 ほとんど食べていない



問12 あなたは、朝食を週にどのくらい食べていますか。(〇は1つ)

※飲み物やサプリメント等だけをとった場合は、「食べる」に含みません。

- 1 ほぼ毎日食べている
- 2 週に4~6日食べている
- 3 週に2~3日食べている
- 4 ほとんど食べていない

問13 あなたは、がん検診を受けていますか。(○は1つ)

1	定期的(1~2年に1回)に受けている 受診部位(○はいくつでも)⇒ 胃・肺・大腸・乳・子宮・その他(具体的に)
2	過去に受けたことはあるが、ここ数年は受けていない 理由()
3	これまで全く受けたことがない 理由()

問14 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(○はいくつでも)

1	日々の生活の介助	5	必要な介護サービスを受けられるか
2	経済的負担	6	その他(具体的に)
3	外出の難しさ	7	不安はない
4	周囲の理解のなさ		

【6 子育て】

問15 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1	自分が親になることへの漠然とした不安
2	自分の身体的・精神的な健康
3	子育て費用
4	不安や悩みを気軽に相談できる相手がいない
5	子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない
6	子育てと仕事の両立
7	子どものしつけ
8	障害がある子どもへの支援
9	保育施設が少ない
10	買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない
11	いじめなど子ども同士の関係への不安
12	学校での教育環境への不安
13	放課後児童の居場所が少ない
14	その他(具体的に)

【7 防災】

問16 あなたは、ご自身の住む地区の避難所がどこかを知っていますか。(○は1つ)

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問17 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(○はいくつでも)

1	水の備蓄	8	自宅の耐震補強
2	食料の備蓄	9	感震ブレーカーの設置
3	医薬品・救急用品の備蓄	10	避難についての家族の話し合い
4	携帯ラジオ、懐中電灯の用意	11	隣近所との話し合い
5	消火器の設置	12	地域の中での緊急連絡体制づくり
6	住宅用火災警報器の設置	13	ほとんど何もしていない
7	家具などの転倒防止対策	14	その他(具体的に)

問18 あなたは、防災訓練に参加したことがありますか。(○は1つ)

1	参加したことがある
2	参加したことはないが、今後参加したい
3	参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない(理由)

【8 救急】

問19 あなたは、救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7119（横浜市救急相談センター）を知っていますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1 使ったことがある |
| 2 使ったことはないが知っている |
| 3 知らなかった（この調査ではじめて知った） |

【9 地域のつながり】

問20 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 顔もよく知らない | 4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている |
| 2 道で会えば挨拶くらいする | 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする |
| 3 たまに立ち話をする | |

問21 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------|
| 1 親密な人間関係があって暮らしやすい |
| 2 お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい |
| 3 人間関係が親密すぎてわずらわしい |
| 4 人間関係が薄く、寂しい |
| 5 その他（具体的に) |

問22 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 自治会、町内会の活動 |
| 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 |
| 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 |
| 4 身近な道路や公園などの清掃活動 |
| 5 文化・芸術活動への参加や振興 |
| 6 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興 |
| 7 祭や盆踊り、運動会などのイベント |
| 8 資源回収やごみの分別、リサイクル活動 |
| 9 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）など自然環境の保全 |
| 10 PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど |
| 11 保育ボランティアなどの子育て支援 |
| 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 |
| 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり |
| 14 その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に) |
| 15 特にない |

【10 居場所づくり】

問23 自宅以外に落ち着ける居場所、安心できる居場所がありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

（問23で「1」と答えた方にお聞きします）

問23-1 落ち着ける居場所、安心できる居場所はどこですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1 友人・知人・親戚宅 | 7 喫茶店・食堂などの飲食店 |
| 2 公園 | 8 デイサービス・デイケア |
| 3 趣味の集まりや稽古の場 | 9 病院・診療所 |
| 4 地域の茶話会・サロン | 10 仕事場 |
| 5 図書館や地区センターなどの公共施設 | 11 その他（具体的に) |
| 6 スーパー、ショッピングセンター、百貨店などの商業施設 | |

問 24 現在または今後、どのような居場所があったら利用しようと思いますか。(○は3つまで)

1 家から近い	7 安心できると感じられる
2 利用料金が安い・無料	8 生きがいがある
3 趣味や体力づくりなどが楽しめる	9 新しい友達ができる
4 知り合いがいる	10 飲食できる
5 子どもから高齢者まで多世代が利用できる	11 職員がいて世話をしてくれる
6 困りごとを相談できる人がいる	12 その他(具体的に)

【11 読書】

問 25 あなたは、過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く(○は1つ)

1 全く読まない	3 3～4冊	5 10～19冊	7 30冊以上
2 1～2冊	4 5～9冊	6 20～29冊	

【12 セーフコミュニティ】

問 26 栄区は、地域が主体となって取り組む安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」の国際認証を平成25年に取得し、平成30年の再認証を目指して活動しています。

あなたは、「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

1 セーフコミュニティの活動に参加したことがある
2 セーフコミュニティの活動について知っている
3 セーフコミュニティという言葉を知っている
4 セーフコミュニティについて全く知らない

問 27 栄区は安全・安心なまちだと感じますか?

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

【12 フェイスシート】

最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

F 1 性別(○は1つ) ※生活意識の実態調査ですので、日常生活における性別をご回答ください。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 年齢(○は1つ)

1 20～24歳	6 45～49歳	11 70～74歳
2 25～29歳	7 50～54歳	12 75～79歳
3 30～34歳	8 55～59歳	13 80歳以上
4 35～39歳	9 60～64歳	
5 40～44歳	10 65～69歳	

F 3 栄区にお住まいの期間(○は1つ) ※栄区内で転居した場合は通算してください。

1 5年未満	4 15～19年	7 40年以上
2 5～9年	5 20～29年	
3 10～14年	6 30～39年	

F 4 現在のお住まいの世帯の家族形態(○は1つ)

1 ひとり暮らし	4 親と子と孫(3世代)
2 夫婦2人	5 その他(具体的に)
3 親と子(2世代)	

F 5 現在お住まいの地区 (○は1つ)

1 飯島町	15 桂台西一丁目	29 小菅ケ谷三丁目	43 野七里一丁目
2 犬山町	16 桂台西二丁目	30 小菅ケ谷四丁目	44 野七里二丁目
3 尾月	17 桂台東	31 小山台一丁目	45 柏陽
4 笠間町	18 桂台南一丁目	32 小山台二丁目	46 東上郷町
5 笠間一丁目	19 桂台南二丁目	33 庄戸一丁目	47 本郷台一丁目
6 笠間二丁目	20 桂町	34 庄戸二丁目	48 本郷台二丁目
7 笠間三丁目	21 金井町	35 庄戸三丁目	49 本郷台三丁目
8 笠間四丁目	22 上郷町	36 庄戸四丁目	50 本郷台四丁目
9 笠間五丁目	23 上之町	37 庄戸五丁目	51 本郷台五丁目
10 鍛冶ケ谷町	24 亀井町	38 田谷町	52 元大橋一丁目
11 鍛冶ケ谷一丁目	25 公田町	39 長尾台町	53 元大橋二丁目
12 鍛冶ケ谷二丁目	26 小菅ケ谷町	40 長倉町	54 若竹町
13 桂台北	27 小菅ケ谷一丁目	41 長沼町	
14 桂台中	28 小菅ケ谷二丁目	42 中野町	

F 6 現在のお住まい (○は1つ)

1 持家 (一戸建て)	5 借家 (都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅)
2 持家 (マンション・共同住宅)	6 社宅、公務員住宅
3 借家 (一戸建て)	7 民間アパート、民間賃貸マンション
4 借家 (県営・市営の共同住宅)	8 その他 (具体的に)

F 7 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ) ※複数ある場合は、主な通勤・通学先をお答えください。

1 栄区内	5 東京都内
2 横浜市内他区	6 その他 (具体的に)
3 鎌倉市内	7 通勤・通学していない
4 神奈川県内 (横浜市、鎌倉市を除く)	

(以下については、F 7で「1」～「6」と答えた方にお聞きします)

F 7-1 通勤・通学に利用する駅はどこですか。(○は1つ)

1 本郷台駅	5 金沢八景駅
2 大船駅	6 上大岡駅
3 港南台駅	7 その他 (具体的に)
4 戸塚駅	

F 7-2 通勤・通学に利用する駅までの主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

1 バス	4 自転車
2 自家用車 (家族の送迎も含む)	5 徒歩
3 原付・バイク	6 その他 (具体的に)

F 7-3 通勤・通学時間 (片道) はどのくらいですか。複数ある場合は、主な通勤・通学先までの所要時間をお答えください。(○は1つ)

1 30分未満	3 1時間から1時間30分未満	5 2時間以上
2 30分から1時間未満	4 1時間30分から2時間未満	

※ ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れて、平成29年12月11日までにポストへ投函してください。(切手は不要です)